

年報 2024 年度

Musashino  
Tokushukai Hospital  
Annual Report

2024



TOKUSHUKAI

医療法人徳洲会

武蔵野徳洲会病院

# 目 次

|          |                                                                                                             |    |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| <b>1</b> | <b>巻頭言</b>                                                                                                  |    |
|          | ・ 院長 桶川隆嗣 .....                                                                                             | 1  |
| <b>2</b> | <b>理念</b>                                                                                                   |    |
|          | ・ 医療法人徳洲会の理念 .....                                                                                          | 2  |
|          | ・ 武蔵野徳洲会病院の理念／基本方針／2024年度の目標 .....                                                                          |    |
|          | ・ 武蔵野徳洲会病院医療原則5か条 .....                                                                                     | 3  |
| <b>3</b> | <b>病院概要</b>                                                                                                 |    |
|          | ・ 施設概要 .....                                                                                                | 4  |
|          | ・ 施設基準 .....                                                                                                | 6  |
|          | ・  かかりつけ病院・ERアフターコール ..... | 7  |
|          | ・ 病院機能評価認定病院 .....                                                                                          | 7  |
|          | ・ 組織図 .....                                                                                                 | 8  |
| <b>4</b> | <b>病院の見える化</b>                                                                                              |    |
|          | ・ 外来・入院患者に関する各種統計 .....                                                                                     | 9  |
|          | ・ 救急搬送統計 .....                                                                                              | 12 |
| <b>5</b> | <b>医療安全部門</b>                                                                                               |    |
|          | ・ 医療安全管理室 .....                                                                                             | 13 |
|          | ・ 感染管理室 .....                                                                                               | 16 |
| <b>6</b> | <b>診療部門</b>                                                                                                 |    |
|          | ・ 総合診療科（内科） .....                                                                                           | 19 |
|          | ・ 循環器内科 .....                                                                                               | 20 |
|          | ・ 腎臓内科 .....                                                                                                | 21 |
|          | ・ 消化器内科 .....                                                                                               | 22 |
|          | ・ 小児科 .....                                                                                                 | 23 |
|          | ・ 糖尿病内科 .....                                                                                               | 24 |
|          | ・ 消化器外科 .....                                                                                               | 25 |
|          | ・ 整形外科 .....                                                                                                | 27 |
|          | ・ 泌尿器科 .....                                                                                                | 29 |
|          | ・ 耳鼻咽喉科 .....                                                                                               | 32 |
|          | ・ 救急科 .....                                                                                                 | 33 |
|          | ・ 麻酔科 .....                                                                                                 | 35 |
|          | ・ 脳神経外科 .....                                                                                               | 36 |
|          | ・ 乳腺外科 .....                                                                                                | 37 |
|          | ・ 病理科 .....                                                                                                 | 38 |
|          | ・ 歯科口腔外科 .....                                                                                              | 39 |
|          | ・ 婦人科 .....                                                                                                 | 40 |
|          | ・ 放射線科 .....                                                                                                | 42 |
|          | ・ 在宅医療支援室 .....                                                                                             | 43 |
|          | ・ 医局参加学会 .....                                                                                              | 44 |

## 7 診療技術部門

|             |    |
|-------------|----|
| ・薬剤部        | 45 |
| ・放射線科       | 47 |
| ・臨床検査科      | 49 |
| ・臨床工学科      | 51 |
| ・リハビリテーション科 | 53 |
| ・栄養管理室      | 55 |
| ・臨床試験センター   | 58 |

## 8 看護部門

|            |    |
|------------|----|
| ・看護部       | 59 |
| ・皮膚・排泄ケア   | 60 |
| ・2 A病棟     | 61 |
| ・H C U病棟   | 62 |
| ・3 B病棟     | 63 |
| ・5 A病棟     | 64 |
| ・5 B病棟     | 65 |
| ・6 A病棟     | 66 |
| ・6 B病棟     | 67 |
| ・外来        | 68 |
| ・手術室・中央材料室 | 69 |
| ・血液浄化センター  | 70 |

## 9 事務部門

|                 |    |
|-----------------|----|
| ・総務課            | 71 |
| ・医事課            | 73 |
| ・医師診療支援室        | 75 |
| ・診療情報管理室        | 76 |
| ・情報システム管理室      | 78 |
| ・地域医療連携室        | 79 |
| ・医療相談室          | 80 |
| ・健康管理センター       | 81 |
| ・資材課            | 82 |
| ・施設管理課（含防災センター） | 83 |

## 10 訪問看護

|             |    |
|-------------|----|
| ・訪問看護ステーション | 84 |
|-------------|----|

## 11 病院機能

|        |    |
|--------|----|
| ・病院機能図 | 85 |
|--------|----|



武蔵野徳洲会病院 院長

桶川 隆嗣

2024年度の年報をお届けするにあたり、皆さまに心より御礼申し上げます。

本年度も、地域に根ざした医療の実践と、医療の質・経営の質の両面における向上をめざして、職員一丸となって取り組んでまいりました。この1年を振り返ると、医療需要の変化や人口構造の進行、地域連携の深化といった複雑な要素が絡み合う中で、私たちの病院が果たすべき役割が、より一層明確になったと感じております。

2024年度、当院の医業収益は前年から約11%増加し、着実な成長を遂げました。これは単なる収入の増加ではなく、日々患者さんに向き合ってきた職員一人ひとりの努力の積み重ねと、チーム医療の成熟の証であると受け止めています。特に入院部門においては、病床利用率が一般病棟で94.0%、療養病棟ではほぼ満床の99.3%と、極めて高い水準を維持しました。新入院患者の確保や平均在院日数の適正化に取り組むことで、病棟全体の効率性と医療の質をさらに高めることができました。

また、医業利益率も約13%と大きく改善され、経営の健全性は確実に前進しました。これは経費の抑制や業務効率化の成果に加え、医療行為の質的向上やクリティカルパスの活用、検査・手術・リハビリといった各部門間の連携強化が功を奏した結果といえます。収益の拡大だけに依存せず、コストとプロセスの両面からの改善を進められたことは、今後の持続可能な病院運営にとって強固な基盤となるでしょう。

一方で、外来部門にはいまだ大きな課題が残っています。過去2年間にわたり、外来患者数および外来収益はほぼ横ばいで推移しており、外来単価にも上

昇の兆しは見られていません。また、一部診療科に患者が集中し、1日15人未満の診療科が複数存在している状況は、限られた医療資源を再配分し、診療機能を再構築していく必要性を示しています。外来部門が地域の玄関口としての役割を果たし、病院のもう一つの成長エンジンとなるためには、戦略的な診療科再編と、高付加価値型外来の導入が不可欠です。

救急医療においては、年間4,050台の救急車を受け入れました。これは前年を上回る実績ではあるものの、目標である4,300台にはわずかに届きませんでした。搬送エリアには未開拓または連携が不十分な地域も残っており、今後は近隣自治体（小金井・小平・府中など）との連携をさらに深めていく必要があります。また、救急からの入院率を高めることで、新規入院の経路を多様化させることも重要な課題です。

私たちは今、病院としての「成長」と「成熟」のはざまに立っています。医療提供体制のさらなる強化と、財務の健全性の確保、そして何より地域住民にとっての安心と信頼の拠点であり続けること。それを実現するために、今後は「量の追求」だけでなく、「質と価値」を重視した医療への転換が求められています。

その一環として当院では、「サブスクリプション型医療モデル」の導入や、「医療×予防」「医療×地域」といった新たな連携への取り組みを進めてまいります。たとえば、月額定額で健康診断・オンライン診療・生活習慣改善プログラムを提供するサービス、地域住民と連携した健康ワークショップや医療体験イベント（むさとぐりハップ）、さらには当院で開催しているこども食堂に連動した、地元農家との協働による栄養改善プログラムなど、多様な試みを展開しています。これらはすべて、当院が単なる医療提供者としてではなく、地域と共に未来を育む「共創の拠点」へと進化していくための第一歩です。

最後になりますが、コロナ禍を経て社会全体が医療の新たな形を模索する中で、当院がこれまで築いてきた信頼と実績は、何よりの財産であると改めて実感しています。変化に柔軟に対応し、挑戦を恐れず、未来に責任を持つ。その覚悟を胸に、2025年度も引き続き職員一丸となって、地域医療の質の向上に努めてまいります。

今後とも、皆さまのご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

### 医療法人徳洲会の理念

生命を安心して預けられる病院  
健康と生活を守る病院

### 理念の実行方法

- ①年中無休・24時間オープン
- ②入院保証金・総室（大部屋）の室料差額・冷暖房費等一切無料
- ③健康保険の3割負担金も困っている人には猶予する
- ④生活資金の立替・貸与をする
- ⑤患者様からの贈り物は一切受けとらない
- ⑥医療技術・診療態度の向上にたえず努力する

### 武蔵野徳洲会病院の理念

“生命だけは平等だ”を主理念に基本方針を遂行し、  
最善の医療サービスを提供する。

### 武蔵野徳洲会病院の基本方針

すべての人に最適なチーム医療を提供することを骨子とし、  
NEP（Network、Education、Publicity）の強化を図りながら、  
徳洲会は進化する。

### 2024年度の目標

- 1 質の高い医療の提供
- 2 医療DXの推進
- 3 医療と介護・障害福祉との連携推進
- 4 人材育成
- 5 ポストコロナの感染症対策の推進

医療従事者は、基本的事項の遵守と確認・再確認を徹底して患者の安全に務めることが必須となります。「あたりまえのことをきちんとする」ことを心がけましょう。自己の健康管理を留意して、慎重な態度で業務にあたきましょう。

### 1. 患者確認を必ず行う。

- 患者の氏名・生年月日・年齢・ID など複数の識別子で確認する。
- 意識のある患者には自分で氏名を言ってもらう。
- 薬剤を投与するときは「6 R：患者名・薬剤名・量・投与経路・時間・記録」を遵守する。
- 患者を確認してから配膳する。

### 2. 患者の情報は正しく共有する。

- 入院、転入、転出時は、記録された情報を正しく引継ぎする。
- 受け入れ側と送る側の両方で声を出して、患者名等必要事項を確認する。
- 他職種間のカンファレンスを実施する。

### 3. コミュニケーションを円滑に行う。

- 思い込む前に互いに声を掛け合い、確認する。
- 齟齬が生じないように互いに復唱して確認する。
- 患者・家族へのインフォームドコンセントは必ず行い、不適切な対応はしない。
- 移動時は声を掛け合い、ドレーン・チューブ類の抜去予防を行う。

### 4. 療養環境を適切に整備する。

- 患者は環境の変化に戸惑いを感じ、不適応な状態にあることを十分に理解する。
- 患者の転倒・転落防止策を強化する。

### 5. 安全で快適な職場をつくりましょう。

- 「5 S：整理・整頓・清掃・清潔・躰（習慣）」活動を行う。
- 指差し呼称で安全を確認する。
- 問題は早期に解決をして改善策を実践する。

## 施設概要

Report2024

## 施設概要

名 称…医療法人徳洲会 武蔵野徳洲会病院  
 住 所…東京都西東京市向台町 3丁目 5-48  
 開設日…平成 27 年 6 月 1 日  
 開設者…理事長 東上 震一  
 管理者…院 長 桶川 隆嗣  
 病床数…303 床（一般 253 床・療養 50 床）  
 診療科…内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、  
 呼吸器内科、糖尿病内科、外科、消化器外科、  
 呼吸器外科、乳腺外科、整形外科、  
 脳神経外科、形成外科、血管外科、泌尿器科、  
 小児科、婦人科、皮膚科、耳鼻咽喉科、  
 救急科、リハビリテーション科、放射線科、  
 麻酔科、病理診断科、歯科口腔外科（25 科目）  
 その他…血液浄化センター 42 床、  
 手術室 10 室（稼働 4 室）、CAG 室、  
 内視鏡室、健康管理センター、  
 リハビリテーション、化学療法室  
 設 計…株式会社 山下設計  
 施 行…大成建設 株式会社  
 構 造…免震構造（地上 6 階・地下 1 階）  
 面 積…敷地面積 13,178 m<sup>2</sup>（≒ 3,986 坪）  
 延べ床面積 35,080 m<sup>2</sup>（≒ 10,611 坪）

## 沿革

平成 25 年 2 月 15 日…武蔵野徳洲会病院着工  
 平成 27 年 4 月 15 日…武蔵野徳洲会病院竣工  
 平成 27 年 6 月 1 日…開院  
 3 病棟稼働 155 床でスタート  
 平成 27 年 7 月 1 日…東京都肝臓専門医療機関指定  
 平成 27 年 12 月 1 日…東京都救急告示病院指定  
 平成 28 年 1 月 1 日…西東京市医師会加入  
 平成 28 年 1 月 1 日…西東京市予防接種事業開始  
 平成 28 年 4 月 1 日…西東京市健診事業開始  
 4 病棟稼働 200 床に増床  
 平成 28 年 4 月 1 日…東京都糖尿病地域連携登録  
 医療機関  
 平成 28 年 5 月 20 日…「 かかりつけ病院」商標  
 登録  
 平成 28 年 9 月 1 日…許可床 210 床の 4 病棟稼働  
 開始  
 平成 29 年 1 月 1 日…東京都指定二次救急医療機関

## 認定

平成 29 年 3 月 1 日…東京都地域救急医療センター  
 指定  
 平成 29 年 3 月 1 日…国土交通省「短期入院協力病  
 院」指定  
 平成 29 年 4 月 21 日…東京都災害拠点連携病院指定  
 平成 29 年 7 月 7 日…東京都調整困難者（吐下血患  
 者）受入指定病院指定  
 平成 29 年 8 月 1 日…東京都脳卒中急性期医療機関  
 認定  
 平成 29 年 10 月 16 日…外国人患者受入拠点病院認定  
 平成 29 年 11 月 10 日…「ERアフターコール」商標登録  
 平成 30 年 3 月 2 日…日本病院機能評価機構 3rdG  
 Ver1.1 認定  
 平成 30 年 4 月 1 日…日本乳がん検診制度管理中央  
 機構マンモグラフィ健診施設  
 画像認定  
 平成 30 年 6 月 3 日…第 1 回むさとくフェスティバル  
 （病院祭）開催  
 平成 30 年 8 月 1 日…在宅医療支援室を設置し在宅  
 診療を開始  
 平成 30 年 12 月 1 日…武蔵野徳洲会訪問看護ステー  
 ションを院内に開設  
 平成 30 年 12 月 5 日…JMIP（外国人患者受入れ医療  
 機関認証制度）認定  
 令和元年 6 月 2 日…第 2 回むさとくフェスティバル  
 （病院祭）開催  
 令和元年 10 月 1 日…許可床 246 床へ（36 床増床）  
 令和 2 年 4 月 1 日…DPC 制度へ参加  
 令和 2 年 4 月 23 日…新型コロナウイルス感染症発  
 熱外来事業開始  
 令和 2 年 5 月 14 日…西東京市医師会 PCR 検査セ  
 ンター事業開始  
 同 …東京都地域外来・検査センター  
 事業開始  
 令和 2 年 7 月 14 日…新型コロナ疑い救急医療機関  
 指定  
 同 …東京都感染症診療協力医療機  
 関指定  
 同 …東京都新型コロナウイルス感染  
 症疑い患者受入協力医療機関  
 指定

令和 3 年 4 月 15 日…東京都新型コロナウイルス感染症入院重点医療機関登録

令和 3 年 6 月 1 日…西東京市歯科医師会加入

令和 3 年 8 月 1 日…歯科口腔外科開設

令和 3 年 9 月 1 日…許可床 256 床へ(10 床増床)

令和 3 年 10 月 1 日…法人合併により開設者が医療法人沖縄徳洲会から医療法人徳洲会へ変更

令和 3 年 11 月 1 日…手術ロボット hinotori 稼働

令和 4 年 4 月 1 日…3B 病棟 16 床開棟 稼働病床 272 床へ(16 床増床)

令和 4 年 5 月 1 日…2B 病棟を HCU(10 床) へ変更

令和 4 年 10 月 1 日…稼働病床数 293 床へ(21 床増床)

令和 5 年 1 月 4 日…日本医療機能評価機構 3rdG: Ver2.0 認定更新

令和 5 年 6 月 4 日…第 3 回むさとくフェスティバル(病院祭)開催(再開)

令和 5 年 11 月 1 日…稼働病床数 295 床へ(2 床増床)

令和 5 年 12 月 22 日…むさとくこども食堂開始

令和 6 年 3 月 1 日…臨床試験(治験)センター開設

令和 6 年 4 月 1 日…許可病床数 303 床フル稼働

令和 6 年 4 月 1 日…東京都休日耳鼻いんこう科診療事業指定

令和 6 年 6 月 9 日…第 4 回むさとくフェスティバル開催

令和 6 年 7 月 1 日…一般病棟入院基本料 1(7:1)取得

令和 6 年 9 月 1 日…感染対策向上加算 1 取得

令和 7 年 4 月 1 日…協力型臨床研修病院指定

## 基本診療料の施設基準

ハイケアユニット入院医療管理料1  
 一般病棟入院基本料（急性期一般入院料1）  
 様式10の6・90日を超えて入院する患者の患者の算定：有  
 療養病棟入院基本料1  
 自院で内視鏡嚥下機能検査を実施出来る体制：有  
 自院で嚥下造影を実施出来る体制：有  
 療養病棟入院基本料 注13 看護補助体制充実加算3  
 救急医療管理加算  
 診療録管理体制加算1  
 医師事務作業補助体制加算1（20：1）  
 急性期看護補助体制加算（25：1）  
 看護補助体制充実加算  
 夜間100対1急性期看護補助体制加算  
 看護職員夜間配置加算  
 療養環境加算  
 重症者等療養環境特別加算  
 療養病棟療養環境加算1  
 看護補助体制充実加算  
 看護職員夜間配置加算（16対1 配置加算1）  
 栄養サポートチーム加算

医療安全対策加算1  
 医療安全対策地域連携加算1  
 感染対策向上加算1  
 後発医薬品使用体制加算1  
 病棟薬剤業務実施加算1  
 病棟薬剤業務実施加算2  
 データ提出加算2  
 入退院支援加算1  
 入退院支援加算1入院時支援加算  
 入退院支援加算1総合機能評価加算  
 せん妄ハイリスク患者ケア加算  
 地域医療体制確保加算  
 褥瘡ハイリスク患者ケア加算  
 術後疼痛管理チーム加算  
 看護職員処遇改善評価料31  
 認知症ケア加算2  
 排尿自立支援加算  
 報告書管理体制加算  
 超急性期脳卒中加算  
 医療DX推進体制整備加算  
 入院時食事療養（I）・入院時生活療養（I）

## 特掲診療料の施設基準

歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料  
 がん性疼痛緩和指導管理料  
 院内トリアージ実施料  
 夜間休日救急搬送医学管理料の「注3」に掲げる救急搬送看護体制加算  
 薬剤管理指導料  
 医療機器安全管理料1  
 歯科疾患在宅療養管理料の注4に掲げる在宅総合医療管理加算及び在宅患者歯科治療時医療管理料  
 検体検査管理加算（IV）  
 時間内歩行試験  
 補聴器適合検査  
 小児食物アレルギー負荷検査  
 CT撮影及びMRI撮影  
 抗悪性腫瘍剤処方管理加算  
 無菌製剤処理料  
 心大血管疾患リハビリテーション料（I）  
 脳血管疾患等リハビリテーション料（I）  
 運動器リハビリテーション料（I）  
 呼吸器リハビリテーション料（I）  
 がん患者リハビリテーション料  
 人工腎臓（慢性維持透析を行った場合1）  
 導入期加算1及び腎代替療法実績加算  
 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算  
 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術  
 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術  
 大動脈バルーンパンピング法（IABP法）  
 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術  
 医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術  
 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術  
 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術  
 胃瘻造設術  
 輸血管理料II  
 輸血適性使用加算  
 胃瘻造設時嚥下機能評価加算

麻酔管理料（I）  
 クラウン・ブリッジ維持管理料  
 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）  
 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）  
 及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）画像診断管理加算1  
 画像診断管理加算2  
 周術期薬剤管理加算  
 二次性骨折予防管理料1  
 二次性骨折予防管理料3  
 外来腫瘍化学療法診療料1  
 外来腫瘍化学療法診療料1 連携充実加算  
 腎代替療法指導管理料  
 下肢創傷処置管理料  
 人工肛門・人工膀胱増設術前処置加算  
 ニコチン依存症管理料  
 外来排尿自立指導料  
 乳がんセンチネルリンパ節加算2  
 緊急整復固定加算及び緊急挿入加算  
 歯科口腔リハビリテーション料2  
 腹腔鏡下腎盂形成術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）  
 前立腺針生検法（MRI撮影及び超音波検査融合画）  
 HPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）  
 冠動脈CT撮影加算  
 外来化学療法1  
 下肢末梢動脈疾患指導管理料  
 ストーマ合併症加算  
 外来栄養指導の注2  
 外来栄養指導の注3  
 外来・在宅ベースアップ評価料（I）  
 歯科外来・在宅ベースアップ評価料（I）  
 外来栄養指導料の注2に規定する基準  
 外来栄養指導料の注3に規定する基準  
 入院ベースアップ評価料44  
 看護職員処遇改善評価料39  
 酸素単価

# かかりつけ病院・ER アフターコール

Report2024

## かかりつけ病院

- ◆「生命だけは平等だ」の理念のもと、健康を増進し、予防を徹底し、適切な治療を提供する地域の「かかりつけ病院」を目指します。
- ◆また、地域の医療機関と連携を図り、患者様に「途切れのないシームレスな医療」をトータルにチームで提供します。
- ◆平成28年5月20日付で「 かかりつけ病院」を商標登録致しました。



## ER アフターコール

- ◆救急搬送された患者さんの帰宅後、看護師による電話訪問を実施しています。

# 病院機能評価認定病院

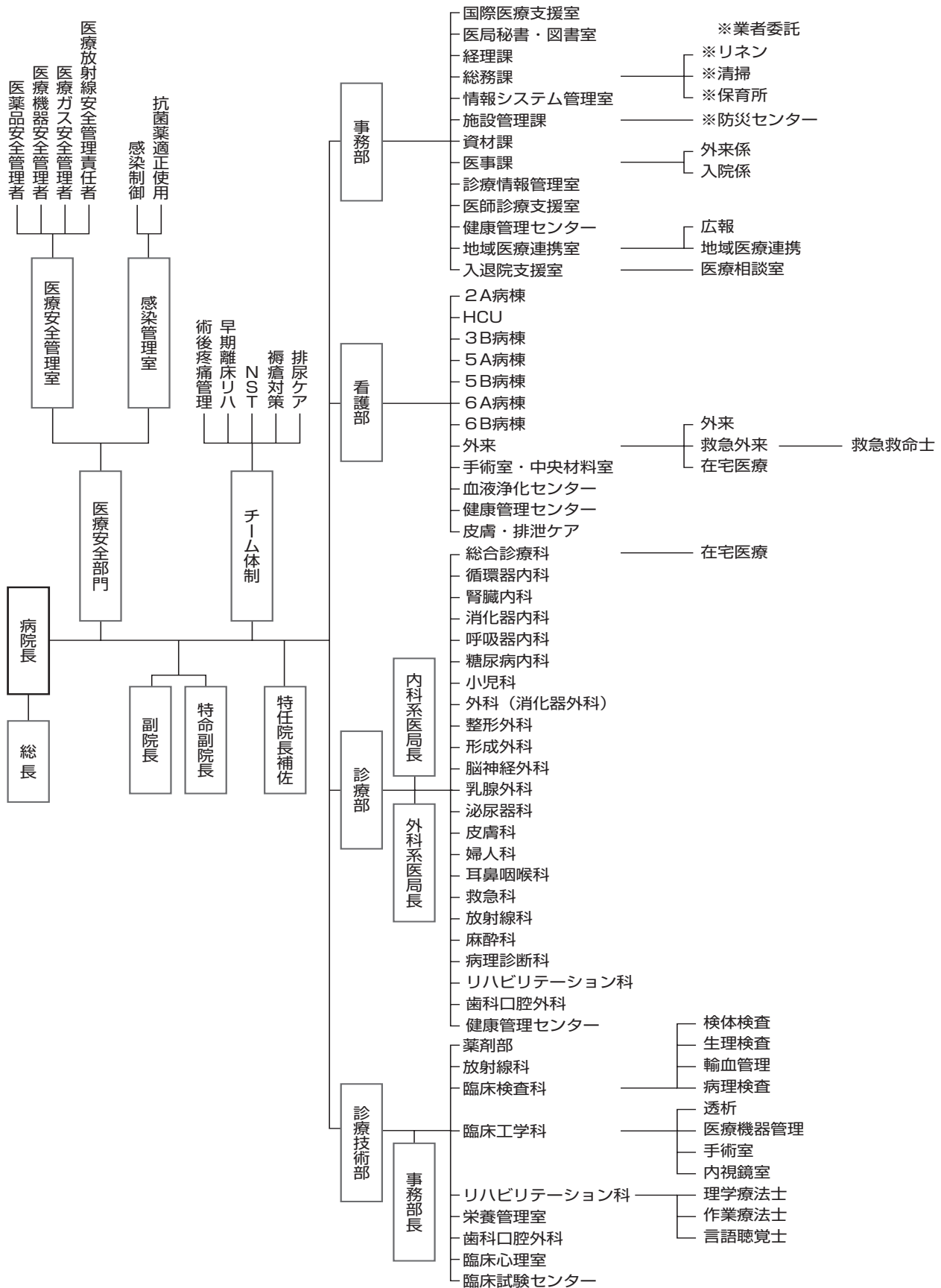
Report2024

当院は、公益財団法人日本医療機能評価機構が定める認定基準を達成していることが認められ、2018年3月2日付で病院機能評価認定病院の認定を受け、2023年1月4日に3rdG: Ver.2.0 更新しました。



## 組織図

Report2024



## 外来・入院患者に関する各種統計

Report2024

2024 年度地区別入院患者数

| 集計区分       | 入院    | 退院    | 在院      |
|------------|-------|-------|---------|
| 西東京市泉町     | 41    | 37    | 613     |
| 西東京市北原町    | 31    | 30    | 697     |
| 西東京市北町     | 27    | 29    | 425     |
| 西東京市栄町     | 19    | 18    | 657     |
| 西東京市芝久保町   | 172   | 170   | 2,540   |
| 西東京市下保谷    | 29    | 30    | 349     |
| 西東京市新町     | 275   | 278   | 3,498   |
| 西東京市住吉町    | 45    | 45    | 624     |
| 西東京市田無町    | 112   | 114   | 1,686   |
| 西東京市中町     | 40    | 38    | 576     |
| 西東京市西原町    | 72    | 76    | 961     |
| 西東京市東町     | 31    | 33    | 337     |
| 西東京市東伏見    | 52    | 54    | 677     |
| 西東京市ひばりが丘  | 68    | 67    | 1,314   |
| 西東京市ひばりが丘北 | 19    | 19    | 238     |
| 西東京市富士町    | 85    | 82    | 2,039   |
| 西東京市保谷     | 107   | 106   | 2,236   |
| 西東京市緑町     | 42    | 43    | 657     |
| 西東京市南町     | 199   | 201   | 3,073   |
| 西東京市向台町    | 396   | 386   | 5,227   |
| 西東京市柳沢     | 194   | 191   | 3,687   |
| 西東京市谷戸町    | 94    | 94    | 1,317   |
| 武蔵野市       | 648   | 643   | 12,210  |
| 小金井市       | 638   | 638   | 10,663  |
| 小平市        | 536   | 544   | 10,704  |
| 東久留米市      | 296   | 304   | 7,019   |
| 三鷹市        | 328   | 323   | 6,230   |
| 清瀬市        | 72    | 73    | 1,450   |
| その他        | 1,340 | 1,343 | 23,369  |
|            | 6,008 | 6,009 | 105,073 |

2024 年度地区別外来患者数

| 集計区分       | 合計(計)   |
|------------|---------|
| 西東京市泉町     | 1,718   |
| 西東京市北原町    | 1,388   |
| 西東京市北町     | 832     |
| 西東京市栄町     | 912     |
| 西東京市芝久保町   | 5,790   |
| 西東京市下保谷    | 1,193   |
| 西東京市新町     | 12,778  |
| 西東京市住吉町    | 1,146   |
| 西東京市田無町    | 3,425   |
| 西東京市中町     | 1,277   |
| 西東京市西原町    | 1,687   |
| 西東京市東町     | 1,116   |
| 西東京市東伏見    | 1,319   |
| 西東京市ひばりが丘  | 1,631   |
| 西東京市ひばりが丘北 | 755     |
| 西東京市富士町    | 1,960   |
| 西東京市保谷     | 2,814   |
| 西東京市緑町     | 1,105   |
| 西東京市南町     | 7,334   |
| 西東京市向台町    | 20,594  |
| 西東京市柳沢     | 4,426   |
| 西東京市谷戸町    | 2,163   |
| 武蔵野市       | 9,144   |
| 小金井市       | 7,480   |
| 小平市        | 7,697   |
| 東久留米市      | 3,839   |
| 三鷹市        | 2,535   |
| 清瀬市        | 807     |
| その他        | 13,289  |
| 合計         | 122,154 |

2024 年度年齢別入院患者数

| 集計区分       | 入院    | 退院    | 在院      |
|------------|-------|-------|---------|
| 0日～28日     | 0     | 0     | 0       |
| 29日～2歳未満   | 0     | 0     | 0       |
| 2歳～4歳未満    | 0     | 0     | 0       |
| 4歳～6歳未満    | 3     | 3     | 2       |
| 6歳～10歳未満   | 29    | 29    | 55      |
| 10歳～20歳未満  | 108   | 106   | 292     |
| 20歳～30歳未満  | 231   | 231   | 772     |
| 30歳～40歳未満  | 193   | 190   | 666     |
| 40歳～50歳未満  | 378   | 381   | 1,566   |
| 50歳～60歳未満  | 623   | 623   | 4,502   |
| 60歳～65歳未満  | 367   | 363   | 3,407   |
| 65歳～70歳未満  | 376   | 367   | 4,056   |
| 70歳～75歳未満  | 504   | 511   | 7,103   |
| 75歳～80歳未満  | 705   | 704   | 13,439  |
| 80歳～85歳未満  | 769   | 762   | 18,701  |
| 85歳～90歳未満  | 779   | 776   | 21,215  |
| 90歳～95歳未満  | 647   | 660   | 18,771  |
| 95歳～100歳未満 | 264   | 267   | 8,867   |
| 100歳以上     | 32    | 36    | 1,659   |
| 合計         | 6,008 | 6,009 | 105,073 |

2024 年度年齢別外来患者数

| 集計区分       | 合計(計)   |
|------------|---------|
| 0日～28日     | 1       |
| 29日～2歳未満   | 2,198   |
| 2歳～4歳未満    | 2,211   |
| 4歳～6歳未満    | 2,983   |
| 6歳～10歳未満   | 6,622   |
| 10歳～20歳未満  | 7,876   |
| 20歳～30歳未満  | 5,847   |
| 30歳～40歳未満  | 6,156   |
| 40歳～50歳未満  | 10,486  |
| 50歳～60歳未満  | 14,513  |
| 60歳～65歳未満  | 9,122   |
| 65歳～70歳未満  | 9,483   |
| 70歳～75歳未満  | 10,816  |
| 75歳～80歳未満  | 12,330  |
| 80歳～85歳未満  | 9,068   |
| 85歳～90歳未満  | 6,324   |
| 90歳～95歳未満  | 4,174   |
| 95歳～100歳未満 | 1,854   |
| 100歳以上     | 90      |
| 合計         | 122,154 |

## 2024 年度診療科別外来患者数

|                  | 4月    | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月    | 3月     | 合 計     |
|------------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|---------|
| <b>内 科</b>       | 1,287 | 1,458  | 1,305  | 1,549  | 1,464  | 1,409  | 1,768  | 2,054  | 2,163  | 1,749  | 1,402 | 1,595  | 19,203  |
| （新患者）            | 84    | 85     | 83     | 113    | 109    | 79     | 80     | 108    | 225    | 201    | 68    | 81     | 1,316   |
| <b>循環器内科</b>     | 384   | 401    | 355    | 361    | 354    | 333    | 394    | 331    | 408    | 343    | 242   | 241    | 4,147   |
| （新患者）            | 6     | 5      | 7      | 5      | 3      | 11     | 7      | 5      | 10     | 5      | 3     | 8      | 75      |
| <b>呼吸器内科</b>     | 0     | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0     | 0      | 0       |
| （新患者）            | 0     | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0     | 0      | 0       |
| <b>消化器内科</b>     | 522   | 517    | 566    | 528    | 532    | 527    | 637    | 531    | 545    | 536    | 360   | 391    | 6,192   |
| （新患者）            | 23    | 16     | 13     | 18     | 32     | 22     | 20     | 20     | 12     | 17     | 7     | 6      | 206     |
| <b>腫瘍内科</b>      | 0     | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0     | 0      | 0       |
| （新患者）            | 0     | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0     | 0      | 0       |
| <b>肝臓内科</b>      | 0     | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0     | 0      | 0       |
| （新患者）            | 0     | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0     | 0      | 0       |
| <b>腎臓内科</b>      | 66    | 59     | 68     | 60     | 53     | 74     | 63     | 58     | 72     | 60     | 72    | 26     | 731     |
| （新患者）            | 7     | 8      | 3      | 5      | 5      | 5      | 7      | 5      | 3      | 5      | 2     | 0      | 55      |
| <b>糖尿病・内分泌内科</b> | 195   | 230    | 224    | 242    | 256    | 288    | 290    | 299    | 319    | 299    | 274   | 291    | 3,207   |
| （新患者）            | 2     | 0      | 0      | 1      | 1      | 2      | 0      | 7      | 1      | 2      | 0     | 2      | 18      |
| <b>神経内科</b>      | 210   | 207    | 204    | 214    | 186    | 189    | 213    | 172    | 184    | 194    | 160   | 196    | 2,329   |
| （新患者）            | 7     | 3      | 3      | 9      | 4      | 4      | 3      | 3      | 4      | 5      | 2     | 3      | 50      |
| <b>婦人科</b>       | 132   | 125    | 147    | 186    | 183    | 191    | 169    | 176    | 153    | 122    | 120   | 187    | 1,891   |
| （新患者）            | 9     | 4      | 7      | 9      | 11     | 13     | 10     | 9      | 3      | 2      | 2     | 6      | 85      |
| <b>小児科</b>       | 1,098 | 1,154  | 1,195  | 1,418  | 1,126  | 1,145  | 1,447  | 1,538  | 1,826  | 1,196  | 1,113 | 1,222  | 15,478  |
| （新患者）            | 37    | 34     | 30     | 42     | 42     | 24     | 46     | 61     | 117    | 72     | 43    | 26     | 574     |
| <b>外科</b>        | 26    | 15     | 13     | 6      | 8      | 11     | 2      | 3      | 4      | 3      | 3     | 4      | 98      |
| （新患者）            | 1     | 0      | 0      | 0      | 1      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0     | 0      | 2       |
| <b>皮膚科</b>       | 209   | 229    | 266    | 313    | 320    | 239    | 359    | 292    | 296    | 265    | 241   | 239    | 3,268   |
| （新患者）            | 14    | 9      | 9      | 16     | 14     | 7      | 16     | 13     | 9      | 6      | 6     | 5      | 124     |
| <b>透析科</b>       | 1,014 | 1,074  | 957    | 1,026  | 1,002  | 904    | 985    | 891    | 926    | 926    | 792   | 856    | 11,353  |
| （新患者）            | 1     | 1      | 0      | 1      | 0      | 3      | 4      | 0      | 0      | 0      | 0     | 0      | 10      |
| <b>消化器外科</b>     | 281   | 311    | 264    | 335    | 247    | 274    | 336    | 377    | 369    | 398    | 353   | 384    | 3,929   |
| （新患者）            | 9     | 20     | 17     | 15     | 15     | 7      | 18     | 22     | 21     | 27     | 17    | 17     | 205     |
| <b>呼吸器外科</b>     | 18    | 18     | 22     | 16     | 19     | 23     | 22     | 27     | 25     | 17     | 19    | 11     | 237     |
| （新患者）            | 1     | 0      | 1      | 1      | 1      | 1      | 1      | 3      | 2      | 1      | 0     | 0      | 12      |
| <b>乳腺外科</b>      | 113   | 130    | 152    | 142    | 142    | 126    | 103    | 100    | 95     | 117    | 139   | 168    | 1,527   |
| （新患者）            | 10    | 5      | 8      | 8      | 11     | 2      | 6      | 6      | 4      | 6      | 9     | 14     | 89      |
| <b>脳神経外科</b>     | 197   | 226    | 241    | 239    | 256    | 216    | 432    | 396    | 483    | 408    | 399   | 398    | 3,891   |
| （新患者）            | 9     | 9      | 12     | 7      | 15     | 13     | 149    | 62     | 54     | 45     | 42    | 38     | 455     |
| <b>耳鼻咽喉科</b>     | 494   | 517    | 494    | 488    | 404    | 466    | 536    | 531    | 526    | 515    | 496   | 606    | 6,073   |
| （新患者）            | 27    | 35     | 42     | 36     | 34     | 36     | 43     | 41     | 41     | 38     | 21    | 47     | 441     |
| <b>心臓血管外科</b>    | 28    | 18     | 21     | 17     | 28     | 23     | 29     | 14     | 30     | 24     | 19    | 23     | 274     |
| （新患者）            | 1     | 1      | 1      | 1      | 0      | 1      | 0      | 0      | 2      | 0      | 0     | 0      | 7       |
| <b>泌尿器科</b>      | 765   | 768    | 808    | 756    | 807    | 807    | 971    | 820    | 883    | 827    | 857   | 863    | 9,932   |
| （新患者）            | 50    | 41     | 41     | 32     | 58     | 41     | 61     | 43     | 59     | 41     | 53    | 39     | 559     |
| <b>整形外科</b>      | 817   | 847    | 835    | 755    | 738    | 807    | 847    | 769    | 835    | 752    | 709   | 736    | 9,447   |
| （新患者）            | 82    | 84     | 64     | 54     | 65     | 75     | 65     | 69     | 79     | 66     | 71    | 54     | 828     |
| <b>形成外科</b>      | 214   | 222    | 203    | 187    | 178    | 184    | 228    | 203    | 154    | 88     | 79    | 63     | 2,003   |
| （新患者）            | 14    | 12     | 14     | 10     | 13     | 18     | 20     | 11     | 11     | 7      | 3     | 1      | 134     |
| <b>麻酔科</b>       | 15    | 22     | 29     | 29     | 23     | 28     | 36     | 32     | 29     | 19     | 39    | 20     | 321     |
| （新患者）            | 1     | 0      | 1      | 1      | 0      | 1      | 0      | 0      | 1      | 2      | 0     | 1      | 8       |
| <b>放射線科</b>      | 36    | 30     | 31     | 49     | 34     | 48     | 32     | 50     | 40     | 53     | 41    | 33     | 477     |
| （新患者）            | 12    | 8      | 6      | 13     | 18     | 17     | 18     | 23     | 19     | 24     | 18    | 17     | 193     |
| <b>救急内科</b>      | 247   | 300    | 296    | 359    | 324    | 301    | 312    | 317    | 412    | 347    | 248   | 282    | 3,745   |
| （新患者）            | 121   | 142    | 134    | 184    | 153    | 144    | 152    | 138    | 208    | 169    | 106   | 119    | 1,770   |
| <b>救急外科</b>      | 227   | 229    | 213    | 209    | 245    | 226    | 206    | 280    | 269    | 265    | 248   | 226    | 2,843   |
| （新患者）            | 114   | 98     | 99     | 100    | 134    | 118    | 104    | 148    | 148    | 148    | 132   | 125    | 1,468   |
| <b>歯科口腔外科</b>    | 704   | 636    | 872    | 917    | 788    | 739    | 769    | 634    | 717    | 613    | 623   | 701    | 8,713   |
| （新患者）            | 99    | 89     | 127    | 115    | 110    | 127    | 125    | 88     | 117    | 80     | 124   | 120    | 1,321   |
| <b>ドック・健診</b>    | 615   | 761    | 819    | 968    | 917    | 1,092  | 1,234  | 1,131  | 1,592  | 915    | 824   | 878    | 11,746  |
| （新患者）            | 76    | 144    | 162    | 236    | 232    | 249    | 223    | 243    | 241    | 206    | 235   | 279    | 2,526   |
| <b>在宅</b>        | 69    | 64     | 72     | 61     | 74     | 69     | 81     | 81     | 77     | 60     | 61    | 76     | 845     |
| （新患者）            | 0     | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0     | 0      | 0       |
| <b>合計</b>        | 9,983 | 10,568 | 10,672 | 11,430 | 10,708 | 10,739 | 12,501 | 12,107 | 13,432 | 11,111 | 9,933 | 10,716 | 133,900 |
| （新患者）            | 817   | 853    | 884    | 1,032  | 1,081  | 1,020  | 1,178  | 1,128  | 1,391  | 1,175  | 964   | 1,008  | 12,531  |

2024 年度診療科別入院患者数

| 診療科    | 4月  |     | 5月   |     | 6月  |      | 7月  |     | 8月   |     | 9月  |      |
|--------|-----|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|------|
|        | 入院  | 退院  | 入院   | 退院  | 入院  | 退院   | 入院  | 退院  | 入院   | 退院  | 入院  | 退院   |
| 内科     | 81  | 59  | 1702 | 101 | 64  | 1820 | 121 | 73  | 1799 | 101 | 72  | 1897 |
| 循環器内科  | 35  | 53  | 1311 | 31  | 40  | 1170 | 33  | 46  | 1195 | 43  | 47  | 1402 |
| 呼吸器内科  | 2   | 2   | 102  | 7   | 4   | 147  | 6   | 6   | 213  | 6   | 5   | 193  |
| 消化器内科  | 40  | 47  | 817  | 54  | 60  | 825  | 62  | 80  | 1250 | 71  | 85  | 1539 |
| 腫瘍内科   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    |
| 肝臓内科   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    |
| 腎臓内科   | 6   | 13  | 360  | 11  | 12  | 199  | 12  | 9   | 212  | 8   | 13  | 227  |
| 糖尿病    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    |
| 神経内科   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    |
| 婦人科    | 5   | 8   | 126  | 5   | 9   | 87   | 3   | 6   | 66   | 8   | 6   | 124  |
| 小児科    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    |
| 外科     | 7   | 3   | 16   | 9   | 3   | 13   | 9   | 3   | 74   | 17  | 11  | 89   |
| 皮膚科    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    |
| 消化器外科  | 15  | 16  | 712  | 13  | 13  | 710  | 16  | 16  | 746  | 14  | 20  | 714  |
| 呼吸器外科  | 48  | 47  | 551  | 46  | 39  | 598  | 49  | 57  | 791  | 48  | 46  | 667  |
| 乳腺外科   | 2   | 1   | 23   | 0   | 1   | 17   | 2   | 2   | 12   | 0   | 1   | 4    |
| 乳癌外科   | 1   | 1   | 3    | 2   | 2   | 22   | 2   | 2   | 12   | 3   | 2   | 14   |
| 脳神経外科  | 13  | 12  | 425  | 6   | 15  | 393  | 19  | 16  | 331  | 15  | 22  | 442  |
| 耳鼻咽喉科  | 10  | 9   | 19   | 12  | 16  | 26   | 20  | 17  | 56   | 12  | 19  | 39   |
| 心臓血管外科 | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    |
| 泌尿器科   | 52  | 65  | 694  | 50  | 60  | 467  | 72  | 64  | 632  | 69  | 77  | 674  |
| 整形外科   | 84  | 90  | 1485 | 99  | 105 | 1271 | 83  | 85  | 1180 | 73  | 67  | 1119 |
| 形成外科   | 2   | 2   | 3    | 1   | 1   | 2    | 1   | 1   | 6    | 1   | 1   | 5    |
| 麻酔科    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    |
| 放射線科   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    |
| 救急内科   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    |
| 救急外科   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    |
| 歯科口腔外科 | 10  | 10  | 36   | 14  | 11  | 43   | 23  | 26  | 61   | 27  | 25  | 57   |
| 訪問     | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    |
| 合計     | 413 | 438 | 8385 | 461 | 455 | 7810 | 518 | 496 | 8693 | 529 | 511 | 9099 |

| 診療科    | 10月 |     | 11月  |     | 12月 |      | 1月  |     | 2月   |     | 3月  |      | 合計  |     |
|--------|-----|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|
|        | 入院  | 退院  | 入院   | 退院  | 入院  | 退院   | 入院  | 退院  | 入院   | 退院  | 入院  | 退院   | 入院  | 退院  |
| 内科     | 93  | 50  | 1956 | 108 | 78  | 2045 | 135 | 78  | 2121 | 112 | 70  | 2076 | 131 | 79  |
| 循環器内科  | 38  | 48  | 1257 | 32  | 40  | 1036 | 40  | 52  | 1025 | 40  | 33  | 815  | 18  | 29  |
| 呼吸器内科  | 0   | 1   | 51   | 3   | 2   | 32   | 5   | 4   | 102  | 6   | 7   | 68   | 3   | 5   |
| 消化器内科  | 61  | 80  | 1440 | 36  | 59  | 1042 | 44  | 55  | 960  | 27  | 41  | 831  | 21  | 34  |
| 腫瘍内科   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   |
| 肝臓内科   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   |
| 腎臓内科   | 6   | 12  | 223  | 6   | 6   | 157  | 8   | 6   | 129  | 6   | 10  | 172  | 2   | 3   |
| 糖尿病    | 2   | 2   | 23   | 1   | 1   | 11   | 0   | 0   | 0    | 1   | 0   | 8    | 1   | 0   |
| 神経内科   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   |
| 婦人科    | 5   | 5   | 200  | 3   | 9   | 144  | 4   | 6   | 165  | 4   | 8   | 215  | 6   | 7   |
| 小児科    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   |
| 外科     | 11  | 8   | 93   | 22  | 9   | 73   | 26  | 10  | 122  | 13  | 8   | 95   | 13  | 4   |
| 皮膚科    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   |
| 消化器外科  | 24  | 14  | 642  | 17  | 18  | 790  | 12  | 18  | 759  | 13  | 17  | 751  | 15  | 6   |
| 呼吸器外科  | 58  | 53  | 670  | 47  | 69  | 850  | 53  | 64  | 920  | 44  | 49  | 704  | 43  | 58  |
| 乳腺外科   | 1   | 1   | 3    | 0   | 0   | 0    | 1   | 1   | 7    | 0   | 0   | 0    | 0   | 2   |
| 乳癌外科   | 1   | 1   | 10   | 0   | 0   | 0    | 2   | 1   | 23   | 5   | 7   | 68   | 5   | 6   |
| 脳神経外科  | 18  | 21  | 380  | 40  | 34  | 677  | 26  | 28  | 637  | 22  | 22  | 730  | 30  | 27  |
| 耳鼻咽喉科  | 22  | 23  | 63   | 18  | 22  | 61   | 18  | 23  | 55   | 19  | 18  | 52   | 11  | 23  |
| 心臓血管外科 | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   |
| 泌尿器科   | 83  | 85  | 688  | 70  | 75  | 645  | 57  | 68  | 693  | 57  | 56  | 740  | 66  | 87  |
| 整形外科   | 81  | 95  | 1187 | 99  | 99  | 1137 | 111 | 123 | 1238 | 96  | 75  | 1287 | 102 | 89  |
| 形成外科   | 2   | 2   | 4    | 2   | 2   | 5    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   |
| 麻酔科    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   |
| 放射線科   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   |
| 救急内科   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   |
| 救急外科   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   |
| 歯科口腔外科 | 29  | 25  | 90   | 22  | 27  | 68   | 21  | 21  | 69   | 22  | 20  | 58   | 19  | 24  |
| 訪問     | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   |
| 合計     | 535 | 526 | 8980 | 526 | 550 | 8773 | 561 | 557 | 9002 | 481 | 462 | 9267 | 469 | 485 |

## 救急搬送統計

Report2024

2024 年度救急隊別搬送件数

| 救急隊名    | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計   |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 西東京（本署） | 19  | 19  | 29  | 16  | 25  | 23  | 20  | 20  | 23  | 14  | 10  | 29  | 247  |
| 西東京（田無） | 23  | 21  | 27  | 29  | 24  | 26  | 32  | 32  | 37  | 21  | 34  | 18  | 324  |
| 西東京（西原） | 16  | 17  | 25  | 27  | 34  | 16  | 20  | 34  | 26  | 26  | 18  | 18  | 277  |
| 西東京（保谷） | 13  | 15  | 12  | 11  | 18  | 20  | 14  | 11  | 16  | 15  | 14  | 8   | 167  |
| 小金井     | 14  | 26  | 9   | 12  | 22  | 19  | 20  | 17  | 18  | 13  | 10  | 13  | 193  |
| 緑町      | 29  | 30  | 20  | 29  | 33  | 32  | 33  | 27  | 19  | 21  | 23  | 25  | 321  |
| 花小金井    | 17  | 25  | 28  | 32  | 31  | 22  | 31  | 30  | 36  | 22  | 19  | 26  | 319  |
| 小平      | 7   | 5   | 4   | 8   | 3   | 7   | 5   | 5   | 10  | 9   | 6   | 1   | 70   |
| 小川      | 3   | 1   | 1   | 4   | 3   | 0   | 1   | 0   | 1   | 2   | 2   | 2   | 20   |
| 国分寺     | 9   | 6   | 6   | 12  | 14  | 5   | 4   | 9   | 10  | 12  | 11  | 9   | 107  |
| 戸倉      | 1   | 2   | 2   | 3   | 2   | 1   | 1   | 3   | 4   | 3   | 4   | 1   | 27   |
| 清瀬      | 2   | 6   | 5   | 10  | 2   | 1   | 6   | 7   | 2   | 7   | 3   | 2   | 53   |
| 武蔵野     | 13  | 9   | 19  | 22  | 20  | 17  | 18  | 15  | 22  | 17  | 23  | 20  | 215  |
| 武蔵境     | 9   | 14  | 12  | 14  | 19  | 16  | 17  | 16  | 10  | 13  | 19  | 14  | 173  |
| 吉祥寺     | 11  | 13  | 17  | 16  | 12  | 13  | 9   | 16  | 13  | 10  | 15  | 7   | 152  |
| 石神井     | 1   | 3   | 1   | 4   | 10  | 0   | 3   | 2   | 7   | 5   | 1   | 5   | 42   |
| 大泉学園    | 1   | 3   | 3   | 4   | 3   | 1   | 3   | 4   | 3   | 4   | 1   | 3   | 33   |
| 石神井公園   | 2   | 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | 3   | 2   | 3   | 1   | 1   | 0   | 13   |
| 関町      | 5   | 3   | 3   | 7   | 5   | 2   | 14  | 5   | 3   | 6   | 3   | 3   | 59   |
| 大沢      | 7   | 10  | 10  | 14  | 6   | 9   | 10  | 13  | 9   | 9   | 8   | 14  | 119  |
| 下連雀     | 11  | 11  | 10  | 7   | 8   | 14  | 11  | 8   | 10  | 8   | 13  | 10  | 121  |
| 三鷹      | 6   | 4   | 3   | 14  | 8   | 8   | 5   | 4   | 15  | 8   | 7   | 7   | 89   |
| 調布      | 3   | 0   | 3   | 10  | 5   | 6   | 7   | 5   | 5   | 6   | 6   | 3   | 59   |
| つつじヶ丘   | 2   | 0   | 0   | 1   | 3   | 3   | 0   | 1   | 1   | 3   | 0   | 2   | 16   |
| 国領      | 2   | 2   | 0   | 0   | 1   | 2   | 0   | 2   | 3   | 2   | 2   | 1   | 17   |
| 府中      | 1   | 4   | 2   | 6   | 1   | 3   | 2   | 1   | 4   | 6   | 2   | 1   | 33   |
| 是政      | 1   | 2   | 0   | 1   | 3   | 1   | 1   | 1   | 0   | 1   | 1   | 3   | 15   |
| 柴町      | 2   | 8   | 1   | 3   | 0   | 1   | 2   | 4   | 4   | 3   | 1   | 8   | 37   |
| 朝日      | 2   | 2   | 2   | 1   | 2   | 2   | 2   | 2   | 6   | 1   | 2   | 4   | 28   |
| 分梅      | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | 1   | 0   | 1   | 1   | 0   | 4    |
| 東村山     | 2   | 1   | 1   | 1   | 3   | 0   | 1   | 5   | 3   | 2   | 0   | 2   | 21   |
| 秋津      | 3   | 2   | 6   | 3   | 3   | 1   | 2   | 3   | 8   | 6   | 3   | 2   | 42   |
| 本町      | 0   | 0   | 1   | 1   | 2   | 0   | 1   | 0   | 1   | 3   | 3   | 1   | 13   |
| 東久留米    | 4   | 3   | 4   | 11  | 6   | 12  | 9   | 9   | 8   | 7   | 13  | 3   | 89   |
| 新川      | 7   | 9   | 4   | 9   | 6   | 7   | 5   | 3   | 8   | 8   | 8   | 10  | 84   |
| その他     | 30  | 26  | 40  | 32  | 44  | 29  | 29  | 38  | 68  | 51  | 33  | 32  | 452  |
| 受入合計    | 278 | 302 | 310 | 374 | 382 | 320 | 341 | 355 | 416 | 346 | 320 | 307 | 4051 |
| 入院患者数   | 167 | 190 | 219 | 224 | 248 | 196 | 210 | 234 | 251 | 193 | 188 | 191 | 2511 |

## 【人員配置】

2015 年 6 月 1 日～2016 年 11 月 30 日

専従：佐々明美（看護師）

2016 年 12 月 1 日～

専従：吉田和子（看護師）

## 【業務内容】

1. インシデント・アクシデントの情報収集・分析・対策立案・指導
2. 医療安全管理委員会およびセーフティマネージャー会議との連携
3. 院内外の医療安全情報の発信
4. 医療安全管理マニュアルの改訂・整備
5. 医療安全教育・研修の実施
6. 医療安全に関連する患者対応

## 【業務実績】

1. インシデント・アクシデントレポート報告件数
  - 2020 年度……………2504 件
  - 2021 年度……………2999 件
  - 2022 年度……………3388 件
  - 2023 年度……………3737 件
  - 2024 年度……………4910 件
2. 医療安全管理委員会（毎月 1 回）
3. セーフティマネージャー会議（毎月 1 回）
  - 2023 年度よりワーキンググループを増設し活動継続
    - ①転倒転落 ②リストバンド
    - ③バーコード認証 ④ハイアラート薬
    - ⑤タイムアウト ⑥ 5S 活動
    - ⑦患者誤認予防
4. 医療安全カンファレンス（およそ毎週 1 回）
  - ・死亡患者カルテ review の充実
  - ・重大事故事例の共有と対策周知の強化
5. マニュアルの整備
  - ・転倒転落予防策フロー改訂
  - ・徳洲会重大事故等検討分科会からの情報共有で改訂
    - 救急カートに CO2 チェッカーを配置
    - 侵襲的処置時の薬剤使用の適正化
6. 院内ポンプライセンス制度
  - 2017 年度に導入し継続実施中

輸液ポンプ・輸注ポンプの適切な使用方法を習得し、受講や試験終了後に認定証を発行

- ・Basic コース 60 分の講義受講：61 名受講
- ・Intermediate コース 筆記試験・実技試験 80 点以上：4 名合格
- ・Instructor コース 60 分の Basic コースの模擬講義：受講者なし

## 7. 研修の実施

- 1) 全職員対象 医療安全研修会
  - 年間を通して e-ラーニングシステムを使用した。
  - ・第 1 回目 8/14 ～ 8/23
    - 「当院における術後 31 日以内の死亡症例を調査して見えたもの」
    - 受講者 573 名 未受講者 0 名 受講率 100%
  - ・第 2 回目 11/1 ～ 11/30
    - 「医療安全と医療事故・説明と同意・DNAR と終末期医療」
    - 受講者 580 名 未受講者 0 名 受講率 100%
  - ・医薬品安全管理研修
    - 「ハイアラート薬の管理手順」
    - 1/23 ～ 1/31 受講者 335 名
  - ・医療機器安全管理研修
    - 「除細動器の使用法」
    - 3/31 ～ 4/10 受講者 414 名
  - ・医療ガス安全管理研修
    - 「酸素ボンベの圧抜き」
    - 3/31 ～ 4/10 受講者 453 名
  - ・医療放射線安全管理研修
    - 「診療用放射線の安全利用」
    - 「MRI の安全研修」
    - 12/9 ～ 1/13 受講者 444 名
- 2) 医療安全ステップアップ研修
  - 2019 年度より全職員を対象に、経験年数に応じた研修を企画・実施した。
  - ・ステップ I…新卒～実務経験 3 年目程度
    - ①正しい同意書の姿
    - ②メラ・サキュームの取り扱い
    - ③混ぜてはいけない薬剤のこと
    - ④当院の転倒転落事例に学ぶ

- ・ステップⅡ…実務経験 3 年以上～リーダー業務担当
  - ① TeamSTEPPS の概念を知ろう
  - ②タイムアウトの正しいやり方
- ・ステップⅢ…役職者
  - ①重点 6 項目をリーダー業務で活用する
  - ②事故発生時の報告方法
- 3) 医療メディエーション勉強会  
2018 年度より開始し座学とロールプレイに分けて実施
- ・座学
  - ①医療メディエーションとは
  - ②メディエーションスキル
- ・ロールプレイ
  - ①患者からの苦情対応
  - ②遺族対応
- 4) 役職者安全管理シリーズ研修  
役職者限定のシリーズ研修として新規に企画
  - ①医療安全管理体制の実際
  - ②医療安全とハラスメントの関係
  - ③安全を担保した勤務体制
  - ④事故発生時の対応
  - ⑤医療安全カンファレンスのやり方
  - ⑥役職者としての苦情対応
  - ⑦役職者カフェ（交流会）
  - ⑧業務改善計画書と実際
  - ⑨管理者の姿勢と Second Victim
  - ⑩学習する文化を作る
- 5) 救急シリーズ研修  
2022 年度と同様に阪本総長（救急科）によるシリーズ研修を実施
  - ①ドクターブルーが必要なケース
  - ②救急カートの中身について
  - ③気管内挿管の介助
  - ④急変時のフィジカルアセスメント
  - ⑤心電図の初期知識
  - ⑥胸腔ドレナージが必要な症例
- 6) 新入職員研修  
4/1「当院における医療安全管理の考え方」  
中途入職者研修（毎月 1 回）  
「実践的な医療安全の話」  
「苦情対応の具体的な方法」  
「末梢静脈ルート管理の実際」（再開）

### 【徳洲会 QI 大会】

徳洲会グループ全病院・施設から毎年報告される QI の中で、グループ内に水平展開できると認められたものが QI 大会として発表する機会を得る。

2020 年度より、臨床・患者目線・地域社会・経営・職員目線の部門に分けられた。

2024 年度提出演題

- ①医療機関が運営するこども食堂が与えた食育効果と病院の印象（栄養管理室）
- ②重要所見の不伝達防止に向けた取り組み（診療情報管理室）

### 【学会活動・団体歴】

1. 医療の質・安全学会  
第 19 回 医療の質・安全学会学術集会発表  
一般口演：院内ポンプライセンスを導入した効果
2. 日本コンフリクトマネジメント学会  
第 14 回 コンフリクトマネジメント学会学術集会  
パネルディスカッション座長：事例を通じた学びのコツ～ナラティブの力～
3. 日本医療機能評価機構  
認定病院医療推進協議会  
教育プログラム部会部  
2023 年 4 月より部会員
4. 東京都医療安全推進協議会  
2024 年 4 月より委員

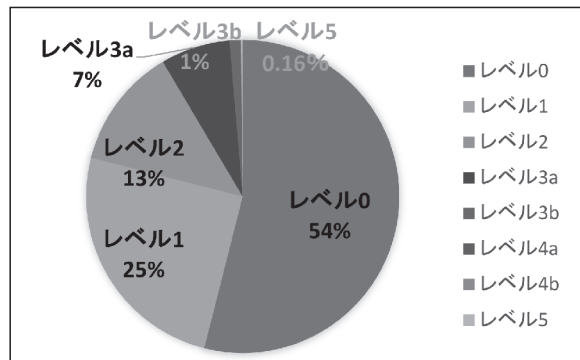
### 【講演】

1. 千葉西総合病院  
全職員対象医療安全管理研修  
「医療メディエーションを活用した苦情対応の具体的な方法」
2. 徳洲会リハビリテーション部会  
関東ブロック研修  
「医療メディエーションとハラスメント対応」
3. 武蔵野中央病院  
全職員対象医療安全研修会  
「思いのくい違いに気付く方法～医療メディエーションの汎用性～」

## 【業務統計】

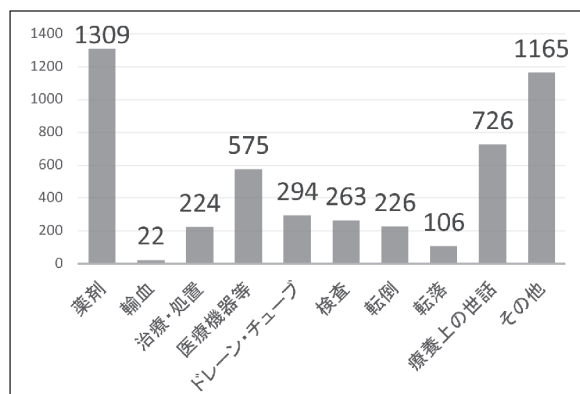
2024 年度

## 1. 事故レベル別報告数



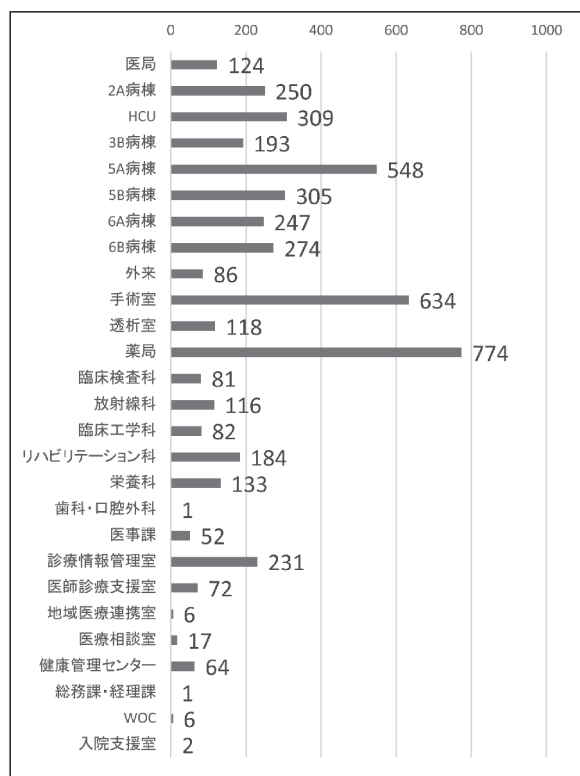
| レベル   | 報告数  |
|-------|------|
| レベル0  | 2649 |
| レベル1  | 1230 |
| レベル2  | 613  |
| レベル3a | 351  |
| レベル3b | 58   |
| レベル4a | 1    |
| レベル4b | 0    |
| レベル5  | 8    |
| 合計    | 4910 |

## 2. 事故の種類



| 種類        | 報告数  |
|-----------|------|
| 薬剤        | 1309 |
| 輸血        | 22   |
| 治療・処置     | 224  |
| 医療機器等     | 575  |
| ドレーン・チューブ | 294  |
| 検査        | 263  |
| 転倒        | 226  |
| 転落        | 106  |
| 療養上の世話    | 726  |
| その他       | 1165 |
| 合計        | 4910 |

## 3. 部署別報告数



| 部署         | 報告数  |
|------------|------|
| 医局         | 124  |
| 2A病棟       | 250  |
| HCU        | 309  |
| 3B病棟       | 193  |
| 5A病棟       | 548  |
| 5B病棟       | 305  |
| 6A病棟       | 247  |
| 6B病棟       | 274  |
| 外来         | 86   |
| 手術室        | 634  |
| 透析室        | 118  |
| 薬局         | 774  |
| 臨床検査科      | 81   |
| 放射線科       | 116  |
| 臨床工学科      | 82   |
| リハビリテーション科 | 184  |
| 栄養科        | 133  |
| 歯科・口腔外科    | 1    |
| 医事課        | 52   |
| 診療情報管理室    | 231  |
| 医師診療支援室    | 72   |
| 地域医療連携室    | 6    |
| 医療相談室      | 17   |
| 健康管理センター   | 64   |
| 総務課・経理課    | 1    |
| WOC        | 6    |
| 入院支援室      | 2    |
| 合計         | 4910 |

## 【施設基準・人員配置】

## ●感染対策向上加算2 [～2024年8月31日]

- ▶ 1-2 連携：東京西徳洲会病院

## ●感染対策向上加算1 [2024年9月1日～]

- ▶ 1-1 連携：むさしの救急病院
- ▶ 1-2 連携：ふじみの救急病院

[ICT・AST 主要メンバー]

- ・感染対策担当医 2名 [内、ICD 1名] (専任)
- ・CNIC 1名 (院内感染管理者 / 専従)
- ・薬剤師 3-4名 (兼任)
- ・臨床検査技師 3-4名 (兼任)

## 【業務内容】

1. 院内感染防止対策の改善・実施・指導
2. 感染対策マニュアルの改訂
3. サーベイランスの実施
4. 感染防止技術教育
5. 職業感染防止システムの構築
6. 院内・外の感染対策に関するコンサルテーション
7. 院内環境の改善(ファシリティマネジメント)

## 【業務実績】

1. 院内感染対策委員会 (毎月1回 / 第3火曜日)
2. ICM 委員会 (毎月1回 / 第2金曜日)

## ① ICM-Working group

- 手指衛生 team：手指衛生に着眼した感染対策チーム
  - ▶ 「手指衛生5つのタイミング」の教育動画を作成し全体研修で活用
  - ▶ WHO 手指衛生多角的戦略を用いた、手指消毒剤の使用促進啓発を開始
- 環境衛生 team：環境衛生に着眼した感染対策チーム
  - ▶ 各部門の管理外となっている環境（トイレ等）のラウンドシートを作成し、活動時間内でラウンドを実施
  - ▶ ゴミ箱の分別に係る分別規定を明確にし、ゴミ箱の蓋へ分別表を貼付し運用

## ②手指衛生・手荒れ対策

- 「WHO 手指衛生多角的戦略」導入を宣言し、今年度から戦略運用を開始
- 手指消毒剤の変更を検討
  - ▶ アルコールフォームタイプに加え、低粘度タイプを検討対象に加えて検討を継続
- 手荒れ職員をターゲットにした手荒れ対策・対応を検討
- 非アルコール性手指消毒剤の多種化にむけた消毒剤の選定段階
  - ▶ 手荒れ職員に限定した、保湿効果の高い手に優しい手洗い石鹸の導入検討
  - ▶ ディスポーザブル手袋による手荒れ職員の対応として、対応フローを作成開始

## 3. ICT・ICM 合同ラウンド (毎週 / 金曜日)

- ICM 担当者と ICT-Core member による合同の全部署ラウンドを毎週実施
- ※ ICT・AST ラウンドとは別枠で実施
- ※ 1ヶ月で全部署をラウンド

## 4. ICT・AST 合同カンファレンス・ラウンド (毎週 / 金曜日)

5. 看護部 感染委員会 (毎月1回 / 第2金曜日 ICM 委員会後)
6. サーベイランス (手指衛生・耐性菌・手術部位感染) ※ 関連データ参照
7. 感染防止技術教育 (全職員対象研修, 総務課・看護部依頼新入職者 / 中途採用者研修 他)

|         | 主催  | 研修                                       |
|---------|-----|------------------------------------------|
| 全職員対象研修 | ICT | 感染対策研修会<br>開催日：事項 関連データ参照<br>＜感染対策研修会＞参照 |
| 入職時研修   | 総務課 | 新入職者研修 (全職種)<br>開催日：2024年4月1-2日療         |
|         |     | 中途採用者研修 (全職種)<br>開催日：第1木曜日 (毎月) 療        |
|         | 看護部 | 看護補助者研修<br>開催日：2024年11月20日療              |

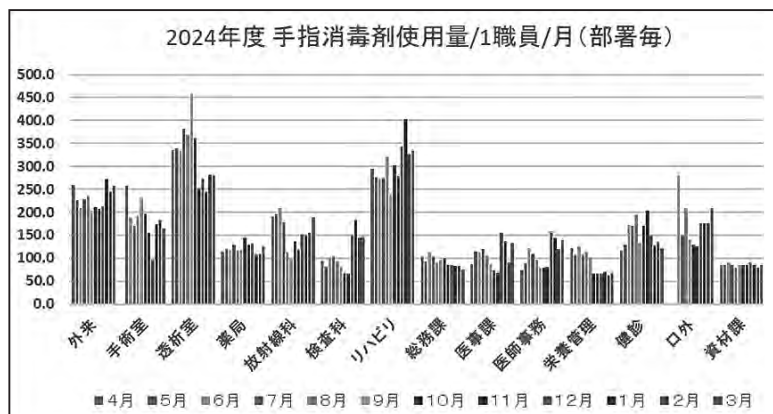
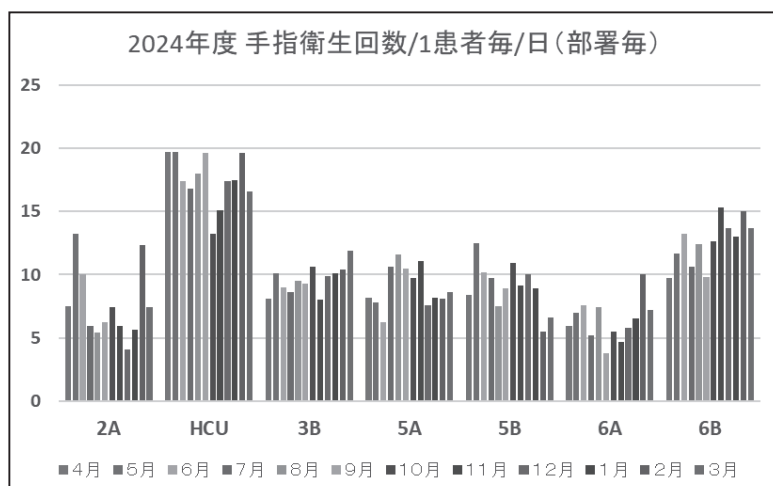
8. 公開医療講座（2024/11/12（火）講師）  
『手洗いやマスク、今も続けてますか？』  
～自身の大切な仲間を守るために！知っておくべき感染症予防の知識～
9. 感染対策向上加算に係る、連携カンファレンス等  
[1-1 連携]  
▶ 10/3：むさしの救急病院をラウンド  
11/5：当院をラウンド  
[1-2 連携]  
▶ 連携カンファレンス（4回）：  
2024/10/3・11/5・2025/1/14・2/18  
▶ 感染対策ラウンド（1回）：2025/1/14  
▶ 感染対策合同訓練（1回）：2025/1/14  
[西東京市医師会との外来感染対策向上加算に係る連携]

- ▶ 外来感染対策向上加算届出医医療機関対象『地域連携カンファレンス・新興感染症発生想定訓練』[2025/2/27 開催]  
講師：ICD 阪本、CNIC 工藤  
[高齢者施設等感染対策向上加算に係る連携]  
高齢者施設等感染対策向上加算（Ⅰ）に係る感染対策研修会  
『高齢者施設における手指衛生の戦略的改革に向けて』  
～世界保健機関（WHO）の手指衛生多角的戦略の導入～[当院主催：2025/1/29 開催]

### 【関連データ】

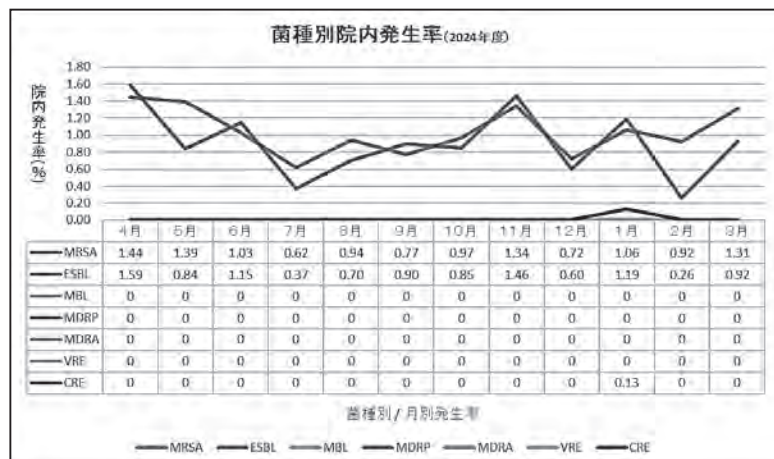
< 手指消毒剤使用状況 >（年度実績）

※ 病棟 → 手指消毒回数 病棟以外 → 手指消毒剤使用量



## ＜ 耐性菌サーベイランス ＞

JANIS 参加



## ＜ 手術部位感染サーベイランス ＞

JANIS 参加 (SSI 対象手術: HPRO・KPRO の 2 術式)

※ 2023 年 7 月～ 分子データの後ろ向き抽出を開始

※ 2024 年 1 月～ 分子データの前向き抽出を開始

| 手術手技コード | 自施設の手術件数(件) | 自施設のSSI件数(件) | 自施設のSSI発生率 | 集計対象医療機関数 | 集計対象医療機関数 |            |           |
|---------|-------------|--------------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|
|         |             |              |            |           | 手術件数合計(件) | SSI件数合計(件) | 全体のSSI発生率 |
| HPRO    | 118         | 0            | 0.00%      | 272       | 12926     | 79         | 0.60%     |
| KPRO    | 19          | 1            | 5.30%      | 252       | 8556      | 52         | 0.60%     |

## ＜ 院内感染対策研修会 ＞

(2024 年度 全職員対象法定研修)

### ●第1回

テーマ:『Team ムサトク☆バイキンバスターズ』

～感染経路を絶つ、最強の盾と矛～

講師: 院内講師 (ICT / ICN 工藤)

▶開催期間: 2025/2/21 ～ 2/28

(Web 講義式 (e-learning))

※受講期間を1週間延長

▶受講対象者: 652 名

(内、委託職員: 42 名含む)

▶職員参加率: 100%

[受講期間内受講者: 648 名,

受講期間延長後受講者: 4 名]

### ●第2回

テーマ:『感染症発生動向と抗菌薬使用に関する行政の方針』

講師: 院内講師 (ICT / ICN 工藤)

▶開催期間: 2025/3/21 ～ 3/30

(Web 講義式 (e-learning))

※受講期間を1週間延長

▶受講対象者: 629 名

(内、委託職員: 49 名含む)

▶職員参加率: 100%

[受講期間内受講者: 580 名]

### 概要・治療方針

現代では、医療の専門性が細分化したことにより、患者様自身で適切な診療科を選択しかねる症状が増えてきました。武蔵野徳洲会病院でも、その地域性により当院には幅広い年代の患者様が様々な症状を訴えられ当院を受診されます。当科はそういった患者様に対応するべく H27 年 6 月の当院開院時より発足致しました。

当科ではどの診療科に受診すべきかわからない患者様に対して最初の窓口としての役割を担います。また、健康診断でいくつかの臓器にわたる異常を指摘され、受診する診療科に困った際にも総合診療科を案内させていただきます。

### 対象の患者様

1. 紹介状をお持ちでない方
2. 自分の症状についてどの診療科を受診しているか判断に困っている方
3. 複数の症状のため受診する科の優先順位が決めかねる方
4. 他の診療機関のご紹介で、総合診療科宛の方や受診診療科の特定が出来かねる方

### 治療方針

診断のついていない健康問題を抱える患者様に対して臓器の枠にとらわれない横断的な知識を活かして、幅広い医療を提供することを目標にしています。臨床の経験に富んだ医師が、診断・治療に難渋する患者様の問題解決に尽力しています。

診断の結果専門診療科への紹介が好ましい場合は、院内紹介や他施設への紹介を速やかに行い、高血圧や脂質異常症などの傷病に関しては引き続き当科で生活習慣の改善や投薬などのフォローをしていきます。

### 現状報告

外来…月～金：午前診／午後診      土：午前診

## ①概要

当科は 2015 年 6 月 1 日の開院と同時に開設されました。虚血性心疾患、心臓弁膜症、不整脈といった心臓病のほか、大血管疾患、末梢動脈疾患、肺動脈疾患等、循環器領域全般を診療しております。なかでも虚血性心疾患の診断と治療、末梢動脈疾患の診断と治療に力を入れております。

## ②診療方針

虚血性心疾患の患者さんの場合、特に急性冠症候群（急性心筋梗塞、不安定狭心症）の治療においては、発症からいかに早く再灌流するかで予後の良否が決まります。従って、休日、夜間を問わず、24 時間、緊急心臓カテーテル検査／冠動脈インターベンションができる体制を築いております。待機的治療が可能と考えられる場合は、冠動脈造影 CT 検査、核医学検査などといった検査を積極的に導入しております。低侵襲で安全に配慮し、そして最も有効と思われる治療を計画し、実践しております。

末梢動脈疾患（下肢閉塞性動脈硬化症）につきましては、積極的にインターベンション治療を行っております。下肢閉塞性動脈硬化症を放置することは、患者さんの生活の質が損なわれるのみならず、身体活動量の低下を招来し、認知症の進行や生命予後の悪化に直結します。予防医療の一環と考え、下肢動脈に対するインターベンションを行っております。

当院では、虚血性心疾患に加えて心不全患者さんに対しても、心臓リハビリテーションを積極的に導入しています。急性期の入院治療から回復期、さらには外来フォローアップに至るまで、診療の各段階において、医師・理学療法士が適切なリハビリテーションプログラムを提供し、患者さんが安心して継続的な治療と生活指導を受けられる体制を整えています。リスク因子の管理や身体機能の維持・改善を図るのみならず、疾患ステージや

患者背景に応じた個別対応を行うことで、再発・再入院の予防と生活の質（QOL）の向上を目指した心臓リハビリテーションを継続しています。

入院患者さんの診療については多職種（医師、看護師、療法士、薬剤師、管理栄養士、ソーシャルワーカー）共同カンファレンスを行い、治療方針を決定しております。必要時には地域のマネージャーなどともカンファレンスを持ち、支える医療を実践しております。

## ③将来構想

今後は、外来心臓リハビリテーションを拡大していき、当院のみならず、地域全体の心不全患者さんが適切に心臓リハビリテーションを受けることのできる体制を構築していきます。

## ④循環器内科診療実績（2024 年度）

|                           |        |
|---------------------------|--------|
| 外来患者数                     | 4251 人 |
| 新入院患者数                    | 459 人  |
| 冠動脈造影検査                   | 245 件  |
| 冠動脈形成術                    | 90 件   |
| 血管造影検査                    | 123 件  |
| 末梢血管形成術                   | 26 件   |
| 心臓電気生理学的検査                | 6 件    |
| ペースメーカー植込み術<br>（新規、交換を含む） | 10 件   |
| 心肺運動負荷検査（CPX）             | 14 件   |
| 心筋シンチグラフィ                 | 209 件  |
| 冠動脈造影 CT 検査               | 82 件   |

## ⑤勤務医師

廣野 喜之（2015 年 6 月 1 日～）

浅見 貞晴（2015 年 6 月 1 日～）



## 腎臓内科

Report2024

### 概要

当科は、腎臓疾患、透析関連疾患、さらに高血圧などの生活習慣病を主な対象疾患としています。具体的な対象疾患として尿タンパク・血尿の精査・腎機能異常・慢性腎炎・ネフローゼ症候群・糖尿病性腎症、腎硬化症、腎不全、全身疾患より波及した腎臓障害、血液透析、腎疾患の栄養相談等です。また緊急で透析が必要な患者様に対応できるよう、夜間透析オンコール体制を整えています。

### 治療方針

腎不全の患者様には薬物療法のみならず、食事療法や生活習慣の教育に重点をおき、じん不全の進行防止対策をしっかりとこなっていきます。

### 勤務医師

常勤医 菊田 知宏 部長

### 2024 年度 透析実施件数

| 2024 年 | 4 月  | 5 月  | 6 月  | 7 月  | 8 月  | 9 月  | 10 月 | 11 月 | 12 月 |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 外来     | 1005 | 1073 | 956  | 1026 | 1002 | 905  | 984  | 888  | 924  |
| 入院     | 490  | 436  | 456  | 493  | 419  | 374  | 392  | 453  | 381  |
| 合計     | 1495 | 1509 | 1412 | 1519 | 1421 | 1279 | 1376 | 1341 | 1305 |
| 平均     | 48.8 | 48.6 | 47.1 | 49.0 | 45.8 | 42.6 | 44.4 | 44.7 | 42.1 |

| 2025 年 | 1 月  | 2 月  | 3 月  | 累計    |
|--------|------|------|------|-------|
| 外来     | 926  | 793  | 856  | 11338 |
| 入院     | 412  | 411  | 360  | 5077  |
| 合計     | 1338 | 1204 | 1216 | 16415 |
| 平均     | 43.2 | 43.0 | 39.2 | 44.8  |

## 概要・診療方針

消化器内科は 2019 年 4 月 1 日に開設され、食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、肝臓、胆嚢、胆管、膵臓などの消化器疾患に加え、一般内科も幅広く診療している。2019 年に消化器病学会認定施設、消化器内視鏡学会指導施設を取得し、2020 年より日本消化器内視鏡学会 JED-Project に参加している。

## 診療実績

## 内視鏡検査・治療件数 2024 年度

|                                    |       |
|------------------------------------|-------|
| 上部消化管内視鏡検査 (EGD)                   | 3,316 |
| 下部消化管内視鏡検査 (CS)                    | 1,223 |
| 内視鏡的粘膜切除術 (EMR) 総数                 | 461   |
| 胃 EMR                              | 37    |
| 大腸 EMR                             | 424   |
| 内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) 総数               | 88    |
| 食道 ESD                             | 6     |
| 胃 ESD                              | 26    |
| 大腸 ESD                             | 56    |
| 内視鏡的消化管止血術                         | 71    |
| 内視鏡的異物摘出術                          | 11    |
| 内視鏡的消化管ステント留置術                     | 8     |
| 経皮内視鏡的胃瘻造設術 (PEG)                  | 21    |
| 内視鏡的逆行性胆管膵管造影 (ERCP) 総数            | 126   |
| 内視鏡的胆道ステント留置術 (ERBD・ENBD・SEMS)     | 75    |
| 内視鏡的乳頭切開術・内視鏡的乳頭バルーン拡張術 (EST・EPBD) | 29    |
| 内視鏡的胆道結石除去術                        | 32    |
| 内視鏡的膵管ステント留置術                      | 4     |
| 超音波内視鏡検査 (EUS) 総数                  | 101   |
| 超音波内視鏡下穿刺吸引法 (EUS-FNA)             | 9     |
| 経皮経肝胆嚢ドレナージ術・吸引穿刺法 (PTGBD・PTGBA)   | 11    |
| 腹水濾過濃縮再静注法 (CART)                  | 29    |

## 論文

1. Incision Technique for Flattening the Elevated Mucosa due to Excess Local Injection During Colorectal Endoscopic Submucosal Dissection. ACG Case Rep J. 2024 Apr 18;11(4):e01337.
2. Meningeal carcinomatosis with decreased visual acuity: a case report. Clin J Gastroenterol. 2024 Apr;17(2):211-215.
3. Fulminant necrotizing fasciitis by Edwardsiella tarda in a patient with alcoholic liver cirrhosis: A case report. J Infect Chemother. 2024 Apr;30(4):343-347.
4. 胆管炎にて発症し総胆管と交通を認めた十二指腸重複症の 1 例. Gastroenterological Endoscopy (0387-1207)66 巻 7 号 Page1478-1484(2024.07)

## 勤務医師

吉本 泰治 消化器内科 部長 (～ 2025 年 3 月)

高城 健 消化器内科 部長

清水佐知子 消化器内科 医師 (2024 年 6 月～ 10 月)

当科は小児の一般診療、予防接種・乳児健診、アレルギー専門外来、発達専門外来などを中心とした医療を地域に提供しています。

2024年度は小児科常勤医1名で、小児アレルギー専門医である能勢医師、杏林大学小児科からの応援などのご協力をいただきながら診療を行いました。

#### ①感染症を含む発熱患者への対応

新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ感染症など発熱者が多く、小児科外来をゾーニングし抗原検査などの患者対応を行いました。

#### ②アレルギー専門外来

小児アレルギーである能勢哲医師が担当しています。

食物アレルギー、気管支喘息、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎が主な対象です。

特に食物アレルギーに対する経口負荷試験は、標準的治療でありニーズが高いにも関わらず、近隣地域では提供する医療機関が非常に少ないのが現状であり、当地域で大きな役割を担っています。スギ・ダニアレルギーに対する舌下免疫療法も行っており、患者が増加しています。

#### ②発達専門外来

発達障害（自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、限局性学習症：LD、学習障害）、知的障害、発達性構音障害など 専門医への受診ニーズが高く、地域との連携を必要とする分野です。近隣地域のこども発達支援センター・市役所・児童相談所・学校からご紹介を多くいただいています。現在 初診外来は約3-6ヶ月待ちとなっており、できる限り多くの初診患者さんへ適切な医療を提供できるよう努力しています。

また、当院は小児へのST・OT訓練を継続的に提供している西東京市唯一の医療機関です。

言語発達遅滞、発達性構音障害、発達性読み書き障害への指導など専門性の高いリハビリテーションを提供しています。

#### ③小児科各専門診療

- ・小児腎疾患・夜尿
- ・てんかんなどの小児神経疾患
- ・内分泌疾患

今後も小児一般診療、健診・乳児健診、発熱対応とともに、より充実した専門外来を提供してまいります。

**概要**

当科は糖尿病、高血圧症、脂質異常症、高尿酸血症、肥満症などの代謝性疾患に加え、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患などの内分泌疾患を診療しております。

非常勤医師 3 名に加え、2024 年 4 月より常勤医師 1 名が入職し、外来枠を拡大しました。

**診療方針**

糖尿病は心臓や脳の動脈硬化やがんとも強くかわっており、これらの合併症の出現、進展を防ぐことが重要です。一人一人の病態や社会的背景を考慮しながら、皆様とともに病気に対する理解を深め、治療だけではなく合併症の予防医療にも取り組み、糖尿病治療の目標である健康な人と変わらない日常生活の質（QOL）を維持できるような診療を行っていきたいと考えています。当科では経口血糖降下薬からインスリン導入も行っております。管理栄養士による栄養相談も外来受診日に合わせて可能です。

また、甲状腺、副甲状腺、副腎などの内分泌疾患についても、主に外来での対応となりますが、診療を行っています。

**診療実績（2024 年 4 月～2025 年 3 月）**

外来患者数：3,207 名

他診療科入院併診患者数：125 名

**勤務医師**

柴 久美子（2024 年 4 月 1 日～）

様々な腹部症状に対して迅速な診療、手術を行います。

### コモンディーズに対応できる外科

2020 年 7 月から外科を開設し、5 年目となった今年度は常勤医 5 名体制で診療を行いました。当科では消化器外科疾患の治療を中心に行います。現代社会で多くみられるコモンディーズ（Common Disease 一般的な病気）、たとえば、良性疾患では胆石症（胆嚢炎）や急性虫垂炎、悪性疾患では胃がんや大腸がんなどが該当しますが、わたしたちは、これらの疾患の治療を当院で完結することを目標に掲げます。地域に密着した病院であり、治療において、十分にご満足いただけるサービスを提供いたします。

### かかりつけ病院としての外科

当院は内科、外科など複数の科を標榜しています。しかし、そこに垣根をめぐらせることなくシームレスな診療を行います。また、地域の開業医さんともスムーズな連携を構築して、受診における煩雑さを軽減することに努めます。消化器疾患に対して患者

さんファーストの診療を行います。夜間の緊急手術へも曜日は限定されるものの対応を始めました。

### 低侵襲な治療

良性疾患は積極的に腹腔鏡下手術を行なっています。虫垂炎などは臍のみを利用して行う単孔式手術でも対応しています。悪性疾患に対しても積極的に腹腔鏡下手術で治療を行なっています。腹腔鏡手術は若い患者さまにとっては整容性が最大の利点となるでしょう。そして、その点ばかりが腹腔鏡手術の唯一のメリットととらえられがちですが、低侵襲が術後の合併症の低減に関係することから、ご高齢の患者さまにも利点があると考えています。

### テーラーメイドな治療

医学的に適応がある治療、ガイドラインで推奨されている治療のすべてが個々の患者さまに当てはまるわけではありません。患者さま一人ひとりの社会的背景を考慮して至適な治療を提案するテーラーメイドの治療を行います。これらを実現するために、「かかりつけの先生」と協力しながら持病の治療も併行して行います。

|                  | 2024 年  | 2003 年  | 2022 年     |
|------------------|---------|---------|------------|
| 悪性腫瘍切除術 胃        | 3 (3)   | 4 (0)   | 7 (1)      |
| 悪性腫瘍切除術 大腸       | 35 (32) | 32 (30) | 20 (16)    |
| 悪性腫瘍切除術 肝        | 2 (0)   | 3 (0)   | 0          |
| 悪性腫瘍切除術 膵        | 2 (0)   | 2 (0)   | 2          |
| 悪性腫瘍切除術 胆嚢       | 2 (0)   | 0       |            |
| その他悪性疾患          | 5 (2)   |         | 3 (1)      |
| 《主な良性疾患》         |         |         |            |
| 胆嚢摘出術            | 63 (63) | 56 (55) | 61 (61)    |
| 虫垂切除術            | 41 (41) | 42 (42) | 26 (26)    |
| ヘルニア修復術          | 67 (43) | 43 (35) | 28 (14)    |
| 十二指腸穿孔           | 4 (4)   | 3 (2)   |            |
| 膀胱結腸瘻修復術（腸切除を伴う） |         |         | 4 (3)      |
| 腸閉塞症             | 17 (7)  | 18 (5)  |            |
| 汎発性腹膜炎手術（腸切除を伴う） |         |         | 2 (1)      |
| その他良性疾患          | 21 (7)  |         | 10 (3)     |
| 手術件数             | 284     | 249     | 171        |
|                  |         |         | ( ) 腹腔鏡下手術 |
| 【Table1】手術件数     |         |         |            |

## 学会発表

2024年5月 日本ヘルニア学会学術集会  
 「メッシュプラグのS状結腸穿通及び腹腔内  
 膿瘍に対しS状結腸切除術を施行した1例」  
 須田 睦、飯島 広和、横山 政明、木山  
 輝郎、木村 尚哉

2024年12月

第37回 日本内視鏡外科学会  
 MO248-1 腹壁瘢痕ヘルニア修復術～ IPOM-  
 plus 法のメリットを再考する～  
 飯島広和

2024年12月 第54回日本創傷治癒学会 東京・  
 一橋講堂  
 創傷治癒と消化管  
 武蔵野徳洲会病院消化器外科  
 木山 輝郎

座長 木山輝郎

1. 特別講演 無重力や寝たきりによる筋萎縮の  
 栄養学的予防・治療法の開発  
 徳島大学宇宙医学・栄養学研究センター、徳  
 島大学大学院医歯薬学研究部生体栄養学分野  
 二川 健
2. ランチョンセミナー 水素療法の可能性につ  
 いて  
 和久医院  
 和久 晋三
3. 特別講演 細胞の鉄動態調節機構とその破綻  
 による細胞死誘導  
 京都大学理事副学長、京都大学大学院医学研  
 究科細胞機能制御学  
 岩井 一宏
4. ランチョンセミナー スポーツ診療と創傷治癒  
 湘南鎌倉総合病院スポーツ整形外科  
 高森 草平

第 54 回日本創傷治癒学会 東京・一橋講堂

会長 木山輝郎  
 第 54 回日本創傷治癒学会会長  
 2024 年 12 月 5,6 日 東京・一橋講堂

## 概要

現在、当院整形外科の年間手術件数は、年間約617件。骨折治療には経験豊富であり、整形外科専門医である江川医師と金沢医師と坂本医師の3名が執刀および入院中の担当を行います。

一般的に、骨折や脱臼の患者様は救急車で搬送されてきますが、多くの病院が受傷・搬送から入院検査・骨折の手術まで、数日以上の待機を要する場合がほとんどであるのが現状です。

当院では、緊急性の高い大腿骨頸部骨折に関して手術療法を要する場合、身体機能・認知機能の低下を予防するために迅速な検査後、搬送されてから48時間以内の治療開始を目指しています。各部署の積極的な連携が、早期の治療開始を可能にし、早期の治療開始こそが早期回復ひいては我々の目標である「健康寿命」を伸ばすことにも繋がっているのです。

また、一般的な骨折手術のほか、低侵襲手術(MIS)の導入や新たな骨補填材料の使用など、最新の知見を取り入れた治療を行っています。これにより、入院された方が1日でも早く退院・自宅復帰出来るよう、努めています。

日々、技術革新の進む手術の現場で、これだけの手術実績を常に重ねていけることは、間違いなく当院の強みの一つです。この強みを活かし、

我々は北多摩地区で質の高い骨折治療を提供することを目指しております。

## 診療方針

国民生活調査では、日本人の有病率ベスト5の中に、「腰の痛み」「肩の痛み」「手足の痛み」の3つの整形疾患があると言われています。整形外科では、骨や筋肉などの運動器を正しい形に戻すことで、様々な身体の痛みを取り除く治療を行っています。

我々の目標は、患者様の痛みを可能な限り取り除き、それぞれの『健康寿命』を延ばすお手伝いをすることです。健康寿命とは、健康上の問題が無い状態で日常生活を送れる期間のことです。この『健康寿命』を延ばすために「歩く」ということが非常に重要視されており、「健康に歩く」ためには、骨折治療からの早期回復と膝関節痛への適切な処置が重要になってくるのは間違いありません。

外傷の中でも最も多く行われている骨折の治療に際して、生物学的活性の温存を主眼に置いた「AO法」の実践をベースとしております。また、難治性の骨折に対する治療に効果的な超音波骨折治療法(セーフス療法)も採用しており、患者さんのニーズに合わせた治療を幅広く選択することが可能です。外傷の後遺症などによる神経痛等に関してはペインクリニック外来と連携しながら、患者さんのQOLの向上を目指しております。

ここ数年の実績としては、2016年度200件、2017年度280件、2018年度400件、2019年度490件、2020年度464件、2021年度485件、2022年度617件、2023年962件、2024年1121件。2021年2月大腿骨骨折治療センターを設立し、今後もこの地域でより積極的に骨折治療を行っていきます。

## 現状報告

図1 整形外科 手術件数推移 (当院医事データより)

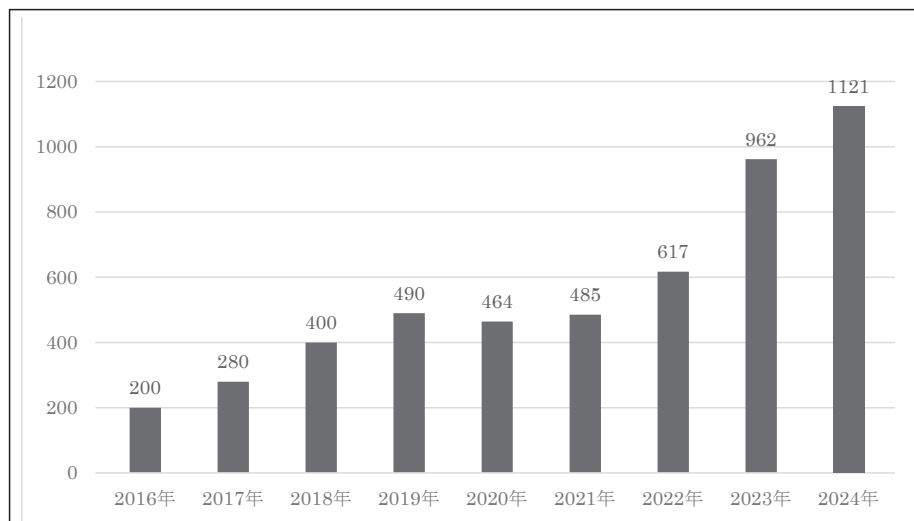


図2 整形外科 大腿骨骨折手術件数推移（当院医事データより）

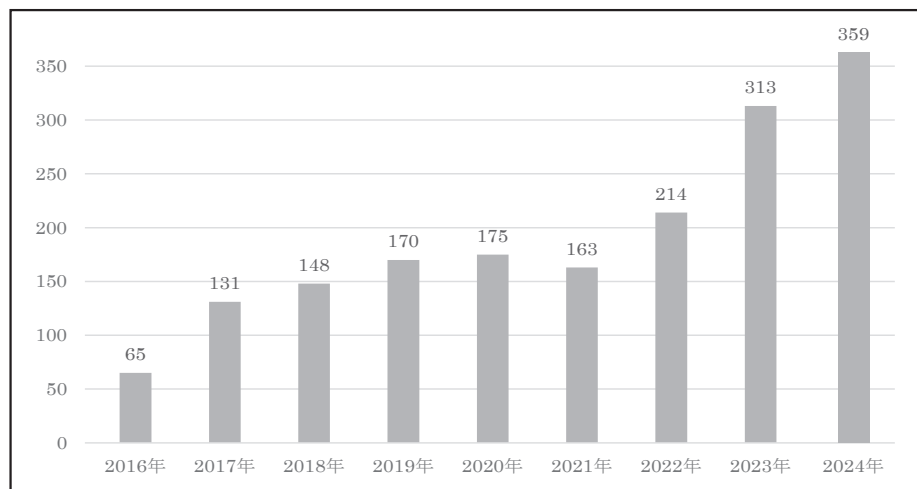
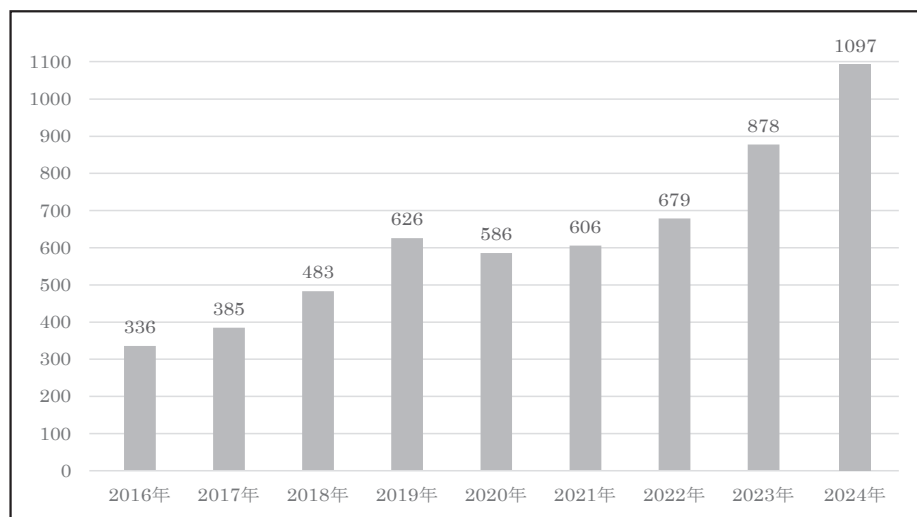


図3 整形外科 入院患者数推移（当院医事データより）



## 勤務医師



常勤  
江川誠一郎 部長



常勤  
金沢 明秀 部長



常勤  
坂本兼太郎 医長

非常勤 計 6 名

## ホームページ URL

<https://www.musashino-hp.jp/department/orthopedics/>

**人員構成** 6名（1名訪問診療兼任）

泌尿器科専門医・指導医 6名

日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医 3名

日本内視鏡外科学会技術認定医 1名

日本がん治療認定医機構がん治療認定医 1名

泌尿器ロボット支援手術プロクター認定

（前立腺癌、腎癌、膀胱癌）1名

内分泌代謝科（泌尿器科）認定医 1名

**業務内容**

一般診療泌尿器科外来（土曜日は午前診のみ）：

月曜日～土曜日

定時手術日 月・水・金曜日

2024年度は6名体制で業務を行っています。

2024年度外来総患者数 9158人

2024年度入院患者総数 777人

新規入院患者数 457人

延べ入院患者数 8374人

**泌尿器科診療**

- 泌尿器がん：主に手術療法、薬物治療を主に行なっています。

近年世界的に罹患率が上昇している前立腺癌は、PSA（前立腺特異抗原）検査の普及により、早期発見される症例が増加しています。PSA値が4.0ng/mL以上の場合、まず直腸診とMRIを行い、がんが疑われた場合には、当科では麻酔下での前立腺生検を2泊3日の入院で実施し、確定診断を行っています。2023年9月には、MRIと超音波を融合させた標的生検（MRI fusion 生検）システムを導入し、がん検出率の向上を実現しています。

前立腺癌の治療には、手術療法・放射線療法・薬物療法の三本柱があります。当科では、国産の手術支援ロボット「hinotori サージカルロボットシステム」を用いて手術療法を行っており、放射線治療については徳洲会グループ内の連携

病院をご紹介します。

腎癌では積極的に腹腔鏡下腎部分切除を行なっていましたが2022年度からはロボット支援腎部分切除術を行なっています。また保険収載されたロボット支援腎摘除術も2023年より実施しています。同年から腎盂尿管がんに対してロボット支援腎盂尿管全摘術を行なっています。さらに膀胱がんでもロボット支援膀胱全摘術を開始いたしました。根治困難ながんに対する薬物療法も、入院および外来で実施しています。

副腎腫瘍（原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫）はロボット支援副腎摘除術、腎盂尿管移行部狭窄においてもロボット支援での腎盂形成術にて対応しています。

- 泌尿器科で頻度の高い良性疾患には、尿路結石、前立腺肥大症、夜間頻尿、性感染症、尿路感染症、過活動膀胱、尿失禁などがあります。

尿路結石に対する治療には、薬物療法と手術療法があります。排石が見込まれる尿管結石には、まず排石促進薬を用いた内科的治療を行い、難治性や大型結石の場合には手術を選択します。当科では、経尿道的腎尿管碎石術（TUL）、経皮的腎碎石術（PNL）、および両者を組み合わせたエシルス手術（ECIRS）を2022年度から導入しており、大きな結石に対しても低侵襲かつ効果的な治療が可能です。さらに、安全性の高い体外衝撃波結石破碎術（ESWL）も実施しています。

前立腺肥大症は薬物療法または内視鏡手術で治療します。重度の尿閉をきたすと腎機能障害につながるため、薬剤の効果が不十分な場合は手術を選択します。当科では、心疾患や高齢などで一般的な手術が困難な方にも対応できるよう、低侵襲なツリウムレーザーによる前立腺蒸散術（Thu-Vap）を導入しています。また、巨大前立腺に対しては電解質灌流液を用いた経尿道的前立腺核出術（TUEB）も積極的に行い、

自己排尿の回復を目指しています。

夜間頻尿は、泌尿器科的要因に加えて、内科的疾患や睡眠障害など多様な要因が関与します。生活の質に関わる重要な症状ですので、お困りの際はぜひご相談ください。過活動膀胱や尿失禁に対しては、行動療法および薬物療法を組み合わせた治療を行っています。

性感染症のうち、泌尿器科で主に診るのは尿道炎です。梅毒、ヘルペス、尖圭コンジローマなど皮膚・粘膜疾患は皮膚科、HIV やウイルス性肝炎など全身性疾患は内科が対応します。また、尿路感染症の膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎は泌尿器科で診療しますが、蛋白尿や腎炎に関しては腎臓内科の領域となります。

過活動膀胱の治療では、行動療法として「骨盤底筋訓練」と「膀胱訓練」をまず指導し、この行動療法をベースに、薬物療法を行なっています。腹圧性尿失禁については、治療の基本は骨盤底筋訓練という行動療法を行なっています。それで効果がなければ手術を行います。

## 手術療法について

### ・悪性腫瘍の手術

- ①腎癌の全摘あるいは部分切除（ロボット手術、開腹）
- ②前立腺癌のロボット支援手術、内分泌療法での高価な注射を要しない去勢術
- ③膀胱癌の内視鏡手術、ロボット手術
- ⑤精巣癌の手術
- ⑥陰茎癌の手術

など一般的な泌尿器科がん手術

### ・良性疾患の手術

- ①尿路結石に対する碎石術（ESWL、TUL、PNL、ECIRS）
  - ②前立腺肥大症に対する内視鏡手術（経尿道的前立腺レーザー蒸散術：Thu-Vap、TUEB）
  - ③尿膜管遺残：摘出術（腹腔鏡、開腹）
  - ④陰茎、陰嚢内手術
- など一般的泌尿器科手術

## 2024 年度：822 件（手術の内訳）

|                      | 件数  |
|----------------------|-----|
| ロボット支援腎摘除術 (RARN)    | 4   |
| ロボット支援腎尿管全摘除術 (RANU) | 11  |
| ロボット支援腎部分切除術 (RAPN)  | 8   |
| TUR-BT               | 51  |
| ロボット支援膀胱全摘 (RARC)    | 3   |
| 経直腸的前立腺生検            | 68  |
| MRI fusion 前立腺生検     | 93  |
| ロボット支援前立腺全摘術 (RARP)  | 28  |
| 精巣摘除（去勢術含む）          | 4   |
| ロボット支援副腎摘除 (RA)      | 3   |
| 経尿道的前立腺レーザー蒸散術       | 18  |
| ロボット支援腎盂形成術 (RALP)   | 4   |
| TUEB                 | 34  |
| 経尿道的尿管ステント留置術        | 55  |
| 経皮的腎瘻造設術             | 16  |
| TUL                  | 202 |
| PNL                  | 6   |
| ECIRS                | 51  |
| ESWL                 | 45  |
| 経尿道的膀胱碎石術            | 71  |
| 陰嚢水腫根治術              | 19  |
| 環状切除術                | 26  |
| 腹腔鏡下尿膜管摘除（開腹含む）      | 2   |

## 〈病院で行っているロボット手術〉

RARP(Robot-assisted radical prostatectomy)

ロボット支援前立腺全摘除術

RAPN(Robot-assisted partial nephrectomy)

ロボット支援腎部分切除術

RARC(Robot-assisted radical cystectomy)

ロボット支援膀胱全摘除術

RALP(Robot-assisted laparoscopic pyeloplasty)

ロボット支援腎盂形成術

RARN(Robotic-assisted Radical Nephrectomy)

ロボット支援腎摘除術

RANU(Robot-assisted nephroureterectomy)

ロボット支援腎尿管全摘除術

RA(Robot-assisted adrenalectomy)

ロボット支援副腎摘出術

## 学会等発表

1. 桶川：Hinotori サージカルロボットシステムによる後腹膜のアプローチでの RAPN について. 2024 年 4 月 27 日. 第 111 回日本泌尿器科学会総会.
2. 桶川：転移性尿路上皮癌に対する血中循環腫瘍細胞および血中循環腫瘍 DNA 検査の臨床的有用性 (第 2 報). 2024 年 4 月 25 日. 第 111 回日本泌尿器科学会総会.
3. 桶川：Hinotori を用いた後腹膜のアプローチでの RAPN について. 2024 年 11 月 28 日. 第 38 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会.
4. 桶川：夜間頻尿の診断と治療. 2024 年 8 月 29 日. 北多摩エリア連携の会.
5. 桶川 (発表：小田金)：ロボット支援下根治的前立腺全摘除術における hinotori と da Vinci の手術成績. 2025 年 3 月 7 日. 第 17 回日本ロボット外科学会学術集会.
6. 小田金：シンポジウム 新規手術支援ロボットの特徴と今後の展望 hinotori サージカルロボットシステムの経験と今後の展望. 2024 年 7 月 20 日. TRUS.
7. 小田金：腎盂腫瘍の一例. 2024 年 9 月 10 日. 医療連携懇話会.
8. 小田金：当院における MRI-US 融合前立腺生検の初期経験. 2024 年 10 月 5 日. 日本泌尿器科学会東部総会.
9. 小田金：シンポジウム 泌尿器科における SSI, 創傷治癒遅延予防 腹腔鏡手術からロボット支援手術へ. 2024 年 12 月 5 日. 第 54 回創傷治癒学会.
10. 大岩：ECIRS, one-year experience in Musashino Tokusyukai Hospital. 2024 年 4 月 25 日. 第 111 回日本泌尿器科学会.
11. 大岩：尿路結石症と前立腺肥大症の尿路内視鏡治療. 2024 年 8 月 29 日. 北多摩エリア連携の会.
12. 大岩：症例見学 (ECIRS, TUL)+ 手技解説. 2024 年 10 月 11 日. COOK Japan VISTA プログラム.
13. 大岩：尿路結石症症例検討会. 2024 年 7 月 6 日. Boston Scientific Japan Lithopedia.
14. 大岩：One-Surgeon ECIRS. 2024 年 11 月 28 日. 第 38 回日本泌尿器内視鏡学会.
15. 大岩：座学、ハンズオントレーニング 講師. 2024 年 12 月 9 日. Boston Scientific Japan EDUCARE TAP/ECIRS コース.
16. 大岩：尿路結石症 ガイドラインからその先へ. 2025 年 1 月 22 日. 第 22 回多摩前立腺がん研究会.

## 概要

2020年4月に武蔵野徳洲会病院耳鼻咽喉科は開設され、女子医科大学附属病院の耳鼻咽喉科医局から派遣された非常勤医師により外来診療が開始された。2021年4月に常勤医師1名が他県より入職し、入院・手術を含めた診療体制となった。それに伴い、週4日派遣されていた非常勤による外来枠は週1日午前のみに縮小した。同年、補聴器適合検査の施設基準の届出を行い、補聴器外来を開設した。2024年より非常勤が女子医科大学から東邦大学に代わった。

## 科の特色

顔面外傷を含めた耳鼻科一般、補聴器外来、睡眠時無呼吸症候群に対する検査・治療、ボトックス療法、花粉症に対する舌下免疫療法・後鼻神経切断術、指定難病の好酸球性副鼻腔炎に対する手術・分子標的薬治療などを行っている。症例は少ないが、誤嚥防止手術を行っている。外来で嚥下リハや音声リハをSTと対応している。

70以上ある徳洲会グループ病院の中で、耳鼻科が開設している病院は半数以上であるが、その中で手術を行っている耳鼻科は16施設程度で、常勤医一人のみで手術を行っているのは当院を含めて数か所で珍しいようである。また、認定補聴器技能者の資格を持つ言語聴覚士が補聴器調整を直接行っている施設はグループ内で当院のみであり、成人を対象に補聴器や耳鳴診療を行っている。

## 診療方針

外来患者・入院患者を対象に耳鼻咽喉科疾患一般の診療を行っている。外来は月曜から金曜日で、水曜午前の外来のみ東邦大学の派遣医師が担当している。水曜日に全身麻酔による手術、火・水・金曜日の午後に補聴器外来を行っている。悪性腫瘍など、当院で対応できない患者は大学病院等に紹介している。

外来は耳鼻科としては珍しく、小児が少なく中高年の割合が高い。近医開業医より扁桃周囲膿瘍やめまい、止血困難な鼻出血症などの入院を含めた加療依頼に対応している。睡眠時無呼吸症候群に対するCPAP、顔面神経麻痺の病的共同運動/片側顔面けいれんに対するボトックス治療、花粉症に対する減感作療法/舌下免疫療法などを行っている。

手術は主に全身麻酔下に行っており、2024年度は内視鏡下鼻副鼻腔手術、口蓋扁桃摘出術など、成人・小児を含めて83件であった。

入院患者に対しては嚥下評価（嚥下内視鏡検査・嚥下造影検査）をSTと共にやっている。また他科からの依頼で気管切開術を施行している。めまい・喉頭異物・顔面外傷などの救急疾患の対応に協力している。

## 実績

| 年度      | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 |
|---------|------|------|------|------|------|
| 外来患者数/月 | 180  | 304  | 418  | 486  | 538  |
| 手術件数/年  | 0    | 31   | 55   | 75   | 83   |

## 2025年度の目標

紹介患者・手術件数増加。補聴器外来の維持。

## 勤務医師

平塚 宗久

日本耳鼻咽喉科学会専門医

補聴器相談医・補聴器適合判定医

中 智美

日本耳鼻咽喉科学会専門医

西條 歩弥

言語聴覚士・認定補聴器技能士

### 全国の救急事情

令和5年中の救急出動件数(消防防災ヘリコプターを含む。)は、764万987件(対前年比40万8,869件増、5.7%増)、搬送人員は664万3,379人(対前年比42万4,080人増、6.8%増)であった。そのうち、救急自動車による救急出動件数は763万8,558件(対前年比40万8,986件増、5.7%増)、搬送人員は664万1,420人(対前年比42万4,137人増、6.8%増)で救急出動件数、搬送人員ともに集計を開始した昭和38年以降、最多を記録した。現場到着所要時間(119番通報を受けてから現場に到着するまでに要した時間)の平均は約10.0分(前年約10.3分)となっており、新型コロナウイルス感染症禍(以下、「新型コロナ禍」という。)前の令和元年と比べ、約1.3分延伸している。また、病院収容所要時間(119番通報を受けてから医師に引き継ぐまでに要した時間)の平均は約45.6分(前年約47.2分)となっており、新型コロナ禍前の令和元年と比べ、約6.1分延伸している。

### 東京都の救急事情

令和6年中の東京消防庁救急隊の出場件数は935,162件(速報値)で、令和4年から3年連続で過去最多を更新した。救急出場件数は、例年、夏季及び冬季に多い傾向にあるが、令和6年は同時期の出場が顕著に増加し、日別救急出場件数の歴代上位10日間のうち、8日間が令和6年中の夏季、冬季に更新された。また、令和6年中における救急出場の傾向を10年前と比較すると、特に75歳以上の後期高齢者の搬送が他の年齢層と比較して顕著に増加した。

### 当院の救急スタッフ

常勤医2名、非常勤医1名でスタートしたが非常勤医が病欠となり、新たに若い非常勤医が1名追加となった。若い医師の加入は非常に心強い。4月から新卒の救命士が2名追加配置となり、2年目の救命士は1名が退職したため合計5名体制となった。ただし病棟のナース配置が7:1となったため外来のナース配置が減少し、日中

は常時1名体制のことが多い。夜間、休日はナース2名、救命士1-2名(ときに0名)体制となった。

2年目の救命士は、ホットラインの応需、カルテ記載までできるようになり、かなりの戦力となりつつある。1年目の教育も任せられるようになり、医師、ナースの負担軽減は多大である。今後は2年目以降が常時2名体制となることが望ましい。

### 救急業務

上記のように東京都の救急患者は増加しているが、当院の近隣の患者の増減は詳細不明だが、おそらく増えていると思われる。

表1：収容した救急車台数と walk-in の数

| 救急車台数 | R4   | R5   | R6   |
|-------|------|------|------|
| 内科    | 2257 | 2655 | 2395 |
| 外科    | 1527 | 1535 | 1659 |
| 計     | 3784 | 4190 | 4054 |

| Walk-In | R4   | R5   | R6   |
|---------|------|------|------|
| 内科      | 753  | 1072 | 1260 |
| 外科      | 1045 | 1349 | 1124 |
| 計       | 1798 | 2421 | 2384 |

令和4年度からの救急車とwalk-inの数の推移であるが、令和4年から5年の増加と比較して伸びていない。これにはいくつかの理由が挙げられる。

- 1) 配置ナースの数が事実上減少したこと。

数値の上では令和5年度と変わり無いように見えるが、現実的には上記のようにナース1名である時間が長く、収容依頼を全て賄えなかった。あるいは長い待ち時間のため救急隊が他院に赴くことになった症例が多い。救命士は増えたが、彼らの業務はナースの代用にはならない。

- 2) 夜間の当直者が収容拒否していることがしばしばある。外部からのパート当直者なら勤務をお断りすることができるが(実際年

間数人のパート者にご辞退いただいた)、常勤者はそれができない。医師はそれぞれの専門分野があり、それ以外の疾患を収容するには抵抗がある。積極的に収容していただいている医師もいれば、そうでない医師もあり、救急専従医だけで充足するには日本全体の救急医の充足が必要である。

- 3) 夜間の緊急手術と処置体制がまだまだ不十分なこと。このためには手術部門だけでなく内視鏡などのナースの数が全く不足し

ている。医師も同様に麻酔医は常勤医1名だけでありかなり負担となる。

- 4) 病床が満床のことがしばしばあり、また感染制御の観点から個室に収容すべきだが空きがない状況が時々生じていた。満床時に予備の個室があれば有用であろう。

上記問題点とは別に、今後研修医が当院に来るようになれば救急患者の初療について学べる場となるであろう。

## 2024 年度教育業績

### ◇救急搬送患者症例検討会 3回 救急隊に対する教育として

| 開催日              | 2024.4.25<br>第 17 回                                                                                                       | 2024.10.8<br>第 18 回                                                                  | 2025.1.23<br>第 19 回                                                                        |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 内 容              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 右腹痛で来院した症例</li> <li>・ 下腹部～臍周囲痛で来院した症例</li> <li>・ 心窩部痛で来院し内視鏡治療を施行した症例</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前胸部痛と左手の痺れ</li> <li>・ 意識消失後の交通事故</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消化管の通過障害</li> <li>・ 走った後の腰痛、臀部から大腿部の痺れ</li> </ul> |
| 参加<br>(内東京消防庁署員) | 31 名 (10 名)                                                                                                               | 16 名 (9 名)                                                                           | 16 名 (6 名)                                                                                 |

### ◇医療安全シリーズ研修(救急治療シリーズ)として6回開催

- ①ドクターブルーが必要なケース
- ②救急カートの中身について
- ③気管内挿管の介助
- ④急変時のフィジカルアセスメント
- ⑤心電図の初期知識
- ⑥胸腔ドレナージが必要な症例

概要

麻酔科の主な業務は手術の麻酔を含む周術期の管理です。

高齢で状態の悪い患者さんの手術が多いため、超音波ガイド下神経ブロックや超短時間型ベンゾジアゼピンの持続静注などをうまく活用し、血行動態の安定と疼痛の管理をしながら麻酔をしています。

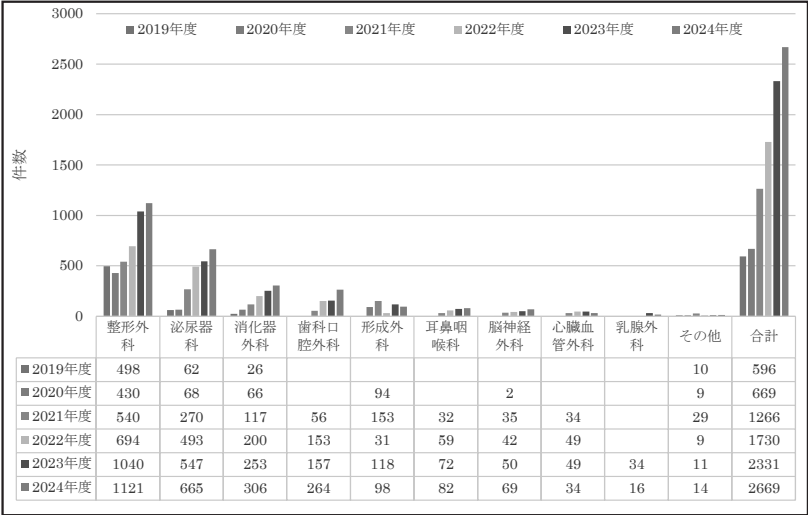
診療方針

術前外来を行うことによって、検査データだけではわからない患者さんの状態を把握し、麻酔計画を立てています。

当科は、手術室内における各診療科や各部門と密接に連携し、手術医療におけるソーシャル・キャピタルの構築を目指します。

診療実績

手術麻酔



救急救命士気管挿管実習

東京消防庁の救急救命士の挿管実習も行っています。

将来構想

手術室数は4室ですが、手術件数が増加しているため2025年度に手術室が2室増えます。

また、受傷から48時間以内の手術を行う「大腿骨骨折治療センター」、TUL・ECIRSなど、どのような結石にも対応できる「尿路結石治療24時間センター」、国産ロボットhinotori手術や単孔手術を行う「低侵襲ロボット手術センター」、高性能脳血管撮影装置ARTIS icono D-spinのある「脳血管内治療センター」といったセンターの運用が始まっており、手術件数の更なる増加が考えられるため、安全に手術が行えるよう環境整備や麻酔科医の増員も行っていく予定です。

勤務医師

|       |         |       |
|-------|---------|-------|
| 常勤    | 麻酔科主任部長 | 大野 謙介 |
| 定期非常勤 |         | 松本布紀子 |
| 定期非常勤 |         | 菅波 梓  |
| 定期非常勤 |         | 鈴木 沙織 |
| 定期非常勤 |         | 松本 杏菜 |
| 定期非常勤 |         | 木村 祐輔 |
| 定期非常勤 |         | 永田 美和 |

当院は2015年6月に開院し、その後は表のようにやや横ばいでしたが、2020年度から増加しています。

| 年度      | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024  |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 手術件数    | 84   | 314  | 528  | 583  | 602  | 670  | 1269 | 1748 | 2331 | 2,669 |
| 麻酔科管理   | 55   | 266  | 414  | 488  | 540  | 564  | 1040 | 1549 | 2004 | 2,352 |
| 麻酔科管理比率 | 66%  | 85%  | 78%  | 84%  | 90%  | 84%  | 82%  | 89%  | 86%  | 88%   |
| 手術数増加率  | -    | 274% | 68%  | 10%  | 3%   | 11%  | 89%  | 38%  | 33%  | 15%   |

2020年8月1日より脳神経外科診療を開始し、2021年6月1日より高性能DSA装置が稼働開始でき、脳血管内治療センターとして脳血管内治療を中心とした診療を行っております。同時に開頭術にも対応できるように手術顕微鏡、双極電気メス、ハイスピードドリル、神経内視鏡等の医療機器の整備も行っております。入院担当病棟は3B病棟を中心に入院診療を行っており、術後・重症例についてはHCUで管理ができるような診療体制を構築しております。

2024年10月より医師2名の増員があり、脳神経外科専門医4名の常勤体制となり、週2回の脳神経外科当直も開始しております。

入院患者総数241名(20.1名/月)と前年比7%増となっております。70%以上を脳卒中患者さんが占めており、来年度も日本脳卒中学会の研修教育施設認定に申請しております。また、手術件数としては、脳神経外科手術32件、脳血管内治療30件の合計62件で5.2件/月と増加しております。

来年度は、日本脳神経外科学会の連携病院、日本脳卒中学会の研修教育施設認定にも認定され、常勤医複数名体制が確立できております。

当院では、未破裂脳動脈瘤に対するコイル瘤内塞栓術や内頸動脈狭窄症に対する経皮的頸動脈ステント留置術等の脳卒中の予防的治療を積極的に行っており、脳動脈瘤に対するフローダイバーター治療も導入しております。また、開頭手術も積極的に行えるようになっており、脳腫瘍、AVM摘出術も行っております。今後も、脳卒中診療を中心とした脳神経外科診療を確立する計画でありますが、ハキム病(特発性正常圧水頭症)、軽度認知機能障害に対する治療も積極的に行なっていく予定でおります。

#### 学会発表

- 1) 特異な血管構築に合併した内頸動脈－海綿静脈洞部脳動脈瘤に対する脳血管内治療の1例  
第30回日本血管内治療学会．横浜 2024年7月
- 2) 特異な血管構築に合併した未破裂脳動脈瘤に対する脳血管内治療の2例  
第83回日本脳神経外科学会．横浜 2024年10月
- 3) 特異な血管構築に合併した未破裂脳動脈瘤に対する脳血管内治療の2例  
第40回日本脳神経血管内治療学会．熊本 2024年11月
- 4) 内頸動脈アテローム血栓性閉塞24時間以降に施行した吸引併用血管形成術の1例  
第40回日本脳神経血管内治療学会．熊本 2024年11月
- 5) 急速に進行した放射線治療後の無症候性頸動脈狭窄に対してCASを施行した一例  
第40回日本脳神経血管内治療学会．熊本 2024年11月

## 【診療体制】

外来診療日：月曜から土曜日午前まで

手術日：月曜日

スタッフ：小嶋智美医師

尾作忠知

非常勤：田中歩医師

小倉拓也医師

## 【2024 年度治療実績】

| 術式          | 件数 |
|-------------|----|
| 乳房切除術       | 6  |
| 乳房部分切除術     | 7  |
| 乳房腫瘍摘出術     | 2  |
| センチネルリンパ節生検 | 10 |
| 腋窩郭清術       | 3  |

## 【診療概要】

当科では乳癌をはじめとした乳腺疾患の精査、加療を行っております。

2024 年 10 月に前常勤医がご退職され、非常勤医師のみにて外来対応となっておりますが、2025 年 1 月より自分が常勤として入職いたしました。

常勤医の増加に伴い、外来診療日も基本的に毎日対応できるようになっております。

今後は地域の皆様にまずは当院にて乳腺外科の治療が十分に受けられることを認知していただくように医師会、近隣の乳腺クリニックとの連携体制をとってまいりたいと考えております。

病理検査室の設備はいまだ整っていません。標本作製は検査センターに依頼しているため、生検材料であっても報告までに1週間近くかかる状況は相変わらずです。

組織診の検査総数は2244件と、昨年度の1847件より21%増加しました。増加に最も寄与した材料は歯科口腔外科からのもので、昨年と比べて179件増加し、2倍以上の346件となっています。乳腺外科の医師が10月に退職したため、乳腺の手術材料は32件から13件と、34%減少しました。消化器外科の悪性疾患の手術材料は37件で、昨年より10%減少しました。泌尿器科の悪性疾患の手術材料は92件で、昨年と同数です。前立腺生検数は109件と昨年より20%増加しましたが、前立腺癌摘出術の数は28件と昨年より38%減少となっています。形成外科の医師が12月に退職したため、検体は140件と昨年より30件18%減少しました。

細胞診検体は2333件でした。婦人科および健診科から提出された婦人科領域、それ以外の領域ともそれぞれ26%、併せて487件増加しました。

## 概要

当科は2021年8月に開設し、口腔外科領域を中心に常勤医3名での診療を行なっています。診療内容は口腔癌の治療、顎変形症、顎顔面外傷及びインプラント治療を柱として、口腔外科領域に特化した診療を行なっています。

また、昨今、周術期および有病者の口腔ケアのニーズが高まっており、術前後の感染のリスクの低減や口腔内不快感の軽減による術後早期の経口摂取再開にも繋がることが言われています。当科では周術期の口腔ケアに精通している歯科衛生士を中心に、入院患者さんの口腔ケアに積極的に介入しています。

## 治療方針

当科で一番多い症例は埋伏智歯で外来局所麻酔下で安全に手術するかあるいは、入院管理下での手術が必要な場合は可能な限り早期に手術が行えるように治療計画を立案しています。緊急入院が必要な重度の歯性感染症及び顎骨骨折等の顎顔面外傷に関しても入院後速やかに手術療法及び薬物療法が行えるような体制をとっています。

## 取り扱う疾患

- ・口腔内の良性腫瘍（舌腫瘍、顎骨腫瘍等）
- ・顎変形症（上顎前突症、下顎前突症）
- ・顎顔面外傷（顎骨骨折）
- ・インプラント治療
- ・薬剤関連顎骨壊死
- ・抜歯（埋伏智歯等、抗血栓療法中、ビスフォスフォネート服用中）
- ・唾液腺疾患（口腔乾燥、唾石症等）
- ・口腔粘膜疾患（白板症、扁平苔癬等）
- ・歯性感染症（上顎洞炎、蜂窩織炎、顎炎等）
- ・顎関節症、習慣性顎関節脱臼
- ・口腔心身症（舌痛症等）

など、口腔外科では顎顔面および口腔領域の病変を幅広く診療しています。

特に…、

上顎前突や下顎前突等の顎変形症に関しては、矯正歯科と連携し患者の顔貌及び咬み合わせを外科的に改善していく手術を行なっています。

顎骨骨折等の顎顔面外傷に関しては、大きく咬合が偏位している症例に対しては早期の観血的整復固定術が必要となります。3日以内に手術を行うことを心がけています。

インプラント治療に関しては、歯槽骨の吸収が高度でインプラント治療が困難な症例に対しても自家骨移植を併用したインプラント治療を行なっています。

その他、通院で可能な処置でも、治療に対する恐怖心や不安感が大きな患者さんに対しては全身麻酔下での処置を積極的行なっています。

## 勤務医師

常勤医

主任部長 北川善政

歯科医師 山田成美

歯科衛生士 大竹美里

## 入院手術症例

2023年度 156例

2024年度 266例

## 概要

2023 年 10 月より、常勤医師 1 名が入職したことにより、恒常的な外来診療が再開された。当初より週 5 日（9 コマ）の外来で開始したが、2025 年 3 月末現在でも、そのスタンスを保って外来診療を行っている。

恒常的な婦人科外来を開始してから 1 年半が経過し、多少の波はあるも、患者数は増加し続けている。

## 診療内容

2024 年度は 1 年間にわたって、婦人科外来は恒常的に診療、処置を行ってきた。

- ・子宮頸癌検診、子宮体癌検診を初めとした検診業務から、子宮頸癌検診にて子宮異型細胞、子宮頸部異形成等に対しての精密検査（ハイリスク HPV 検査、コルポスコピー検査、狙い組織診）および高度異形成以上の患者に対しては手術室にて子宮頸部円錐切除術を施行した。

子宮体癌検診にて子宮内膜増殖症の精密検査を行い、外来では不可能な場合は手術室において子宮内膜全面搔爬術を施行した。

- ・外来処置

子宮頸管ポリープ切除術、バルトリン腺膿瘍切開術および開窓術、外陰部膿瘍切開術、外陰部疣贅切除術、尖圭コンジローマ焼灼術などの外来小手術および処置多数。

- ・女性ホルモン関連疾患

過多月経、月経困難症を主訴に来院した、子宮筋腫および子宮内膜症に対する精密検査と治療方針の決定、手術を希望しない患者様に対する各種ホルモン療法（偽閉経療法、偽妊娠療法、低容量ダナゾール療法、低容量ディナゲスト療法等）。

その他、月経前症候群、月経関連性不定愁訴、更年期症候群等に関しては、ホルモン療法も施行するが、漢方療法を選択する場合も多い。

- ・思春期外来

特に 10 代の患者様の月経異常（無月経、続発性無月経、月経不順、月経困難症、過多月経等）に対する原因精査および加療。

月経困難症の患者様には積極的にピル療法により妊孕能の温存および快適な学校生活が送れるように配慮している。

特に体重減少性無月経のような精神科疾患に関わるような患者様に関しては、食事指導を栄養科にお願いしたり、精神的な原因などについて留意し、個別の対応に時間をかけて行っている。

- ・STI

近年増加傾向にある、梅毒、クラミジア感染症、淋菌感染症には特に留意し、積極的に検査することを、患者様に勧めている。

2023 年度にはまだ検査法が確立していなかった、新しい STI の「マイコプラズマ・ジェニタリウム感染症」に関しては、急増していることもあり、検査部にお願ひし、一般病院に先駆けて PCR 検査ができるように手配していただき、症状がクラミジア感染症、淋菌感染症に似ていることから、同様に積極的に検査することを患者様に勧めている。

- ・子宮脱

当科では子宮脱で、可能な患者様にはできるだけ、子宮脱リングの自己着脱法を練習していただき、自分で手入れができるように努力してもらっている。自己着脱法にすることにより、腔内びらんや不正出血はほとんどなくなり、患者様の自由度は格段に上昇する。

しかしながら御高齢で、自己着脱はとても無理、という患者様には当科で 3 ヶ月毎のリング交換を行っている。

また、子宮脱リングの影響で、腔内にびらんや潰瘍などができてしまい、持続出血してしまっているような患者様に対して、形成外科からヒントをいただき、褥瘡・皮膚潰瘍治療薬のフィブラスト

を用いて治療を行い、早期に治癒させ、脱リングを再挿入させる治療法が確立した。

#### ・漢方療法

漢方専門医を目指して勉強しているため、患者様の不定愁訴に対して漢方療法を選択する場合も多い。特に更年期障害では、頭痛やめまい、耳鳴りなどといった、他科にわたる不定愁訴も多いため、漢方療法が奏効する場合も多い。最近では他科の先生方からも、漢方外来として患者様のご紹介を受けることも増えている。自分自身、漢方を学んだことにより、確実に診療の幅が広がったことを実感している。

#### ・手術

2024年度 8件（腹腔鏡下両側付属器切除術1件、腹腔鏡下子宮全摘術＋両側付属器切除術1件、単純子宮全摘術1件、子宮頸部円錐切除術3件、子宮内膜全面搔爬術1件、子宮内異物除去術1件）

#### ・その他

自費ピルの承認を得られたことにより、保険適用のない患者様にも低容量ピルが処方できるようになった。また、自費診療も可能としていただいたことにより、「月経ずらしのための中用量ピル処方」なども開始している。HPV9価ワクチン（シルガード）の接種も積極的に奨励している。

#### 今後の展望

自費診療が可能となったため、「ブライダルチェック(1～3万円程度)」「妊活チェック(3～5万円程度)」等の自費対応の検査をセット組みすることにより、20～30代の患者様の増加を計りたいと考える。「プラセンタ注射」は病院によって保険適応でも自費でも実施することは可能だが、こちらもしピーターの患者様につながるので導入を考慮したい。

#### 外来患者数の推移（2023年10月～2024年3月）

|          |      |
|----------|------|
| 2023年10月 | 48人  |
| 2023年11月 | 62人  |
| 2023年12月 | 95人  |
| 2024年1月  | 120人 |
| 2024年2月  | 122人 |
| 2024年3月  | 131人 |

#### 外来患者数の推移（2024年4月～2025年3月）

|          |      |
|----------|------|
| 2024年4月  | 150人 |
| 2024年5月  | 140人 |
| 2024年6月  | 165人 |
| 2024年7月  | 210人 |
| 2024年8月  | 203人 |
| 2024年9月  | 208人 |
| 2024年10月 | 183人 |
| 2024年11月 | 197人 |
| 2024年12月 | 164人 |
| 2025年1月  | 139人 |
| 2025年2月  | 135人 |
| 2025年3月  | 202人 |

放射線科は、医師の依頼のもとに患者様の病態に合わせて最新の画像診断装置を用いて安全に迅速に検査を行い画像情報を提供しています。また、それに伴い早急に画像診断報告書を作成しています。CTやMRIで形態的診断を行い、核医学検査で機能的診断を行い、報告書を通して主治医の先生方の臨床業務の支援を行っています。画像所見はなるべくPI-RADSなどの標準化された読影法を取り入れて共通認識された情報のもとにレポートを制作するように努めています。

人間ドックの読影業務も積極的に取り組んでおり、頭部MRIや胸部CTを使った脳ドックや肺がんの早期発見のための肺ドックなどの読影業務も手掛けています。近隣の医療機関との連携も強化しており地域に必要とされる医療機関を目指して日々努力しています。

昨年度のCT、MRI、核医学検査の総検査数21327件のうちの翌診療日までの読影率は95.3%に達しています。それにより核医学診断やコンピュータ断層診断の8割以上を翌診療日までに画像診断報告書を作成する条件を満たし画像診断管理加算も習得しております。

| 月   | 対象件数  | 翌診療日<br>未読件数 | 読影率   |
|-----|-------|--------------|-------|
| 4月  | 1614  | 35           | 97.8% |
| 5月  | 1627  | 69           | 95.8% |
| 6月  | 1796  | 64           | 96.4% |
| 7月  | 1790  | 47           | 97.4% |
| 8月  | 1791  | 212          | 88.2% |
| 9月  | 1760  | 43           | 97.6% |
| 10月 | 1804  | 53           | 97.1% |
| 11月 | 1894  | 83           | 95.6% |
| 12月 | 2046  | 101          | 95.1% |
| 1月  | 1817  | 185          | 89.8% |
| 2月  | 1628  | 88           | 94.6% |
| 3月  | 1760  | 27           | 98.5% |
| 合計  | 21327 | 1007         | 95.3% |

医師

部長 木下 隆広

## 【訪問診療】

## 概要

疾患や障害により通院困難となった方、独居の方、在宅での看取りを考えている方などが、住み慣れたご自宅で最後まで暮らせるよう医師が定期的に患者さん宅へ診療に伺い計画的に治療・看護・健康管理を行います。

対象疾患は特にありません。

対象地域としては、西東京市全域・武蔵野市の一部・小平市の一部・東久留米市の一部・小金井市の一部・三鷹市の一部としています。

## 方針

転倒や寝たきりの予防・肺炎や褥瘡の予防・治療・栄養状態の管理など予測されるリスクを回避し、入院が必要な状態を未然に防ぐ。

入院が必要な状態となられた方の入院手配、連携病院との連携、在宅サービスチームとの連携を密にして行くことで安心できる在宅生活を送れるお手伝いをしていきます。

患者様は計 37 名（男性 14 名、女性 23 名）で、年齢は 63 歳から 100 歳まで（中央値 87 歳）です。また、寝たきりで、尿閉を合併している患者様は、高額な介護タクシーを利用し、家人は仕事を休まなくてはならない状況が多々ありましたので、8 名ほど訪問診療で尿道カテーテル交換、管理を行っています。

「担当医師」 吉野 修司（総合診療科）

大貫 朋也（総合診療科）

「担当看護師」 山田 美紀（外来）

内村 真理（外来）

## 医局参加学会

Report2024

| 診療科       | 参加医師名  | 病院承認参加学会・研修会等                         |
|-----------|--------|---------------------------------------|
| 泌尿器科      | 桶川隆嗣   | 第111回日本泌尿器科学会                         |
| 泌尿器科      | 奴田原紀久雄 | 第111回日本泌尿器科学会                         |
| 泌尿器科      | 吉野修司   | 第111回日本泌尿器科学会                         |
| 泌尿器科      | 小田金哲広  | 第111回日本泌尿器科学会                         |
| 泌尿器科      | 大岩祐一郎  | 第111回日本泌尿器科学会                         |
| 泌尿器科      | 板谷直    | 第111回日本泌尿器科学会                         |
| 泌尿器科      | 奴田原紀久雄 | 第67回日本腎臓学会                            |
| 泌尿器科      | 小田金哲広  | 第89回日本泌尿器科学会東部総会                      |
| 泌尿器科      | 桶川隆嗣   | 第24回日本内分泌学会                           |
| 泌尿器科      | 桶川隆嗣   | 第25回日本内分泌学会                           |
| 泌尿器科      | 桶川隆嗣   | 第38回日本泌尿器内視鏡学会                        |
| 泌尿器科      | 小田金哲広  | 第38回日本泌尿器内視鏡学会                        |
| 泌尿器科      | 大岩祐一郎  | 第38回日本泌尿器内視鏡学会                        |
| 泌尿器科      | 小田金哲広  | 第54回日本創傷治癒学会                          |
| 泌尿器科      | 板谷直    | 第17回日本泌尿器内視鏡ロボティクス学会                  |
| 泌尿器科      | 小田金哲広  | 第17回日本泌尿器内視鏡ロボティクス学会                  |
| 泌尿器科      | 桶川隆嗣   | 第17回日本泌尿器内視鏡ロボティクス学会                  |
| 泌尿器科      | 桶川隆嗣   | 第1回Tokushukai Robotic Urology Seminar |
| 泌尿器科      | 小田金哲広  | 第1回Tokushukai Robotic Urology Seminar |
| 泌尿器科      | 板谷直    | 第1回Tokushukai Robotic Urology Seminar |
| 泌尿器科      | 奴田原紀久雄 | 第1回Tokushukai Robotic Urology Seminar |
| 脳神経外科     | 渋谷肇    | 第30回日本血管内治療学会                         |
| 脳神経外科     | 太田隆    | 第83回日本脳神経外科学会                         |
| 脳神経外科     | 古川雄都   | 第83回日本脳神経外科学会                         |
| 脳神経外科     | 松崎肅統   | 第83回日本脳神経外科学会                         |
| 脳神経外科     | 渋谷肇    | 第83回日本脳神経外科学会                         |
| 脳神経外科     | 渋谷肇    | 第40回日本脳神経血管内治療学会                      |
| 脳神経外科     | 松崎肅統   | 第40回日本脳神経血管内治療学会                      |
| 糖尿病・内分泌内科 | 柴久美子   | 第97回日本内分泌学会                           |
| 消化器内科     | 高城健    | 消化器内科部会 第12回ENDOCLUB                  |
| 消化器内科     | 吉本泰治   | 消化器内科部会 第12回ENDOCLUB                  |
| 消化器内科     | 高城健    | 第14回医療安全管理者養成研修                       |
| 消化器外科     | 木山輝郎   | 日本リハビリテーション医学会医師研修会                   |
| 消化器外科     | 木村尚哉   | 第60回日本腹部救急医学会                         |
| 消化器外科     | 須田睦    | 第60回日本腹部救急医学会                         |
| 消化器外科     | 飯島広和   | 第124回日本外科学会                           |
| 消化器外科     | 須田睦    | 第22回日本ヘルニア学会                          |
| 消化器外科     | 横山政明   | 第55回日本膵臓学会                            |
| 消化器外科     | 横山政明   | 第60回日本胆道学会                            |
| 消化器外科     | 飯島政明   | 第37回日本内視鏡学会                           |
| 消化器外科     | 木山輝郎   | 第54回日本創傷治癒学会                          |
| 消化器外科     | 木村尚哉   | 第14回医療安全管理者養成研修                       |
| 消化器外科     | 須田睦    | 第54回日本創傷治癒学会                          |
| 消化器外科     | 木山輝郎   | 第1回Tokushukai Robotic Urology Seminar |
| 循環器内科     | 浅見貞晴   | 日本リハビリテーション医学会医師研修会                   |
| 循環器内科     | 浅見貞晴   | 第52回日本集中治療医学会                         |
| 耳鼻咽喉科     | 平塚宗久   | 第38回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会                    |
| 耳鼻咽喉科     | 中智美    | 第38回日本耳鼻咽喉科外科学会                       |
| 歯科口腔外科    | 北川善政   | 第78回NP0法人日本口腔学会                       |
| 歯科口腔外科    | 北川善政   | 第69回日本口腔外科学会                          |
| 歯科口腔外科    | 吉澤泰昌   | 第28回日本顎顔面インプラント学会                     |
| 形成外科      | 矢野晶子   | 第67回日本形成外科学会                          |
| 救急科       | 田中良弘   | 第64回日本呼吸器学会                           |
| 救急科       | 田中良弘   | 第52回日本救急医学会                           |
| 救急科       | 阪本敏久   | 第52回日本救急医学会                           |
| 病理診断科     | 穴倉有里   | 第113回日本病理学会                           |



注：届出された学会等を掲載

薬剤部の業務は内服調剤・注射調剤、薬剤管理指導、薬品管理、医薬品情報管理に大別され、内容は下表の通りです。

全病棟に薬剤師が常駐しており、病棟薬剤業務実施加算を算定しています。薬剤部が入院患者に対して関わる時間が確保されており、より病棟内で薬剤師としての安心・安全な薬物治療を患者様に提供できると考えています。2024 年度も前年より引き続いて COVID-19 の治療薬を取り扱っており、治験業務と連携をとり、ゾコバ錠含めたコロナ治療も対応致しました。服薬指導件数については昨年度に引き続いて平均 1409 件と開院時より過去最高の件数となりました。

2022 年度より発足した手術室担当の充実や、術前の持参薬チェックや日々の医薬品在庫管理、

術後の薬剤再開チェックなどの周術期薬剤管理を行うと同時に医師・看護師・薬剤師による術後疼痛管理チームを発足し術後の疼痛コントロールを図っております。

昨年度より外来化学療法センターについても薬剤師を配置し患者様に寄り添った薬物治療を行っており、取り扱うがん種やレジメンも増えていきます。2024 年度の抗がん剤混注における、無菌調整加算 1 の件数は平均 39 件と開院して最高の件数となりました。

また、グループ病院で薬剤師が足りていない病院への応援業務にも注力しました。

薬局内の活動としてカルテ内の拡充、適切な記載や算定を行われるようにするためカルテチェックや、インシデントを薬局内で共有し、インシデ

薬剤部業務内容の概要

|           |                                                                                               |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 調剤業務      | 内服、外用、注射薬の調剤、監査<br>電子カルテ、オーダーリングシステムの導入により重複投与や相互作用等のチェック<br>中心静脈栄養輸液の調製・監査                   |
| 無菌製剤の調製業務 | 高カロリー輸液等栄養製剤の混注                                                                               |
| 抗がん剤混注業務  | レジメンに基づいた抗がん剤の調製・監査                                                                           |
| 院内製剤調製業務  | 市販されていない薬品の調製<br>HD 軟膏、滅菌墨汁、3%ルゴール液、1%メトロニダゾール軟膏、5000 倍ボスミン、キシロカイン・ボスミン混合液、ポビドンヨード点耳液、1%塩化亜鉛液 |
| 医薬品情報業務   | 医薬品情報の整理、発信<br>勉強会の実施<br>問い合わせ事項に対する回答                                                        |
| 医薬品管理業務   | 医薬品の発注、検収、棚卸しをシステムにて一元管理<br>麻薬、毒薬、向精神薬の台帳管理<br>院内向け医薬品情報の発信（2 ヶ月に 1 回）                        |
| 薬剤管理指導業務  | 患者に対し、用法用量・薬効の説明と副作用等の確認                                                                      |
| 病棟業務      | 全病棟での定期薬配薬<br>医師、看護師等他職種間でのカンファレンス実施<br>病棟の医薬品管理                                              |
| 各種委員会、チーム | 医療安全対策委員会、感染防止対策委員会、褥瘡委員会、NST 委員会、がん化学療法委員会・レジメン審査委員会                                         |

ントに対しての対策を検討する医療安全業務にも力を入れました。

2024 年度は通常業務の改善を図るべく、採用薬の見直しなどを行いました。また、薬剤廃棄量

を削減する為、他施設との薬剤取引を積極的に取り組みました。薬剤廃棄量の削減などを踏まえた、他施設とのやり取りが出来るのは、徳洲会グループとしての強みだと思います。

実績報告（月平均）

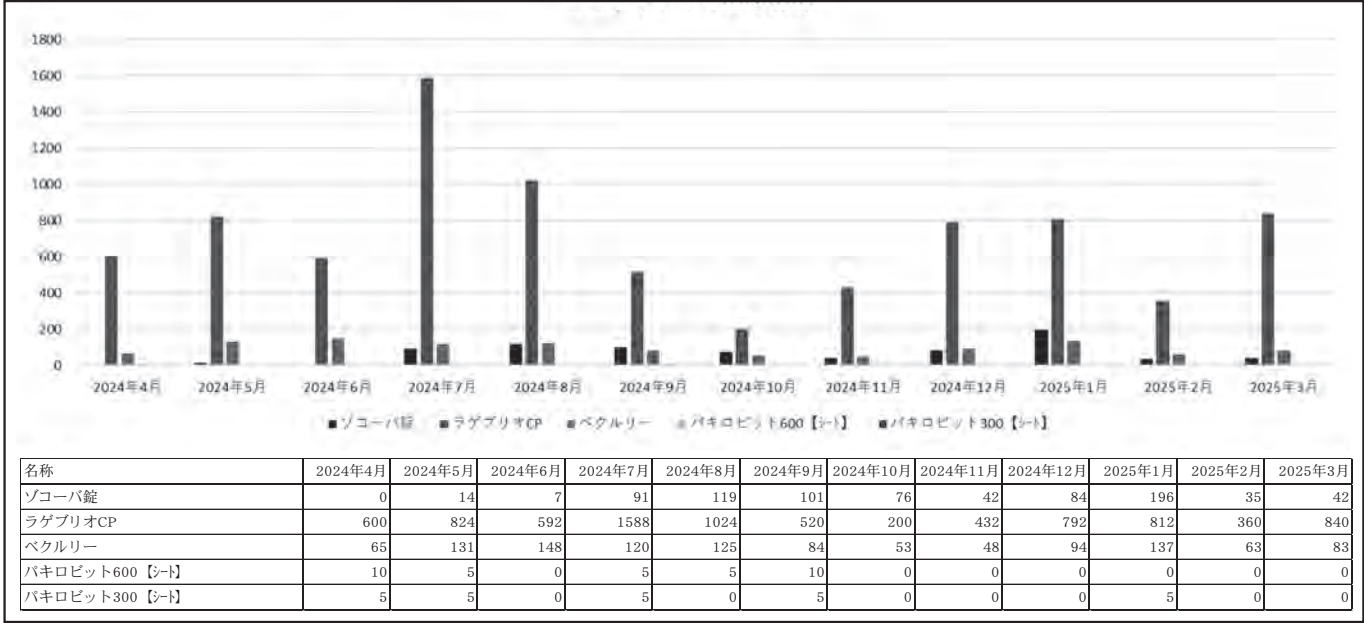
|                      | 2015年※ | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
|----------------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 総スタッフ数               | 8.2    | 10.7  | 13.8  | 15.1  | 16.3  | 18.1  | 19.3  | 22.3  | 27.3  | 24.75 |
| 入院処方箋枚数              | 872    | 1509  | 1702  | 1827  | 2068  | 2156  | 2628  | 2939  | 3360  | 3891  |
| 入院注射本数               | 6880   | 8855  | 9542  | 9914  | 9419  | 8116  | 10128 | 11097 | 13953 | 15210 |
| 外来処方箋枚数              | 1376   | 2390  | 2442  | 2669  | 2405  | 1885  | 2199  | 2367  | 2434  | 2391  |
| 院外処方箋枚数              | 99     | 188   | 760   | 1207  | 1856  | 1490  | 1910  | 2271  | 2612  | 2994  |
| 無菌調整加算 1 (抗がん剤混注)件数  | 2      | 8     | 10    | 9     | 14    | 5     | 8     | 15    | 31    | 39    |
| 無菌調整加算2(高カロリー輸液混注)件数 | 33     | 259   | 296   | 333   | 285   | 218   | 261   | 227   | 217   | 372   |
| 服薬指導件数               | 424    | 645   | 690   | 779   | 839   | 750   | 876   | 1054  | 1264  | 1409  |

※ 2015 年度は 6 月以降のデータ

新型コロナウイルス治療薬使用件数

2022 年度より引き続き継続してCOVID -19 患者を受け入れており、治療薬についてはベクルリー注、ロナプリーブ注、ラゲブリオCP、パキロビットCP、ゾコーバ錠にて治療にあたっております。

コロナウイルス治療薬使用患者数





# 放射線科

Report2024

## 2024 年度放射線科概要

### ○スタッフ

|                    |      |
|--------------------|------|
| 放射線科技師長            | 1名   |
| 副技師長               | 1名   |
| 係長                 | 1名   |
| 主任                 | 1名   |
| 副主任                | 1名   |
| 放射線技師              | 13名  |
| 男性12名 女性6名         | 計18名 |
| (2024 年4月新卒男性2名入職) |      |

### ○有資格者数

|                |    |
|----------------|----|
| 第一種放射線取扱主任者    | 4名 |
| 検診マンモグラフィー認定技師 | 5名 |
| 肺がんCT健診認定技師    | 5名 |
| 日本救急撮影認定技師     | 1名 |
| 胃がん検診専門技師      | 3名 |
| 放射線管理士         | 3名 |
| 放射線機器管理士       | 1名 |
| 放射線被ばく相談員      | 1名 |
| 衛生工学衛生管理者      | 1名 |
| 放射線技師実習指導者     | 1名 |

### ○認定施設

- ・マンモグラフィー検診施設画像認定施設
- ・画像診断管理認証施設

## 2024 年度業績

### ○タスク・シフト/シェアへの取り組み

- ・告示研修への参加(修了者18名)
- ・造影剤使用検査、RI検査時の静脈路確保・薬剤注入の実施

### ○脳神経外科オンコール対応の開始(2025 年11月)

### ○新規 PACS サーバーの導入(2025 年2月)

### ○外科用イメージ増設(3 台目・2025 年2月)

### ○他院からの紹介検査の強化(表1)

### ○スマート脳ドッグ、乳腺 MRI 検診 DWIBS サーチ

の運用を継続(表2、3)

### ○各検査の業務実績(表4)

### ○医療講演

DWIBS サーチの有用性

### ○学会発表

徳洲会放射線技師部会学術発表会

「ERCP 検査時におけるX線TV用管球プロテクター使用時の空間線量測定と有用性の検討」

吉弘 実央

北関東ブロック 優秀賞

関東ブロック 優秀賞

全国大会 奨励賞

第158 回日暮里塾ワンコインセミナー

「タスク・シフト/シェア ～現場からの報告～ CT/MRI/核医学業務について」

原 基壺

## 2025 年度の目標

○各モダリティの専門性を追求し、各種認定技師等の取得を目指す

○医療安全の取り組みに重点を置いた医療を目指す

○コストを削減し、効率的な業務体制を構築する

○DXを取り入れた医療の質の向上を目指す

業務の内容

### ○X線検査

CT、一般撮影、透視検査、血管撮影、マンモグラフィー、骨密度測定など

### ○MRI 検査

各診療科からの依頼主に椎体・脳・肝臓・前立腺・乳腺・全身 DWIBS、健診検査など

### ○核医学検査

脳血流シンチ・心筋血流シンチ・骨シンチなど

### ○画像管理

PACS 内の DICOM 画像管理実施

他の医療機関の画像取り込み、紹介施設への画像 CD 作成の実施

### ○被ばくの管理

医療従事者の個人被ばく線量の管理  
患者、受診者の被ばく線量の管理  
高線量被ばく発生時、管理委員会開催し被ばく低減を検討

#### 2025 年度について

- ・人員の増員（新卒男性1名 新卒女性2名）
- ・画像診断支援システムの導入
- ・新規放射線機器導入の検討
- ・タスク・シフト/シェアのさらなる推進

表1 他院検査紹介実績 単位 件

|     | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  | 前年比  |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|------|
| CT  | 13 | 5  | 8  | 11 | 2  | 7  | 5   | 9   | 7   | 8  | 4  | 7  | 86  | 102% |
| MRI | 24 | 26 | 23 | 36 | 29 | 41 | 26  | 38  | 35  | 45 | 34 | 23 | 380 | 107% |

表2 スマート脳ドッグ実績 単位 件

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 前年比 |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|-----|
| 4  | 12 | 5  | 4  | 10 | 6  | 8   | 5   | 4   | 8  | 4  | 8  | 78 | 99% |

表3 乳腺 MRI 検診 DWIBS サーチ実績 単位 件

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  | 前年比  |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|------|
| 20 | 23 | 10 | 24 | 14 | 22 | 27  | 29  | 30  | 22 | 9  | 18 | 248 | 114% |

表4 2024 年度月別推移 単位 件

|          | 一般     | 胃透視   | CT     | MRI   | 心カテ | PCI | 血管  | IVR | 骨密度 | 乳房    | RI  | 術中透視  |
|----------|--------|-------|--------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-------|
| 2024年4月  | 2,396  | 52    | 1,418  | 362   | 24  | 8   | 4   | 2   | 80  | 60    | 25  | 81    |
| 2024年5月  | 2,574  | 80    | 1,476  | 382   | 16  | 5   | 3   | 3   | 65  | 63    | 20  | 86    |
| 2024年6月  | 2,791  | 80    | 1,516  | 420   | 9   | 5   | 3   | 2   | 64  | 202   | 24  | 82    |
| 2024年7月  | 2,723  | 141   | 1,503  | 397   | 22  | 4   | 6   | 4   | 71  | 189   | 39  | 90    |
| 2024年8月  | 2,562  | 105   | 1,516  | 415   | 20  | 8   | 9   | 7   | 51  | 140   | 28  | 76    |
| 2024年9月  | 2,652  | 132   | 1,512  | 372   | 20  | 7   | 5   | 3   | 103 | 116   | 27  | 99    |
| 2024年10月 | 2,765  | 152   | 1,633  | 429   | 25  | 11  | 11  | 8   | 107 | 152   | 28  | 103   |
| 2024年11月 | 2,571  | 137   | 1,634  | 436   | 14  | 6   | 6   | 5   | 81  | 142   | 16  | 110   |
| 2024年12月 | 3,090  | 141   | 1,758  | 430   | 19  | 7   | 4   | 4   | 75  | 231   | 45  | 118   |
| 2025年1月  | 2,497  | 85    | 1,568  | 400   | 25  | 7   | 10  | 9   | 76  | 216   | 9   | 111   |
| 2025年2月  | 2,476  | 105   | 1,446  | 411   | 11  | 4   | 6   | 6   | 86  | 223   | 28  | 123   |
| 2025年3月  | 2,590  | 116   | 1,524  | 423   | 12  | 6   | 7   | 7   | 76  | 227   | 31  | 109   |
| 年合計      | 31,687 | 1,326 | 18,504 | 4,877 | 217 | 78  | 74  | 60  | 935 | 1,961 | 320 | 1,188 |
| 対前年比     | 109%   | 106%  | 113%   | 115%  | 89% | 87% | 60% | 63% | 65% | 108%  | 97% | 188%  |

正確な検査結果を迅速に報告することで、患者様のお役に立てるように日々研鑽している。院内の検査だけではなく、近隣クリニックからの超音波検査、脳波検査依頼にも応じている。健康志向が高い近隣住民の希望に応じられるように健診センターと協力して健診業務も推進した。

### 在籍技師数

18名(男性6名、女性12名) + 事務員1名  
3名退職、3名入職、育休1名、産休1名、休職1名。  
これまでと同様に、24時間体制(宿直1名)で、検体検査、輸血検査を行っている。  
生理検査(超音波検査、心電図、ABI、肺活量)は19時まで検査を行っている。

### 精度管理

日本医師会精度管理  
日本臨床検査技師会サーベイ  
各試薬メーカーサーベイ  
日本超音波検査技師会画像コントロールサーベイ(全5領域)  
サーベイはすべて優良な結果でした。  
毎日の精度管理も適正に行われた。  
日本超音波検査学会 精度認定施設(心臓領域、腹部領域)

### タスクシフト

厚労省の研修終了者15名。院内イントロカン講習15名修了。  
採血に伴うルート確保の実施は未。  
持続皮下血糖測定機、新規導入者への脱着説明。

### 業務量と業務

業務量は病理、輸血以外で2023年度より10%以上増加している。  
血小板凝集能検査を採血から結果を出すまで全て検査技師が行った。  
中央処置室での採血業務も継続して午前中1名の技師を配置した。  
これまでと同様に、耳鼻科の聴力検査、補聴器外来の検査を行った。  
C型肝炎(HCV抗体陽性者)拾い上げも継続して行っている。  
超音波検査結果、病理検査結果の重要検査結果

の既読確認確作業を行った。

CPAPの結果、フリースタイルリブレの結果、精密PSGの結果、の印刷、電子カルテ上への取り込み作業を検査科事務員が行っている。

### 働き方改革の推進

業務増加の中で、残業時間の削減達成(月平均10時間以内)  
有給休暇の消化率の上昇(次年度持越し以外の有給休暇全消化)をほぼ達成した。  
初めて男性の育休(8か月間取得)も行った。  
7時出勤、8時出勤、8時半出勤と時差出勤し、効率よく集中して仕事を行った。  
業務の領域を主の業務はあるが検体検査のみ、生理検査のみ、と固定していないため、日々の人員配置を領域的、時間的に流動性を持たせることで効率的検査が可能になった。  
各自のスキルアップとして資格取得、講習会・研修会の受講を目指した。

### 資格等

二級臨床病理検査士 3名  
(臨床血液学2名、臨床生化学1名、免疫血清1名、臨床呼吸生理1名)  
緊急検査士4名  
日本臨床細胞検査士1名  
国際細胞検査士1名  
精度管理責任者育成講習終了者3名  
JHRS認定心電図専門士5名  
超音波検査士2名  
(消化器2名、循環器1名、健診1名、産婦人科1名)  
第一種衛生管理者1名  
化学物質管理者3名  
POCT測定認定士1名  
徳洲会感染管理者講習修了者1名  
医療安全管理者3名  
毒物劇物取り扱い責任者4名  
特化物・4アルキル鉛等作業責任者2名  
遺伝子分析化学認定士(初級)2名  
感染症検体送付研修修了者9名

### 離島応援・応援業務

屋久島徳洲会病院 1か月  
鎌ヶ谷総合病院 1週間

2024 年度 生理検査件数の推移

|             | 4月  | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月  | 2月  | 3月   | 総件数   | 2023年度 |
|-------------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|------|-------|--------|
| 腹部エコー       | 289 | 336  | 405  | 344  | 409  | 364  | 455  | 414  | 425  | 263 | 323 | 370  | 4397  | 4242   |
| 表在その他       | 165 | 180  | 178  | 180  | 177  | 201  | 222  | 196  | 200  | 169 | 161 | 199  | 2228  | 1947   |
| 血管エコー       | 88  | 115  | 128  | 127  | 89   | 101  | 137  | 146  | 144  | 118 | 140 | 136  | 1469  | 1453   |
| 心エコー        | 345 | 355  | 381  | 351  | 351  | 370  | 350  | 338  | 413  | 341 | 335 | 364  | 4294  | 3871   |
| ホルター心電図     | 7   | 12   | 15   | 9    | 15   | 6    | 15   | 21   | 16   | 14  | 12  | 15   | 157   | 148    |
| 脳波          | 3   | 5    | 9    | 10   | 8    | 9    | 11   | 10   | 8    | 4   | 2   | 7    | 86    | 75     |
| 肺機能         | 141 | 187  | 186  | 199  | 221  | 200  | 234  | 242  | 252  | 126 | 188 | 203  | 2379  | 2091   |
| 心電図         | 913 | 1115 | 1123 | 1129 | 1088 | 1400 | 1501 | 1337 | 1664 | 825 | 891 | 1126 | 14112 | 12972  |
| 精密P S G     | 4   | 4    | 4    | 2    | 3    | 1    | 0    | 2    | 6    | 3   | 2   | 2    | 33    | 31     |
| 簡易P S G     | 7   | 16   | 5    | 4    | 6    | 1    | 7    | 7    | 2    | 5   | 5   | 6    | 71    | 36     |
| 耳鼻科、A B I 等 | 93  | 116  | 106  | 140  | 125  | 108  | 194  | 177  | 153  | 142 | 120 | 163  | 1637  | 1165   |

2024 年度 輸血件数の推移

|         | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 総件数  | 2023年度 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|--------|
| RCC 単位  | 200 | 142 | 218 | 234 | 196 | 230 | 228 | 236 | 168 | 158 | 182 | 230 | 2422 | 2266   |
| FFP 単位  | 8   | 4   | 24  | 16  | 13  | 12  | 4   | 42  | 10  | 4   | 2   | 168 | 307  | 330    |
| PC 単位   | 40  | 35  | 40  | 110 | 20  | 140 | 190 | 180 | 150 | 20  | 0   | 35  | 2729 | 1155   |
| 自己血貯血単位 | 0   | 0   | 0   | 6   | 0   | 0   | 4   | 5   | 4   | 2   | 6   | 0   | 27   | 20     |

\* 2024年1月～12月までの製剤廃棄率 0.2%

2024 年度 細菌検査数の推移

|              | 4月  | 5月  | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月 | 11月 | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 総件数   | 2023年度 |
|--------------|-----|-----|------|------|------|------|-----|-----|------|------|------|------|-------|--------|
| チール、グラム染色    | 35  | 48  | 18   | 26   | 30   | 24   | 30  | 24  | 25   | 15   | 38   | 24   | 337   | 195    |
| 微生物一般（外注）    | 648 | 783 | 799  | 778  | 660  | 579  | 665 | 639 | 752  | 664  | 622  | 681  | 8270  | 8213   |
| 微生物抗酸菌（外注）   | 50  | 23  | 55   | 19   | 28   | 17   | 20  | 11  | 14   | 11   | 28   | 9    | 285   | 175    |
| 院内結核PCR      | 7   | 6   | 8    | 1    | 5    | 4    | 3   | 2   | 0    | 2    | 5    | 2    | 45    | 40     |
| COVID19PCR件数 | 356 | 463 | 454  | 220  | 106  | 30   | 14  | 14  | 50   | 31   | 25   | 10   | 1773  | 7587   |
| COVID19抗原件数  | 755 | 776 | 1052 | 1345 | 1173 | 1071 | 884 | 868 | 2454 | 2591 | 1099 | 1480 | 15548 | 8256   |
| COVID ヨウセイ   | 91  | 139 | 164  | 296  | 178  | 140  | 48  | 49  | 124  | 165  | 75   | 95   | 1564  | 1724   |
| コロナ・インフル同時   | 651 | 677 | 820  | 1032 | 884  | 826  | 776 | 779 | 1024 | 1708 | 1061 | 1397 | 11635 |        |

2024 年度 検体検査数の推移

|       | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 総件数    | 2023年度 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 一般検査  | 9134  | 10221 | 11746 | 11306 | 11490 | 11163 | 12088 | 11002 | 11625 | 9880  | 9983  | 10578 | 130216 | 111348 |
| 血液検査  | 25000 | 25761 | 26448 | 29483 | 29311 | 29893 | 29401 | 28086 | 30808 | 25856 | 23920 | 25890 | 329857 | 290175 |
| 免疫検査  | 9203  | 9521  | 10336 | 11030 | 11037 | 10808 | 10605 | 10396 | 16258 | 13953 | 10162 | 11749 | 135058 | 99978  |
| 生化学検査 | 57179 | 60593 | 64642 | 67951 | 66905 | 68575 | 69931 | 64908 | 72771 | 59342 | 55365 | 61562 | 769724 | 687448 |
| 微生物検査 | 706   | 856   | 993   | 684   | 514   | 388   | 375   | 358   | 419   | 376   | 348   | 311   | 6328   | 12758  |

2024 年度 病理検査件数（外注）の推移

|            | 4月   | 5月  | 6月  | 7月 | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月 | 総件数  | 2023年度 |
|------------|------|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|------|--------|
| 病理組織検査（外注） | 150  | 181 | 111 | 86 | 181 | 218 | 138 | 181 | 163 | 146 | 86  | 63 | 1704 | 1789   |
| 病理細胞診（外注）  | 1991 | 180 | 175 | 92 | 222 | 205 | 146 | 222 | 208 | 173 | 112 | 78 | 1991 | 1844   |
| 迅速（院内）     | 1    | 1   | 2   | 0  | 2   | 2   | 2   | 0   | 3   | 2   | 1   | 1  | 17   | 33     |

## 今年度目標

安全で事故のない医療の提供。医療機器で病院の発展と安全に貢献する。

医療機器の臨床工学内で保守点検を進める。

## 業務内容

### ①血液浄化療法

透析センターでの維持透析。病棟透析での個人透析。CRRT, アフェレーシスの施行。

### ②機器管理業務

医療機器の保守点検、人工呼吸器の管理。生体モニタの管理。

### ③手術室業務

Hinotori の管理、麻酔器の管理、定期交換部品の交換、ME 機器操作、OPE で使用する機械のメンテナンス・管理

### ④循環器業務

CAG、PCI で使用する IVUS, 体外式ペースメーカー、IABP,ECMO 等の操作と管理、ポリグラフによるバイタルの確保、デバイスの管理。ペースメーカー業務では植込み後のフォローアップや外来のペースメーカーチェックを行う。

### ⑤内視鏡業務

カメラの保守管理、内視鏡の介助業務、ERCP,ESD の助手。

### ⑥その他

急変時は人工呼吸器や除細動器、PCPS を用意し急変時対応。OPE 室でのペースメーカーの設定変更、体表ペーシング等も行う。

## 実績

手術室業務では、手術件数が増加し新しい医療機器が増え、それら管理を行うだけでなく、術中のペースメーカー対応、オペ用スコープの対応などの業務も増加している。内視鏡にも CE が携わることによりコスト削減や衛生管理等も行えている。

・透析室では、外来・入院透析、CHDF、レオカーナ、エンドトキシン吸着等のアフェレーシスを行っている。

## 2024 年度透析件数（単位：件）

|      | 外来透析  | 入院透析 | CHDF | エンドトキシン<br>吸着 | 血漿交換 | CART |
|------|-------|------|------|---------------|------|------|
| 4 月  | 1005  | 490  | 59   | 0             | 0    | 4    |
| 5 月  | 1073  | 436  | 61   | 1             | 0    | 5    |
| 6 月  | 956   | 456  | 57   | 0             | 0    | 2    |
| 7 月  | 1026  | 493  | 63   | 0             | 0    | 5    |
| 8 月  | 1002  | 419  | 12   | 0             | 0    | 2    |
| 9 月  | 905   | 374  | 60   | 1             | 0    | 0    |
| 10 月 | 984   | 392  | 63   | 0             | 0    | 2    |
| 11 月 | 888   | 453  | 43   | 0             | 0    | 0    |
| 12 月 | 924   | 381  | 44   | 1             | 0    | 1    |
| 1 月  | 926   | 412  | 16   | 0             | 0    | 0    |
| 2 月  | 793   | 411  | 36   | 2             | 0    | 0    |
| 3 月  | 856   | 360  | 9    | 0             | 4    | 0    |
| 合計   | 11338 | 5077 | 523  | 5             | 4    | 21   |

- ・内視鏡業務では、業務拡大によりCEの増員をし、内視鏡業務全般に関わっている。

#### 2024 年度内視鏡件数（単位：件）

|      | GIF | CF  | EUS | EUSFNA | ERCF | 止血 | ポリペク | PTGBI | ESD | 胃瘻 | メンタルテスト |
|------|-----|-----|-----|--------|------|----|------|-------|-----|----|---------|
| 4 月  | 201 | 78  | 13  | 0      | 8    | 2  | 28   | 1     | 5   | 3  | 0       |
| 5 月  | 218 | 77  | 6   | 1      | 12   | 5  | 19   | 0     | 7   | 6  | 1       |
| 6 月  | 259 | 84  | 5   | 0      | 5    | 6  | 26   | 0     | 2   | 7  | 0       |
| 7 月  | 291 | 124 | 2   | 0      | 2    | 3  | 20   | 0     | 1   | 3  | 0       |
| 8 月  | 225 | 74  | 4   | 2      | 11   | 6  | 21   | 2     | 2   | 4  | 1       |
| 9 月  | 243 | 85  | 10  | 2      | 13   | 2  | 29   | 2     | 6   | 3  | 2       |
| 10 月 | 275 | 109 | 8   | 0      | 9    | 12 | 36   | 4     | 9   | 7  | 1       |
| 11 月 | 247 | 87  | 4   | 0      | 6    | 3  | 21   | 2     | 7   | 6  | 6       |
| 12 月 | 225 | 76  | 9   | 1      | 11   | 2  | 19   | 1     | 9   | 5  | 3       |
| 1 月  | 217 | 74  | 9   | 0      | 6    | 1  | 36   | 0     | 3   | 5  | 0       |
| 2 月  | 199 | 65  | 1   | 0      | 5    | 0  | 30   | 1     | 2   | 7  | 2       |
| 3 月  | 190 | 80  | 3   | 0      | 7    | 5  | 33   | 0     | 4   | 0  | 1       |

- ・機器管理業務では、人工呼吸器、シリンジ・輸液ポンプ、除細動器の日々の管理メンテナンスの他、電気メスから吸引器までの様々な機械の管理、保守点検を行っている。

#### 2024 年度 機器管理一部実績（単位：台）

|      | 人工呼吸器<br>稼働台数 | 輸液ポンプメンテナ<br>ンス台数 | シリンジポンプメンテ<br>ナンス台数 |
|------|---------------|-------------------|---------------------|
| 4 月  | 102           | 160               | 68                  |
| 5 月  | 86            | 127               | 72                  |
| 6 月  | 55            | 168               | 60                  |
| 7 月  | 113           | 194               | 107                 |
| 8 月  | 86            | 206               | 81                  |
| 9 月  | 119           | 180               | 81                  |
| 10 月 | 126           | 166               | 59                  |
| 11 月 | 103           | 214               | 97                  |
| 12 月 | 100           | 197               | 78                  |
| 1 月  | 84            | 185               | 66                  |
| 2 月  | 89            | 157               | 58                  |
| 3 月  | 95            | 143               | 54                  |

※人工呼吸器は 1 人/1 日で計算

- ・カテーテル業務

#### 2024 年度カテーテル業務実績（単位：件）

|      | CAG | PCI | 右心<br>カテ | EVT | ペースメーカ<br>植え込み | 体外式<br>ペースメーカ | IABP | PCPS | ペースメーカ<br>外来 |
|------|-----|-----|----------|-----|----------------|---------------|------|------|--------------|
| 4 月  | 15  | 9   | 1        | 0   | 2              | 3             | 1    | 0    | 9            |
| 5 月  | 12  | 4   | 2        | 1   | 1              | 0             | 0    | 0    | 8            |
| 6 月  | 4   | 5   | 0        | 3   | 0              | 0             | 0    | 0    | 0            |
| 7 月  | 15  | 2   | 0        | 1   | 1              | 1             | 0    | 0    | 0            |
| 8 月  | 17  | 7   | 2        | 3   | 0              | 2             | 0    | 0    | 0            |
| 9 月  | 12  | 6   | 0        | 0   | 3              | 5             | 1    | 0    | 11           |
| 10 月 | 15  | 7   | 1        | 1   | 0              | 0             | 0    | 0    | 11           |
| 11 月 | 9   | 6   | 1        | 1   | 0              | 1             | 0    | 0    | 6            |
| 12 月 | 13  | 7   | 1        | 1   | 0              | 0             | 0    | 0    | 5            |
| 1 月  | 18  | 7   | 1        | 0   | 0              | 1             | 0    | 0    | 2            |
| 2 月  | 7   | 4   | 0        | 0   | 0              | 1             | 0    | 0    | 9            |
| 3 月  | 5   | 2   | 0        | 0   | 0              | 0             | 0    | 0    | 11           |
| 合計   | 142 | 66  | 9        | 11  | 7              | 14            | 2    | 0    | 72           |

## 1. 組織体制と構成員

### 1) 責任体制

2023年2月1日～

山田耕平（理学療法士）

### 2) 構成

理学療法士（PT）：17名

作業療法士（OT）：6名

言語聴覚士（ST）：9名

事務員：1名

### 3) 療法部門認定資格 等

運動器認定理学療法士

介護予防認定理学療法士

言語発達障害領域認定言語聴覚士

聴覚障害領域認定言語聴覚士

成人発声発語障害領域認定言語聴覚士

摂食・嚥下障害領域認定言語聴覚士

失語・高次脳機能障害領域認定言語聴覚士

日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

3学会合同呼吸療法認定士

公認心理士

臨床発達心理士

心不全療養指導士

AHA BLS プロバイダー

AHA BLS インストラクター

## 2. 特徴

### 1) 当院リハビリテーション科の役割

当科は主に手術後や罹患後の急性期リハビリテーションを担っている。他には医療資源を必要とされているリハビリテーションを目的として転院された回復期や生活期のリハビリテーションも担っている。急性期ではベッドサイドからはじまり、早期離床、廃用症候群・合併症の予防をおこない、日常生活動作の早期再獲得を目指している。回復期・生活期は日常生活動作や応用的な家事動作の獲得・残存機能での生活動作獲得を目指す。

医療保険が適応できる期間に限るが、退院

後にも必要に応じて外来での継続的なリハビリテーションを提供している。作業療法士と言語聴覚士は小児発達障害へのリハビリテーションもおこなっている。

### 2) 療法の内容

診療報酬体系上は脳血管I、運動器I、心大血管I、呼吸器I、廃用症候群I、がん患者リハビリテーションである。各診療科の医師から処方が出され、医師の指示のもと療法士がリハビリテーションを開始する。多職種協働で協議しリハビリテーションの計画に基づき実施される。年末年始やゴールデンウィーク等の連休にも交代で出勤し365日体制でリハビリテーション介入をおこなっている。

### 3) リハビリテーション施設概要

リハビリテーション室の総面積は283.24㎡、心臓リハビリテーション室は83.33㎡で別に設けている。入院患者へは主にベッドサイドや病棟内で行っている。安全管理や感染管理・多職種との情報共有の円滑化のため、病棟密着型リハビリテーションを展開している。外来患者はリハビリテーション室にて実施している。心臓リハビリテーションについてはCPX（心肺運動負荷試験）を医師・臨書検査技師とともにおこない、運動負荷量を設定し適切なリハビリテーションに繋げている。

## 3. 活動内容と実績

図1 2024年度診療科別リハビリ処方箋



PTOTST 入院と外来処方箋の合計は3771件。

診療科別処方箋数は図1参照。処方箋数は前年度よりも900件程増加。新たな医師の入職に加えリハビリテーション依頼の出される診療科も増え、より多岐にわたる疾患に対応するようになった。

#### 1) 診療実績の動向

リハビリテーションは保健診療報酬の規定により、療法士1名あたりが1日に治療できる患者数の上限が決められている。2024年度はPT 2名 OT 1名 ST 2名の入職。

図2 PTOTST の合計単位数

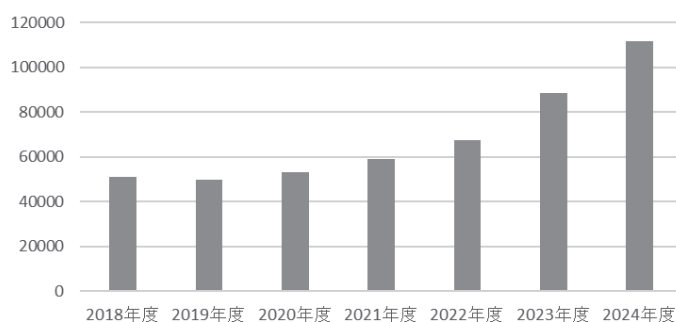


図2より前年度よりも5名の増員があったことで、総実施単位数の増加となった。また増員したことで患者一人あたりへの提供単位数を増やすことにも繋がっている。

#### 2) 時代にあった対応

土日祝日のリハビリテーション提供が推奨されている昨今。日曜日でも数名ではあるが出勤し途切れないリハビリテーションを提供出来る体制である。土曜日・祝日は平日に近い人数が出勤しリハビリテーションを提供している。

各病棟へ療法士を配置することが推奨されている。理学療法士と言語聴覚士は各フロアに配置する体制としている。フロア配置とすることで看護師やMSW含めた多職種との連携の円滑化を図った。一患者一人の療法士担当制ではあるが担当療法士が休みの日でも代行でリハビリテーション介入ができる体制とした。早期で且つ必要量提供出来る体制をとっている。

#### 3) 業務外活動

以下演者として参加。

- 第12回日本運動器理学療法学会学術大会
- 第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会
- 第31回心臓リハビリテーション学会
- 第58回日本作業療法学会
- 第48回日本高次脳機能学会学術総会
- 第69回日本音声言語医学会
- 日本特殊教育会第62回大会
- 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学術大会
- 第25回日本言語聴覚学会
- 第47回日本高次脳機能障害学会学術総会
- 第24回日本言語聴覚学会
- 第38回日本臨床栄養代謝学会学術集会

#### 4. 病院としての新たな取り組み

「むさとくりハップ」という名称で無償での地域の方へ向けた取り組みを2024年12月よりプロジェクト始動し、2025年3月より開始。活動の目的は【予防】と【健康意識の啓発】とし、提供内容は『講演』『測定会』『体操』である。毎月第3火曜日の午前中を実施日として療法士12名ほど配置している。実際に参加された方からは「自分の身体について知れた」や「丁寧な個別指導が良かった」などうれしいお声をいただいている。参加者の方には歩ける方、車椅子の方、盲導犬を連れている方など様々な方に参加いただいている。

#### 5. 自己点検と展望

スタッフ数は提供するリハビリテーションの質を大きく左右する因子となる。前年度目標としていた増員は順調に達成できており、退職者は前年度1名にとどまった。認定の有資格者や学術活動、論文執筆など院外活動も積極的であり、幅広い分野で質の高い療法士が多い環境である。この強みを活かして病院に来られる方々へはもちろんのこと、新たに始めた『むさとくりハップ』を中心に地域の方の生活を支える力にもなれるよう努めていく。

## Ⅰ．組織及び構成員

管理栄養士 11 名

調理師 4 名

調理補助 17 名

## 【資格認定などを受けている管理栄養士】

栄養治療専門療法士【周術期・救急集中治療】 1 名

NST 専門療法士 2 名

がん病態栄養専門管理栄養士 1 名

病態栄養専門（認定）管理栄養士 3 名

栄養経営士 1 名

人間ドック健診情報管理指導士 2 名

日本糖尿病療養指導士 1 名

保健指導士 1 名

## 【給食運営】

病院給食は直営である。

## Ⅱ．栄養管理室の理念・基本方針・目標

## 【理念】

患者様一人ひとりを尊重したサービスの提供と  
質の保証をする

## 【基本方針】

- ①患者様のニーズに対応したシステムを提供します
- ②栄養改善につながるサービスを提供します
- ③食事の安全性と質の向上に努めます
- ④チーム医療へ積極的に参画します

## 【目標】

最後の一口まで品質保証できる食事を提供しよう

## Ⅲ．特徴

患者食の提供においては、『食の安全性』を最重要課題としている。また、食事は治療の一環であるとともに患者サービスの一環でもある。これらを踏まえて、患者食の提供に努めている。当院は開院以来、クックチルとクックサーブを組み合わせた新調理システムで食事提供を行っている。（朝食のみクックチル、昼・夕食がクックサーブ）クックチルの方法も他病院に先がけ、料理を盛り付けた食器ごとスチームコンベクションオーブンでポーション加熱を行い、配膳カートは温冷配膳

車を使用する運用になっている。毎年実施している嗜好調査でも患者様から良い評判を頂いている。

病棟活動については、標準的な栄養スクリーニングを行い、栄養管理上問題のある患者を GLIM 評価している。また食事摂取不良患者に対する支援を展開している。患者支援のための食事としては、患者の要望に可能な限り添えるように、パン食や麺の対応、追加食品の補助を実施している。又、可能な限り絶食にならぬよう、多職種連携の基で栄養サポートを実施している。

## Ⅳ．活動内容・実績

## ＜フードサービス＞

## ①提供食数

|      | 2022 年度    | 2023 年度    | 2024 年度    |
|------|------------|------------|------------|
| 提供食数 | 219, 227 食 | 254, 668 食 | 267, 734 食 |

## ②特別治療食加算率（平均）の推移

|     | 2022 年度 | 2023 年度 | 2024 年度 |
|-----|---------|---------|---------|
| 特食率 | 43%     | 59%     | 55%     |

## ③サイクルメニューと行事食

基本的な献立は、サイクルメニューにて管理している。当院は 49 日サイクルである。時季の生果物を適宜提供したり、冷やし中華や七草粥など季節献立を盛り込んで食事で四季を感じられるように工夫を凝らした。また行事食は七夕、クリスマスや元旦のおせち料理など年 15 回を実施し、サイクルメニューに変化をつけられるように努めた。

## ④患者食の評価

入院患者を対象とした嗜好調査を年 2 回実施している。

2024 年 7 月に実施した嗜好調査では、満足度について、『満足・やや満足』90%、『普通』8.3%、『やや不満・不満』1.7%と満足度が増加した評価を得られた。

## ＜クリニカルサービス＞

## ①栄養管理計画書作成件数

|         | 2022 年度 | 2023 年度 | 2024 年度 |
|---------|---------|---------|---------|
| 計画書作成件数 | 7851 件  | 9137 件  | 7156 件  |

②栄養食事指導枠の設定

○個別栄養食事指導

外来：月～土曜日 8：30～17：00…2ブース  
(土曜は午前のみ対応)

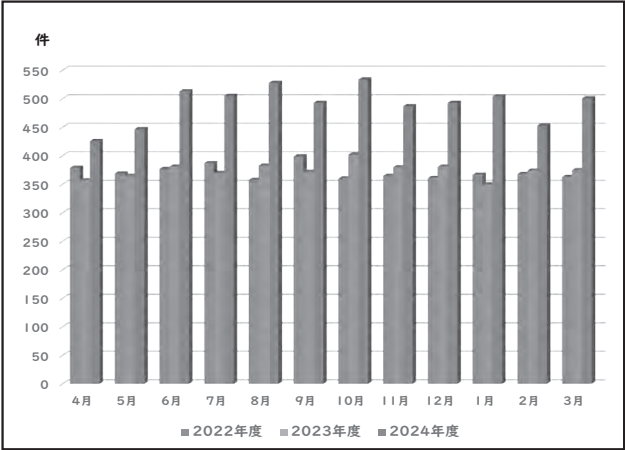
入院：365日……………ベットサイド

○特定保健指導・人間ドックでの栄養相談

③栄養食事指導件数の推移

|     | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|-----|--------|--------|--------|
| 総件数 | 4453件  | 4490件  | 5884件  |
| 月平均 | 371件   | 374件   | 490件   |

栄養食事指導件数の推移



④栄養サポートチーム

当院は、開院より栄養サポートチームの活動を行っている。なかなか加算要件を満たせない状況が続いていたが、2019年7月に算定基準を満たし、加算算定を開始した。

また2021年より歯科医師連携加算の算定も開始し、摂食嚥下に関する介入の強化も実施した。

2024年度の回診数は、49回実施し、延べ426名に対して介入を行った。

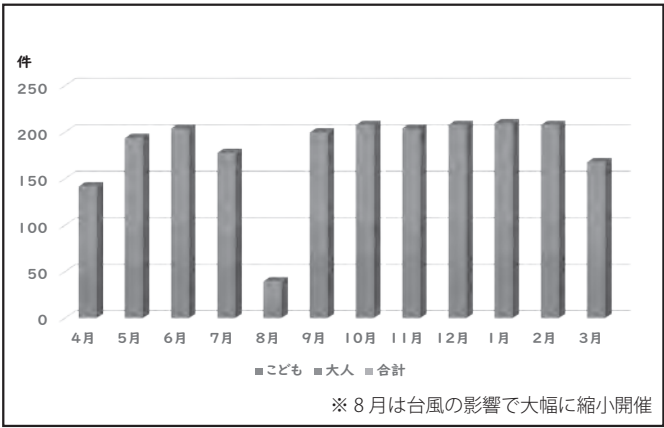
今後も入院患者の低栄養改善・充実した栄養サポートに向けて活動を継続していく。

⑤むさどくこども食堂

当院は2023年12月より月1回の頻度で院内でのこども食堂を開催している。対象は基本的に6～12歳のお子さんではあるが、同居する家族も受け入れている。利用者数は回数を重ねるごとに増え続け、1回での平均利用が100名前後となっており、好評を博している。2025年度については、西東京市近隣の農園とコラボし、地産地消

を意識しながら、こども達の好き嫌いを克服できるメニューを提供し、食育の観点をより重要視した運営をして参りたい。

利用者数 推移



【過去の開催リーフレット】



## V. 自己点検と評価、展望

フードサービスについては、嗜好調査から得られた患者評価によれば、患者食の質は維持・向上できたと考える。徳洲会グループとして統一食材を定め、スケールメリットを活かして良質な食材を安価で購入することが可能となった。2025年度は、より季節感を大切に献立を盛り込み、患者に喜ばれる食事提供を目指していきたい。またサービス面の強化としてパースデイスweetsのイベントを継続している。入院中に誕生日を迎える患者に対し、サプライズでスイーツを提供するものである。スイーツは食形態ごと数種類用意し、幅広い患者を対象としている。実際に提供があった患者からは好評の声をいただいている。採算性の面においては、提供食数が上昇傾向にあり、不要な絶食（経管栄養を中止や入院当初の不透明なNPO）を減らし、医師と連携を取りながら積極的な栄養サポートを実施していきたい。

クリニカルサービスにおいては、栄養食事指導件数を大幅に増加することができた。特に病棟利用率の上昇に伴い、入院患者の栄養食事指導件数増大に結びついている。2025年度は外来での糖尿病内科や腎臓内科の患者を中心に介入が出来るよう、医師とコミュニケーションをとりながらオーダーを受けられる環境を整えたいと考える。

病棟での活動も各主治医の患者カンファレンスに参加し、チーム医療での役割を果たすことが出来た。タイムリーに患者介入、栄養相談を実施できたと考える。ただし、退院後を見据えた栄養情報提供料の算定数が少ないことが課題であり、看護師やMSWと上手く情報共有を行い、更なる患者のための栄養管理を心がけていきたい。

またHCUでの早期栄養介入として、専任管理栄養士を配置し、高い水準での栄養評価・早期経腸栄養開始に寄与できた。

地域活動として、西東京市にあるこども食堂での栄養相談/栄養サポートを行った。こども達には、食育クイズを実施し、こどものうちから食事・栄養の重要性を発信してきた。またむさとくこども

も食堂も継続開催し、コンスタントに100名を超える利用者を集客出来ている。なかには、こども食堂を通じて初めて当院へ来院した、受診が必要な時にはむさとくにかかりたいとの声もお聞きしている。引き続き地域に根付いた病院であることの良いアピールとしていきたい。

2025年度は管理栄養士の病棟常駐を目指していき、絶食率の低下に寄与していきたいと考える。また医師・看護師等のタスクシフト・タスクシェアを推進し、よりチームで医療を展開できるように貢献したい。

入退院支援室においては、管理栄養士を常駐させ、入院前の栄養評価や食事環境を把握したうえでの栄養管理、手術に向けての栄養サポートを実践していきたいと考えている。

入院時には早期に患者のベッドサイドに出向き、少しでも入院に関する不安を解消して、安らげる食事提供、食環境を整えていきたい。

退院時には、入院時の食事療法を自宅療養中にも継続できるようにサポートし、必要に応じて外来受診される際に栄養相談できるように結び付けていきたい。

臨床試験センターでは、院内での臨床研究、臨床試験、治験、市販後調査等の実施にかかわる業務全般を行っています。

## 【人員配置】

2024年 3月～

臨床研究コーディネーター(CRC) 1名

2024年 7月～

派遣 CRC 1名

## 【業務実績】

事前調査：72 件

審査手続き：医の倫理審査委員会 26 件

徳洲会グループ共同倫理審査委員会  
2 件

臨床研究：2024 年 5 月～

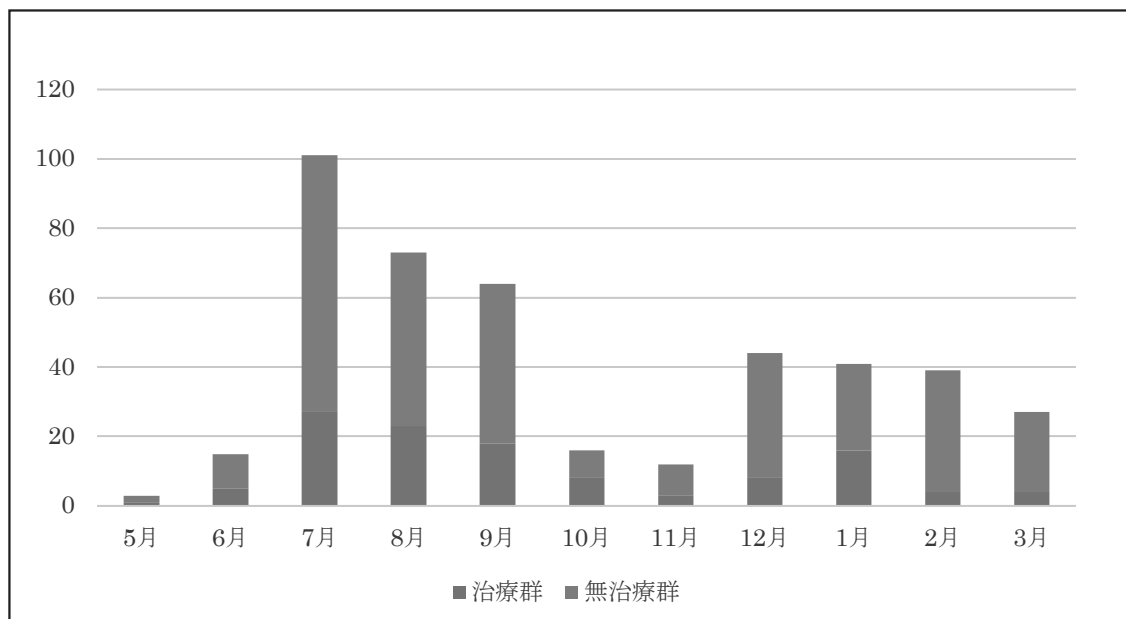
COVID-19 患者を対象とした前向き観察研究

登録例数：435 例

## 【業務内容】

1. 事前調査（実施可能性調査含む）
2. 審査手続き  
医の倫理審査委員会事務局（症例報告等での医療情報の利用申請を含む）  
徳洲会グループ共同倫理審査委員会、治験審査委員会への審査依頼窓口
3. 書類作成補助等、事務的業務
4. 院内各部署との調整
5. 実施補助全般
6. 研究問い合わせ窓口
7. 依頼者対応

## COVID-19 患者を対象とした前向き観察研究登録数



## 【2024 年度看護目標】

1. エビデンスに基づく看護実践・・看護の質向上・安心安全な看護実践ができる
2. ポートフォリオを活用したキャリア開発
3. 職場環境の問題解決に向けて取り組む
4. 診療報酬を理解し病院経営への積極的な参画する

## 【2024 年度 看護総括】

1. 看護の質向上・安心安全な看護実践ができる。  
褥瘡発生率や推定発生率を指標に見ているが、以前に比較すると浅い状態での発見が多く、早期発見・早期治癒につながった。また、在院日数短縮に向けて、DPC 期間や毎日の入退院調整を意識してベッドコントロールをすることが出来た。高齢者の誤嚥性肺炎や尿路感染症が多く退院調整に難渋したが、救急からの入院率を 60%維持し、在院日数 18 日から 15 日以内に短縮できた。  
身体的拘束低減に向けては、毎週のカンファレンスラウンドや医師からの指導を受け、身体的拘束低減率は 10%以内を維持することができた。  
診療看護師・特定行為看護師育成にも積極的に行い、看護の質の向上のための人材育成にも取り組んだ。次年度以降、積極的に活用を進めていく。また、看護管理者の育成にも取り組んでいく。
2. ポートフォリオを活用したキャリア開発  
ポートフォリオを活用した目標管理面接を定期的に行うことができた。
3. 職場環境の問題解決に向けて取り組む  
働き続けられる職場環境をつくるために、看護部全体で協力体制に取り組み、看護師・救急救命士・看護補助者・多職種とのタスク・

シフティングで柔軟な協働体制を強化することができた。

目標管理面接や業務改善など、様々な取り組みを行ったが、看護師の定着に繋がれず、離職率は 15%から 20.9%と昨年を上回る結果となった。

看護師確保については、合同就職説明会や学校訪問を積極的に行い、インターンシップ参加者からの入職希望者が増えてきている。ホームページや SNS を活用し、時代に合わせた看護師確保対策に取り組んでいる。次年度以降、更に有効的な看護師確保につなげていく。

4. 診療報酬を理解し病院経営への積極的な参画する

積極的に看護師確保を行い、7 月、入院基本料 1 へ類上げることが出来た。また、認知症ケア加算 2・夜間看護補助体制加算、16:1 看護職員夜間配置加算 1 を取得できた。全病棟において効果的な病床管理をめざし（病床利用率 95%）平均在院日数 15 日以内にする事が出来た。

救急からの受入れは前年度 4181 件から 4051 件と減少したが、救急からの入院は 2051 名から 2511 名、入院率は 62%となり、前年度より 12.9%増加することが出来た。

まだまだ沢山の課題はあるが、看護部一丸となり、取り組んでいきたい。

## 1. 概要

2022年6月1日より皮膚・排泄ケア認定看護師が褥瘡管理者として専従配置され、褥瘡管理業務を中心に院内を横断的に活動している。褥瘡管理業務として、院内の褥瘡発生状況の把握と発生要因に対する対策の検討・実施状況の確認、職員に対する知識・技術指導、必要物品の整備と使用状況の確認・評価などを行っている。重点的に褥瘡対策強化が必要な患者に対し、褥瘡ハイリスク患者ケア加算の算定を行っている。また、入院患者のストーマケア指導と退院後の継続支援、おむつ使用に関する院内研修等、創傷・オストミー・失禁ケアに関連したケア実践と職員指導に携わっている。NST（栄養サポートチーム）や排尿ケアチームとの連携強化、訪問看護ステーションと連携して地域の対象者に継続的な支援を行うなど、他部署と情報共有しながら対象者のQOL向上・維持ができるよう活動している。

## 2. 目標、評価

### 1) 褥瘡管理：褥瘡推定発生率2%以下、実質褥瘡発生率1%以下

当院の褥瘡発生率は徳洲会グループ内でも高い傾向にあったが、院内の体制整備を進め、改善がみられている。2024年度は褥瘡推定発生率2.29%（前年比▲0.66%）、実質褥瘡発生率1.06%（前年比▲0.05%）、褥瘡有病率7.92%（前年比▲2.46%）であった。院内での新規発生は91名（前年比▲2名）、発生部位は仙骨部、踵部が多く、院内発生率の41%を占めていた。発見時の深達度は浅い褥瘡が47%、深い褥瘡が7%、深達度不明の褥瘡が46%であった。入院時から褥瘡を保有していた患者は219名（前年比▲6名）で2024年度の新規保有者数の70%であり、原疾患への治療とともに褥瘡管理が必要な入院患者が少なくない状況である。また、入院時褥瘡保有者のうち、複数個所に重度褥瘡を保有していた患者は167名で、そのうちの17名は入院中に褥瘡の新規発生があり、通年で

各部署と連携を図り重度褥瘡の管理、重症化予防に努めた。院内教育として、年間通して褥瘡対策に関する院内での集合研修、褥瘡回診での創部評価と観察方法の指導、創部洗浄とオムツの使用方法に重点を置き研修を開催した。入院病棟においてリハビリテーション科とポジショニング評価・指導を継続し、職員教育を継続して保有している褥瘡の早期治癒と新規発生予防・早期発見ができるように努めた。エアマットの整備、確保をすすめ、ケア物品の見直しも行った。年度末には数値目標に近づけることができ、次年度はさらに改善できるよう取り組んでいきたい。

### 2) ストーマケア：質の高い継続的なセルフケア支援

当院では泌尿器科での回腸導管造設、消化器外科での消化管ストーマ造設に対し、術前のストーマサイトマーキングから退院後の継続支援まで皮膚・排泄ケア認定看護師が関わっている。病棟看護師と連携を取りながらセルフケア指導を進め、退院後は医師の診察に合わせてケア介入・指導を継続し、患者状況によっては訪問看護と連携を取りながら指導を継続している。2024年3月末時点で、外来通院患者13名に継続して介入している。一時的造設の方でも、閉鎖後の消化管機能障害がないかなど、外来受診時に経過確認で介入継続している。入院病棟看護師主体でのセルフケア指導の強化、ストーマケア外来（看護外来）の定期開催を進めていきたい。

### 3) システム整備：適切なリスクアセスメントからケア実践へつながる管理体制の強化

褥瘡対策マニュアルの活用、報告体制の見直し、画像取り込みシステムの活用を進め、各部署で褥瘡対策委員会を主体にケアの改善に努めていけるよう支援した。創部の画像を共有することで多職種が問題点を認識しやすくなり、創部の経過から管理方針の確認など連携を図りやすい環境が定着しつつある。さらに情報共有しやすい環境整備と対策ケアへつなげられるように啓蒙活動を続けていく。

## 【病棟概要】

病床数 55 床      平均患者数：51.4 人  
 平均在院日数：14.7 日  
 平均病床稼働率：97.7%  
 看護師数：25 人      看護補助者数：10 人

認知症ケア研修：2 名  
 おむつマイスタープロ：2 名  
 心臓リハビリテーション学会参加：2 名  
 心不全学会参加：2 名  
 循環器専門ナース：1 名

2A 病棟は循環器内科を主とした内科、耳鼻科の病棟あり、現在 55 床で稼働している。入院患者の主な疾患は、虚血性心疾患、慢性心疾患、肺炎、尿路感染などである。当病棟は CAG 室に隣接しており、カテーテル検査、治療を病棟看護師が兼務している。カテーテル件数の月平均は 20.8 件であった。また、同フロアに循環器外来、心臓リハビリテーションスペースを併設している。

## 【病棟目標】

1. 転倒転落事例の分析を行い、安全で信頼できる療養環境と看護の提供ができる
2. キャリア支援を行い、看護の質向上を図る
3. 多職種との協働を強化し、退院支援を促進する

## 【評価】

1. 転倒・転落発生件数は前年度までは至らないが件数は多く、急性期の治療を終了し、退院調整待ちの状態でも度々転倒する状況である。退院調整を進め、本来の急性期病棟の役割を果たせるように取り組んでいかなければならない。
2. 院内研修のリーダー I-A の研修参加はできている。それ以外の研修参加が極端に低いのが課題である。勤務表作成時には、研修参加を意識し

ているが、勤務交代によって参加できなくなっている傾向が目立っている。また、リーダーナース、カテナースともに育成に取り組んだが、スタッフの入れ替わりにより実践するのは困難であった。次年度は新たに循環器医師も着任されるためリーダーナース、カテナース共に育成に励んでいく。

3. リーダー看護師が元の施設へ退院する際の退院調整は行っており、その結果か平均在院日数 14.7 日（昨年度は 21.4 日）とかなりの短縮ができた。しかし、退院先が決まらず入院が長期化している患者も一定層おり、次年度は長期化している患者の退院支援を、MSW と相談し合い看護師からもアプローチをして進めていく必要がある。また、心不全患者の退院指導に関しては、看護師からできている時とできていない時がある。当病棟で心不全パンフレットやペースメーカー挿入時のパンフレットを作成しているため、スタッフの意識も高め活用していきたい。





### 【病棟紹介】

病床数：10床 平均患者数：9.6人

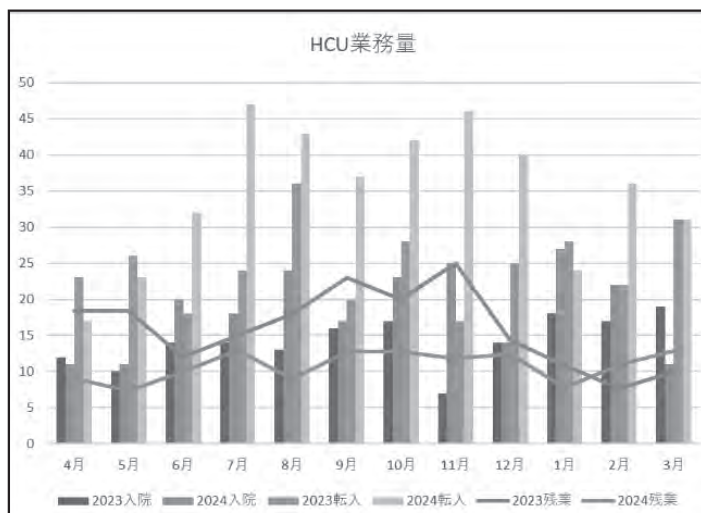
平均在院日数：6.0日

平均利用率：97.2%

平均病床稼働率：110%

### 【病棟概要】

2022年9月よりハイケアユニット（HCU）として稼働が開始された。すべての診療科で重症者の受け入れ、侵襲度の高い術後の受け入れを主に行っている。2023年度は10床の稼働を目指し運用が行われた。2024年度は内科、外科ともに多くの症例を受け入れることができ、利用率、稼働率ともに上昇している。



### 【病棟目標】

1. 患者を中心に安全を考えた看護実践が行える。
2. ワークライフバランスが取れ心身ともに健康に目標をもって働ける職場環境の構築
3. 自己研鑽・ブラッシュアップし自己を常に見つめなおし、看護の質の維持、向上ができる。

### 【評価】

1. 2023年度はアクシデントの発生が4件あり、スタッフの安全に対する意識や知識などを強化することが課題であった。204年度はアクシデント発生0件、インシデントレベル0の報告件数も増加し、重症管理をする上で安全管理考慮して療養環境を整えることができた。
2. 近年労働人口が減少している中で働けるスタッフの確保はとても重要となっている。スタッフが働きやすい環境は長く務めることができ、患者にも還元される。

2023年度は平均残業時間16時間であったが10.9時間まで削減することができ、スタッフの休息と労働の時間のバランスの確保ができた。また子育てや学業と両立しながら働けるスタッフも活躍することができた。

3. 研修参加は積極的にしてもらえよう、シフトを調整し、スタッフの興味関心にあわせて勉強会のアナウンスをすることにより外部の研修に参加することもできた。スペシャリストを目指し進学を希望するスタッフもでてきており、質の維持向上のため今後もスタッフの育成に努めたい。

## 1. 病棟概要

3B病棟は病床数42床の脳外科・乳腺外科・口腔外科がメインの外科病棟である。

2024年度より脳外科医が2名体制から4名体制になり、開頭術を行う患者様の受け入れも徐々に増加傾向にある。火曜・木曜は脳外科の当直も開始され、脳卒中Aの患者も対応可能になっている。また緊急手術も対応できる体制が整いつつある。

2025年度には乳腺外科医も1名増員されることから、乳腺外科の手術件数の増加、化学療法件数の増加が見込まれている。

## 2. 病棟目標

### ①患者さんの個別性に合わせた看護ができる

評価：日勤業務時看護師をペアで配置することでお互いを補い合い、患者の行動パターンの情報共有ができるようになった。

ウォーキングカンファレンスが定着してきたことで行動制限解除に向けたカンファレンスの実施が行えるようになりつつある。

### ②入院中のADL低下を防ぎ早期に退院ができる

評価：入院時のスクリーニング、退院支援カンファレンスを実施していることで多職種と情報共有ができるようになってきた。また必要なサービスを把握しご家族に適切な情報を提供することで早期退院、在院日数の短縮に繋がられている。

### ③働き続けられる職場

評価：超過勤務時間が10時間/月を超えているため、業務改善を行っていく必要がある。

また離職率：33.3%と高値になっている。

## 3. 業務実績

平均入院患者数：40.6名

病床稼働率：95.9%

平均在院日数：13.7日

身体行動制限実施率：11.2%

褥瘡新規発生率：1.2%

推定発生率：1.27%

超過勤務時間：12.45時間

## 4. 課題

2024年度入院基本料1を取得したことにより平均在院日数：16日以下、重症度医療看護必要度20%以上を目標に取り組んできた。平均在院日数はクリアできているが、重症度医療看護必要度は未達である。脳外科の術後患者はHCU管理が多くなっているが、早期に病棟転出できるよう、医師・HCUスタッフと連携を図っていく必要がある。

**【病棟概要】**

5 A病棟は50床の整形外科病棟であり、入院患者の多くは80歳以上の後期高齢者である。当院では骨折後48時間以内の手術を実施することで疼痛の緩和、寝たきり、要介護状態を防ぎ、ADL・QOLの維持向上に努める治療・看護が行われている。

病床利用率：93.8%

平均在院日数：13.5日

**【病棟目標】**

1. 早期退院に向けて入院時から退院後の生活を見据えた看護提供ができる
2. 一人ひとりのワークライフバランスが保たれ、心身ともに健康に働くことができる
3. 感謝・思いやりをもち接遇マナーを身につけ、患者とその家族が安心・安全に過ごせるように関わることができる

**【評価】**

1. 退院支援、調整へ看護師の意識は高まってきている。当病棟の特徴は緊急入院が多いことであるが、入院時に家族背景や今までの生活状況を聞き取ることから退院支援を開始し、週1回の多職種カンファレンスをはじめとして多職種で情報を共有し治療・看護にあたった。また、早期に患者が生活に戻るまでのイメージを家族とも共有し支援に結びつけるため、リハビリ見学を積極的に進めた。

課題として、実践能力は個人差があり、看護師個々が基盤となる知識の習得、実践の中で学びを深めていく必要がある。また、その実践が看護師の経験により大きく左右されず、一定の質を保ち提供されるよう、同時にシステム構築を進めていく。

2. 超過勤務時間は目標値を達成できなかった。チーム内でのサポート体制の強化を図っていくとともに、業務量・作業手順の見直しを行い、個々の負担軽減に努め、生き生きと働ける職場環境を構築していきたい。
3. 患者家族よりお褒めの言葉、お叱りの言葉もいただくことがあった。接遇・情報共有のあり方については日常から教育や指導の強化を行っていく中で質の向上を図っていきたい。

**【病棟紹介】**

病床数：46床

平均患者数：42名

平均在院日数：8.8日

平均病床稼働率：100.6%

アフターコール実施率：73.2件

看護師数：20名

看護補助者：4名

**【病棟の特徴】**

1. 当病棟は泌尿器科、外科、整形外科を中心とした外科系の混合病棟である。

入院患者の多くが壮年期にあり就労など社会的役割を大きく担う方が多いため、クリニカルパスを運用し、早期退院できるよう術後管理を含め退院指導など患者がスムーズに社会生活に戻れるよう日々の看護に努めています。

2. 病棟目標

- 1) 安心して医療・看護を受けてもらえる療養環境の提供
  - ・ 接遇意識の向上
  - ・ アフターコールの継続
  - ・ ウォーキングカンファレンスの活用
- 2) 働きやすい職場環境の構築
  - ・ 業務改善とタスクシフト

**【評価】**

1. 業務内の引継ぎが円滑のおこなえるよう、勤務帯の中でペアの看護師を作り患者の観察が途切れないように取り組んだ。

ウォーキングカンファレンスでも、環境整備や患者観察の充実を図るためにペアで実施しているがベッドサイドの環境等に変化が無く形骸化している面も伺える。

ペアの在り方を明確にして看護実践に繋げていけるようにしたい。

2. 看護補助者へのタスクシフトは大きな変化はなかった。入院時オリエンテーションの実施などを次年度は積極的に進めていきたい。

離職率は目標値より5%上回った。病棟会の定期開催を継続し、スタッフの意見を集めやすい環境を整えていきたい。

## 1. 病棟概要

6A 病棟は病床数 50 床、腎臓内科・消化器内科・総合内科がメインの内科病棟である。

入院患者の半数近くを腎臓内科の患者が占めており、重症化すると病棟内で CHDF 管理となることも多く、主治医との連携はもちろんのこと、透析看護師・臨床工学士等他職種との連携が必要となってくる。

また、緊急入院も積極的に受け入れているため、重症患者を受け持ちながら一般内科患者もみなければならない。そのため、幅広い知識とまわりを見る力も必要となってくる。

## 2. 病棟目標

### ①安心・安全で質の高い看護の提供

スタッフ間のコミュニケーションと看護実践を問い直すりフレクションを強化するため、週 1 回のケアカンファレンスを実践する。

評価 1：転倒転落による損傷発生率 10 件 / 年以下

転倒転落による損傷発生は 3 件であった。ウォーキングカンファレンス時の KYT と環境整備を徹底し、常時対策を検討し再発防止に努めた。

評価 2：身体行動制限実施率 20% 以下

身体拘束実施率は、4 月時点では 45% であったが、4.1% まで低減出来た。認知症ケア委員会が中心となり抑制カンファレンスを実施し、ウォーキングカンファレンスや朝礼・終礼を活用しスタッフ間で情報の共有が出来ていた。

評価 3：新規褥瘡発生率 1.18 以下

新規褥瘡発生率は 2.5%。透析患者の状態悪化に伴う CHDF 施行や ADL の低下があり、ポジショニングの難しさが原因で新規の褥瘡発生が多くみられた。

### ②退院支援を積極的に行ない、在院日数短縮を目

指す

- ・新規入院：85 名 / 月以上
- ・退院：85 名 / 月以上
- ・病床利用率：95% 以上

評価 1：平均在院日数 16 日以下

平均在院日数は、16.7 日であった。

長期入院患者の退院調整および緊急入院の受け入れを積極的に行なった。

評価 2：病床利用率 95%

2024 年度病床利用率 98.6%

緊急入院を積極的に受け入れることが出来た。

## 3. 業務実績

平均入院患者数：47.6 名

病床利用率：98.6%

身体行動制限実施率：4.1%

褥瘡新規発生率：2.24%

推定発生率：3.89%

超過勤務時間：14.8 時間

院外研修

認知症ケア研修：2 名

## 4. 課題

2024 年度から入院基本料 1 を取得し、平均在院日数 16 日以下、重症度医療看護必要度 30% 以上を目標として取り組む必要があるが、当病棟は重症度医療看護必要度が現状 12% 程度であり目標に達していない。内科病棟特有の疾患により、在院日数も長期となる傾向にある。他職種と連携し早期の退院支援介入と積極的な緊急入院の受け入れを行ない、病床利用率を上げていく。また、引き続き安全で安心な看護を提供していくために定期的にカンファレンスを実施し患者家族の求める医療を提供出来るよう努めていく必要がある。

当院の存在意義を理解し、地域に貢献できる看護の提供を行なっていく。

## I. 病棟概要

病床数 50 床の医療療養病棟である。(医療療養入院院基本料 1)

1 日平均患者数：49.9 人

患者割合：医療区分 2.3：98.9%

ADL 区分 3：64.3%

病床稼働率：100.23%

在院日数：162.5 日

看護師：14.1 名

補助者：14.5 名

## II. 病棟目標

### 1. 看護の質の向上

- 1) 褥瘡新新規発生率：1%以下
- 2) 身体行動抑制実施率：15%以下
- 3) インシデントレベル 3 b以上：3件 / 年以下

### 2. 看護職員満足度向上

- 1) 患者クレーム件数：5 件 / 年以下
- 2) 院外研修参加：5 名 / 年
- 3) ラダー研修参加率：60%以上

### 3. 働きやすい職場環境

- 1) 有給休暇取得率：80%以上
- 2) 超過勤務時間：10 時間 / 月以下

## III. 評価

### 1.1) 褥瘡新新規発生率：

4 月 5.0%→1 月 1.75% 月平均 2.7%

改善見られているが、目標達成は、出来なかった。現在、褥瘡委員を中心に活動しているが、スタッフ全員が褥瘡予防と改善に向けて意識し、ケアの方法の統一、継続できることを目指し来年度は取り組む。

### 2) 身体行動抑制実施率：

6 月 21.5%→1 月 9.6% 月平均 14.4% 目標達成出来た。

### 3) インシデントレベル 3 b以上は、3 件 / 年で、目標達成出来た。またレベル 0 も 93 件 / 年報告出来ていた。今後もインシデント報告後迅速にカンファレンスを行い情報共有

し再発防止に役立ていく。

2.1) 感染拡大による面会制限を行った際に、患者家族の個別性に合わせた対応が十分に出来ていなかったことでクレームにつながった。

2) 補助者：看護補助者標準研修 2 名、看護師：ベストプラクティス研修、認知症認定看護師受験、看護管理者研修 各 1 名

3) ラダーレベル I - b：15%、ラダーレベル II：13%、ラダーレベル III 22%

院内外とも研修の自主的な参加は、進んでいない。目標管理面談時にそれぞれに合った研修に 1 回 / 年は参加できるように決めていきたい。

3.1) 有給休暇取得率：72.5%

2) 平均超過勤務時間 12.8 時間 / 月  
年度途中退職者 0 名、3 月末退職者 3 名

## IV. 業務実績

今年度は、厚生労働省発行の「身体拘束ゼロ作戦推進会議」の資料を基に勉強会を行い身体拘束低減に向けて業務改善をおこなった。5 つの基本的ケア (①起きる②食べる③排泄する④清潔にする⑤活動する) を実行することにより、それまで身体拘束の軽減が目的となりがちであったが、看護師の意識が変化し、患者さんの生活の質、看護の質の向上につながった。

## V. 課題

人生の最終段階の患者さんが多数を占める病棟である。コロナ禍以降面会制限が続き、患者家族とのコミュニケーションが、取りにくい状態が続いている。それぞれの患者、家族の思いに寄り添った個別性のある看護実践が、おこなえるよう積極的な家族との関わりが必要である。

## 1. 概要

診療科／内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、神経内科、呼吸器内科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、血管外科、小児科、泌尿器科、婦人科、皮膚科、耳鼻咽喉科、口腔外科、呼吸器外科、麻酔科、救急科

外来看護師は、約 30 名でローテーションを組み上記診療科介助の他、中央処置室業務、内視鏡業務、救急外来業務、さらに、外来日帰り手術、外来化学療法も担当している。

昨年に引き続き、西東京市の要請にて、発熱外来、コロナワクチン接種対応もおこなった。

## 2. 目標と評価

- 目標
1. 患者様一人ひとりに寄り添った安全で安楽な質の高い看護の提供
  2. チーム医療のさらなる推進による、効率的で安全な外来診療の実現
  3. 職員の働きがいのある職場環境を作る

評価 ・一昨年来化学療法センターがオープン。現在、週 3 日で開いているが日帰り化学療法患者の増加に伴い、今後は日数を増やしていく予定である。外来化学療法ホットラインを導入しており、24 時間体制で対応を行い、身体的にも精神的にも安全で快適な治療環境を整えることが出来た。

- ・10 月より週 2 回、脳外科医師の夜勤が開始となり、脳卒中 A などの夜間対応も可能となった救急救命士も 5 名となり、看護師 2 名＋救命士 1 名の 3 名体制での夜勤を確立。救急搬送件数の増加・スムーズな受け入れを図った。救急搬送台数は昨年度より落ち込んだが、救急からの入院件数は格段に上昇した。来年度

はさらに救急救命士も増えていく予定であるため、今後も「断らない救急」の理念のもと、各個人のスキルアップも行いながらさらなる発展を目指し、救急搬送件数・救急からの入院件数のさらなる増加を図っていきたい。

- ・一般外来・救急外来ともに、看護師・救急救命士と多職種でタスクシフティングを行い待機時間の軽減、スムーズな診察・処置介助、入院受け入れなどをはかった。今後も日々業務の見直しを図り、より安全で安楽な質の高い看護が提供できるよう努めていく。また“選んでもらえる病院”となるよう、接遇スキルも上げていきたい。

## 3. 業務実績

- ・2024 年度 外来患者数 133900 人  
(前年度より + 3877 人 うち新患 12531 人)
- ・2024 年度 救急受け入れ件数 4051 件  
(前年度より - 130 件)  
うち入院患者数 2511 人 入院率 62% (前年度より +12.9%)
- ・外来化学療法患者数 480 人  
(前年度より +106 人)
- ・外来日帰り手術件数 4-6 人 / 週

### 1. 手術室・中央材料室概要

診療科は整形外科、消化器外科、泌尿器科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、乳腺外科、形成外科、婦人科、歯科口腔外科、心臓血管外科、消化器内科、麻酔科で2024年度は2669件の手術を行った。

スタッフは看護師17名、看護補助者3名であり、手術室・脳アンギオ室・中央材料室の3か所の業務対応をしている。現在稼働している手術室は4室だが、2025年度は2室増室予定で2024年度は、増室の為に準備を行った。

### 2. 目標・評価

#### 1) 安全、安心、円滑な手術医療を提供する

評価指標：インシデント報告件数600件  
インシデント報告件数、634件と目標値は達成できた。昨年度と引き続き中央材料室からの報告が半数以上占めている。インシデントの共有もミーティングや病棟会を通じタイムリーに行うようにしていた。

#### 2) 業務の効率化・スタッフ間の連携強化に努め、安定した手術の稼働を行う

評価指標：手術件数2600件  
月々でのばらつきはあるが、緊急手術に対応しスタッフ数の少ない時も連携を強化し手術に対応し、2669件／年に達した。

#### 3) 自己の成長を高め部署に反映する

評価指標：オンコール要員2名増員  
スタッフの他病院の応援、院内の病棟への応援のため2名減となったが、新たに1名はオンコールにつくことができた。

### 3. 業務実績

＜手術室稼働件数＞

2669件（2023年度2331件、2022年度1748件、2021年度1269件、2020件669件）

| 診療科    | 2024年度 | 2023年度 |
|--------|--------|--------|
| 整形外科   | 1121   | 1040   |
| 泌尿器科   | 665    | 547    |
| 消化器外科  | 306    | 220    |
| 形成外科   | 98     | 118    |
| 耳鼻咽喉科  | 82     | 72     |
| 脳神経外科  | 69     | 50     |
| 歯科口腔外科 | 264    | 157    |
| 乳腺外科   | 16     | 34     |
| 心臓血管外科 | 34     | 49     |
| 消化器内科  | 6      | 8      |
| 婦人科    | 7      |        |
| 麻酔科    | 1      | 3      |

## 1. 概要

登録患者数 91 名、ベッド数は 42 床、月・水・金は午前午後の 2 クール、火・木・土は午前 1 クールを基本としつつ、入院患者の一部を午後クールで対応した。

外来及び入院患者の血液透析（腹膜透析との併用含む）透析数は、前年度を維持できた。CE の業務拡大に合わせ時間単位で人員を配置した。日々担当患者を固定したこと、透析システムの切り替えにより情報共有がしやすくなったことで透析中の担当者変更による大きなトラブルはなかった。透析中の抜針事故は過去事例の振り返りから対策をとり前年度より減少、インシデントレベルⅡで抑えることが出来た。抜針事故は重大事故につながるので引き続き重点的に取り組んでいく。

## 2. 目標と評価

### ①臨床看護実践能力ラダーと、透析看護技術クリニカルラダー導入により実践力を上げる

透析室ではできない技術を他部署の協力で経験できる体制ができた。ラダー研修の参加率を上げて各ラダーに求められる役割について認識を深め、看護師の専門性について考え自己課題に取り組むことが出来た。

### ②ルーチンワーク徹底により安全な透析管理ができる

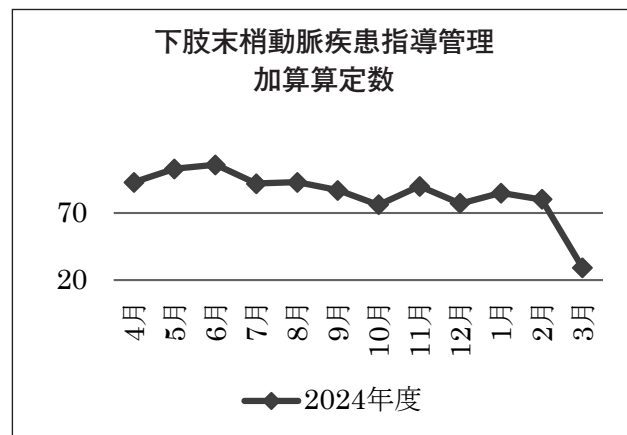
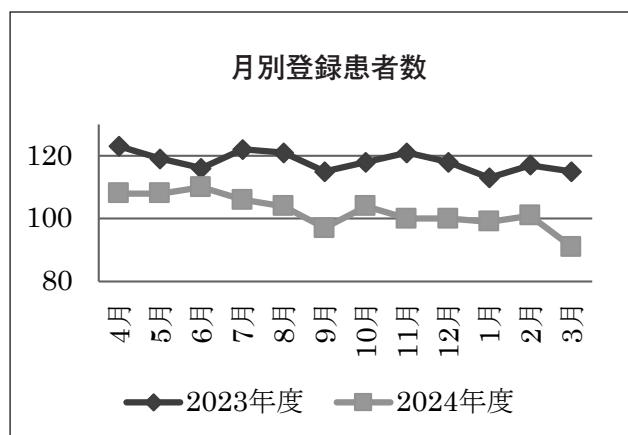
ルーチンワークについて日々の記録を中心に監査を行い、スタッフにルーチンワークの周知を行った。期間をあけるとルール逸脱してしまうため引き続き監査と声掛けは必要である。

### ③看護の質を上げて経営参画する

下肢末梢動脈疾患指導管理料の算定に向けた取り組みは定着しつつある。リスクが高いことをそれぞれの看護師が認識し、専門医へのコンサルトも行った。限られた人員と時間の中で適切なチェックができるような体制も作れた。次年度は、チェックだけではなくケア技術の向上に取り組む必要がある。

## 3. 業務実績

今年度登録患者数は、透析室の体制変更に伴い昨年度を下回った。看護の質向上による業務改善に引き続き取り組み現患者数を維持し、適切な加算取得で経営参画していく。



## 【業務内容】

職員の採用及び退職事務、昇給、昇格、休職、雇用契約事務、人事記録の整理保存、勤務記録に関すること、勤怠システムに関すること、給与計算・賞与計算、各規則の順守（就業規則、服務規律）、表彰・懲戒、福利厚生対応、委託業務の契約、委託業者の業務管理（清掃、シャトルバス、フロアコンシェルジュ）、各官庁への届出・報告、住民税の納付手続き、諸法令の遵守（労働基準法、健康保険法、雇用保険法、医療法）、寮管理、有給休暇

管理、職業保険手続き、労災手続き、ストレスチェック、マイナンバー制度に関する事務、職員の通勤に係る管理、本部申請及び報告に関すること、グループ間調整等に関すること、院内保育所運営、公用車管理運用、患者搬送、透析患者送迎、電話交換手勤務管理、郵便物の受発信に関すること、切手等の管理、診療体制の調整に関する業務、医師の会議・出張・研修に関する業務、医師・医局に関するサポート業務等、会議室の予約等。

## &lt; 2024 年度 &gt;

|      |                                                                   |
|------|-------------------------------------------------------------------|
| 4 月  | 入職式、オリエンテーション、消防訓練、職員健診                                           |
| 6 月  | むさとくフェスティバル、シニアお仕事フェア参加                                           |
| 7 月  | ストレスチェック                                                          |
| 8 月  | 職員採用手続き電子化（クラウドサイン）                                               |
| 9 月  | 職員満足度・安全文化調査、職員寮規契約（アリーナレジデンス 11 部屋）<br>職員寮解約（DARES TANASHI 6 部屋） |
| 10 月 | 厨房業務 一般社団徳洲会への委託から直接雇用に変更、消防訓練、患者満足度アンケート                         |
| 12 月 | 永年勤続表彰、年末調整、職員健診                                                  |
| 3 月  | 職員寮新規契約（cherim 東伏見 9 部屋）                                          |

## 【総務課職員】

## &lt; 2024 年度 &gt;

病院全体の職員数が600名（頭数）を超える人数に増加。

早乙女係長が、埼玉記念病院に異動。（2/28）

徳永課長が千葉西総合病院から着任。（3/1）

業務量増加に伴い1名の常勤職員の採用を計画していましたが採用できず、施設管理課から1名（西村）異動。（6/6）

H27年から透析送迎を行い、近年は駐輪場整備を行っていた藤井さんが退職。

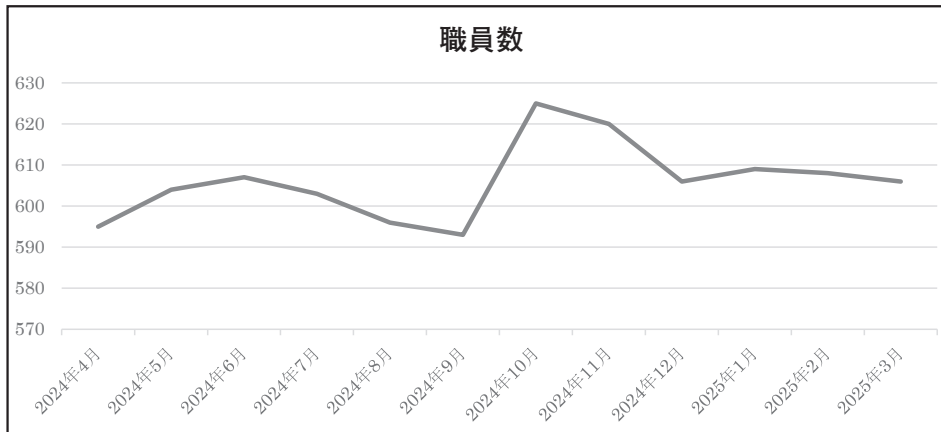
透析送迎運転手が1名（飯野）退職に伴い1名（室岡）を採用。

電話交換手が2名（桑原、石寺）退職、育休から1名（井口）復帰。

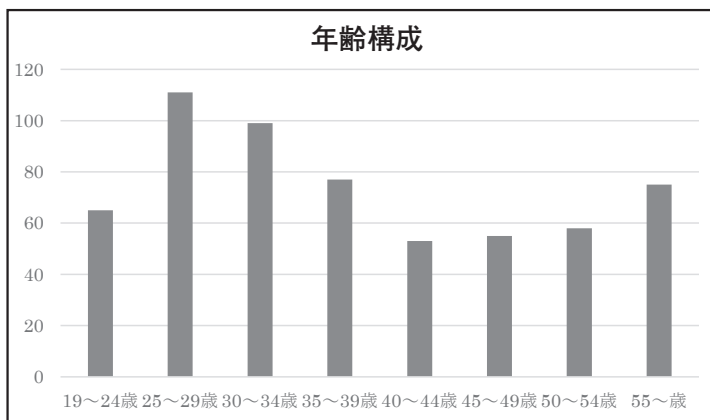
2025/3/31 現在

|            |      |
|------------|------|
| 事務（常勤）     | 7 名  |
| 医局秘書（常勤）   | 2 名  |
| 電話交換手（非常勤） | 5 名  |
| 運転手（非常勤）   | 6 名  |
| 内視鏡洗浄（非常勤） | 1 名  |
| 計          | 21 名 |

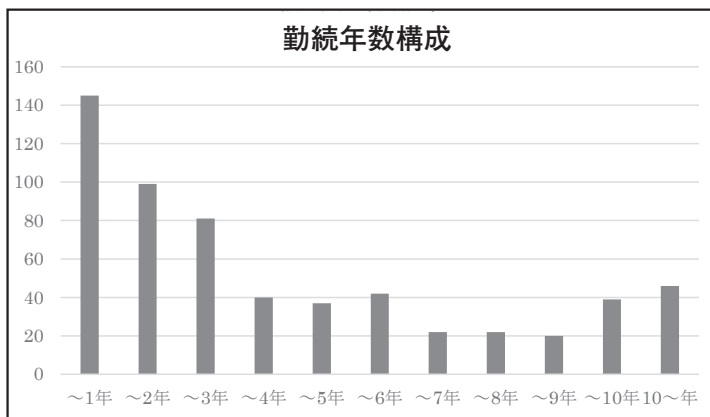
### 【病院全体職員数推移】



### 【職員年齢構成】



### 【職員勤続年数構成（グループ入職基準）】





### 医事課スタッフ構成

統括 大村課長補佐

入院係 保主任、櫻井副主任、丹保副主任、清野、  
神原、角田、志佳摩、西俣

外来係 福田主任、阿部聡美副主任、  
阿部祐副主任、川岸副主任、  
和田副主任  
日下部、福山、船木、谷口  
計 21 名

### 医事課の一日の流れ

▶ 7:30 早出 窓口準備

▶ 午前 外来受付・会計

入退院窓口対応 電話対応

▶ 11:30～13:30 お昼休憩交代

▶ 午後 外来受付・会計 入退院窓口対応  
電話対応 各担当業務

▶ 17:00 夕診受付

▶ 20:00～翌朝 準・深夜勤 時間外受付  
会計 病院日誌作成

### 月末月初の保険請求業務

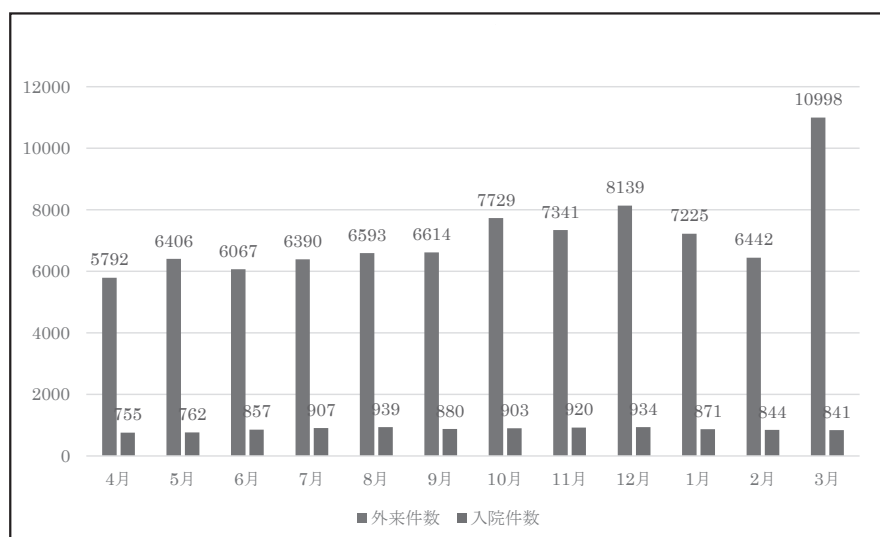
▶ レセプト業務（月末～月初）毎月10日締め切り

▶ 患者さんの医療費窓口負担

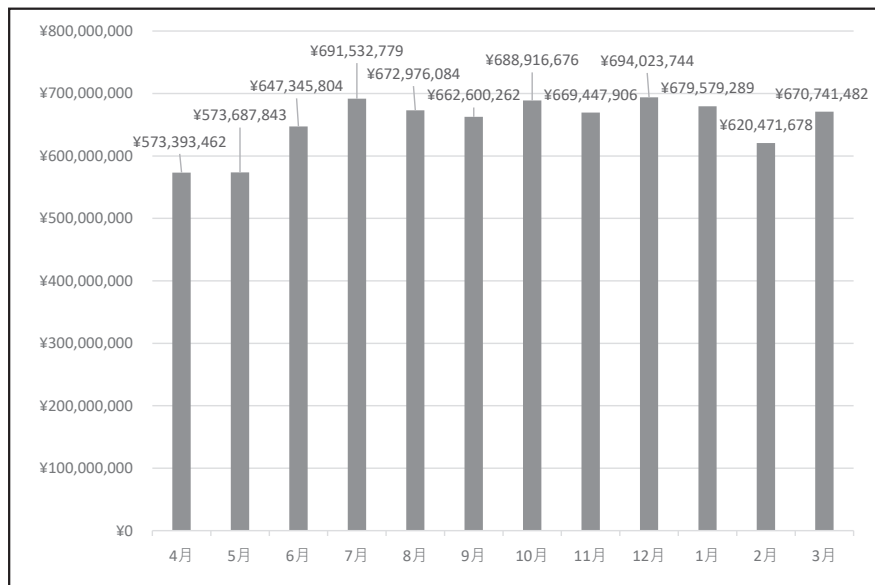
▶ 残りの医療費をレセプトにて請求

▶ 診療行為が正しく請求されているかを点検

### 2024 年度レセプト請求件数



2024 年度レセプト請求金額



開院 10 年目となり、新しいメンバーも迎え、役職者中心に業務を行ってまいりました。

日々多種多様な業務に追われる中、親切丁寧な接遇を行い、会計やレセプト業務をミス無く適切に行うように努めてきました。

医事課は病院経営を担う部署であり病院の顔であることを意識し、1 人 1 人が医事課職員としての役割を理解し努めていかなければなりません。

「かかりつけ病院」として地域の皆様の期待に応えられるよう医事課職員として引き続き仕事に取り組んで参ります。

医師事務作業補助者とは、医師が行う業務のうち事務的な部分をサポートし、医師の業務負担を軽減するために制定された職種です。その呼称は病院によって様々ですが、当院では「医師事務」や「メディカルクラーク（通称：MC）」と呼ばれています。

### 主な業務内容

- ①「外来診察補助」（外来全般での業務：問診、診療録代行入力・診療予約代行・検査案内・診察順序のコーディネートなど）
- ②「病棟回診補助」
- ③「医療文書の作成代行」（診断書、診療情報提供書、退院サマリの修正など）  
※業務範囲は全て「医師の承認の元に行う事務作業」です。
- ④診察予約代行（電話対応含む）

### 取り組み

#### ①「外来担当と文書（入院）担当の配置」

文書件数・外来患者様数増加し、並行して業務をすることが難しくなりました。文書作成で残業過多となったため、改善が必要になりました。担当制としたことでそれぞれ業務効率化に繋がっていると考えます。

#### ②外科外来・内科外来「OJT」推進

シフトでのある程度の配置固定化を行い、「全てのスタッフができる」ことを目指し、経験の浅いスタッフに対する OJT を開始しました。先輩から後輩へ伝える事により、教える側にも新たな学びがあったとの報告があり、相互教育の場となっています。

今後、他の配置でも問題なくできるようローテーションを考えています。

### 医師事務ミーティング

基本的には全員参加で月に 1 度、医師事務ミーティングを開始しました。毎日の昼礼と併せて行い、情報共有・意見交換・スタッフ間のコミュニケーションを円滑に行えるように取り組みを始めました。

### 総括・展望など

医師事務作業補助者は、患者様・医師の間をつなぐハブのような役割も担っています。経験年数が 3 年以下のスタッフが多いため、2025 年度以降は今まで以上にスタッフの教育と増員が重要になります。現在の在籍数が 18 人と昨年より人数は増えましたが、今後も人員確保に努めつつ、全職員スキルアップに努めてまいります。

まずは業務の要である医師の事務作業の負担軽減を考え、実行することで、よりよい患者サービス、病院への貢献につなげます。

### 人員構成

職員 17 名

（内訳）

内科外来問診補助 4 名

循環器・術前麻酔科・禁煙外来問診補助 1 名

外科外来問診補助 4 名

小児科外来問診補助 2 名

歯科口腔外科外来問診補助 1 名

病棟医師支援（整形外科のみ）1 名

患者様お問い合わせ・診察予約代行（電話対応含）2 名

文書担当 2 名

（外来の混雑状況により配置人数調整している）

### 今後の課題

- ①本来の医師事務作業補助者としての業務を行うため窓口業務を減らし各担当医師への診察補助ができるような環境整備を行う。
- ②文書担当を行いながら入院担当の業務拡充を目指す。

当部署では日々の診療で増え続けるカルテを整理、分類したり、診療内容を精査してデータ化したりするなど、診療に係わる情報を取り扱っています。また、昨今の世の中では、医療訴訟、交通事故等による個人間の裁判なども増えていることから、診療録が更に重要視されるようになってきており、医療機関として適切な記録が残されているかをチェックすることも大きな役割の一つと考え日々業務に当たっております。

2024年度は特に各科診療科医師や、病院幹部からのデータ抽出依頼が増え、診療情報管理に加え、情報処理を行う機会をたくさんいただくことができました。どのデータベースからどのような情報が抽出できるのかを把握をして、正しいデータを提出できるよう、これからも勉強を続けながら貢献していきたいと思っております。

年間の退院数は2022年度3921人、2023年度5141人、2024年度6009人と、年々増加していきます。診療録管理体制加算では年間退院数が6000名を超えると管理士4名の配置が必要とされていますが、現在は診療情報管理士3名がフル稼働で日々の診療情報の管理を行っています。退院患者全ての診療録と実施記録を見比べて、必要とされる同意書や記録の有無を1件ずつ確認し（量的点検）、診療行為に伴う記載内容の整合性がとれているか、第三者が閲覧して理解できる内容であるかなどを確認する（質的点検）事を行っています。現在はその結果を、診療情報管理委員会で報告し、改善に繋げられる働きかけを行っています。

カルテ開示に関しては、2022年度22件から2023年度37件と1年で15件増加しましたが、2024年度は24件と例年通りの件数に戻りました。内訳としては、患者本人や家族、裁判所、弁護士等偏りなく依頼があり、特に患者本人や家族からの依頼に関しては、患者数が増えているにも関わらず、依頼件数が増加していないことから、入院・通院中に説明と同意がきちんと取り交わされており、患者側と医療者側との認識の相違

が少ない事が反映されていると分析されます。

がん登録に関しては、2022年度280件に対し、2023年度は366件2024年と130%増という結果になっていましたが、2024年度は371件と大きな変動はありませんでした。現在まで、病理検査結果を主にケースファインディングを行っていましたが、今後は画像所見、紹介状内容、化学療法情報などからも対象者を抽出し、がん登録の件数を増やしていく予定です。

また、「重大所見の情報不伝達による治療遅れ」をなくすべく、がん登録した患者様の現在の治療状況なども、引き続き確認を行って参ります。

スタッフの皆さんが安心・安全に診療に携われるよう、今後も知識と経験を積み重ね、診療情報管理の面からサポートができるよう精進して参ります。

#### 【人員配置】

2022年度年間退院患者総数：3921名

診療情報管理士2名配置（専従）

2023年度年間退院患者総数：5141名

診療情報管理士3名配置（専従）

2024年度年間退院患者総数：6009名

診療情報管理士3名配置（専従）

#### 【業務内容】

1. 入退院情報の入力、病名コーディング
2. 死亡・病名コーディング・手術情報登録
3. 診療録、退院サマリー、手術記録の記載管理：質的点検
4. 診療記録（真正性）のチェック：量的点検
5. 退院時カルテ（情報ファイル）の処理・点検・保管  
ターミナルデジット方式（下2桁のID番号管理）
6. カルテ開示の窓口
7. 全国がん登録業務
8. 統計業務（サマリー統計、疾病統計、手術統計、死亡統計、入退院経路統計 等）

## カルテ開示件数

| 開示請求者             | 2015<br>年度 | 2016<br>年度 | 2017<br>年度 | 2018<br>年度 | 2019<br>年度 | 2020<br>年度 | 2021<br>年度 | 2022<br>年度 | 2023<br>年度 | 2024<br>年度 |
|-------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 本人                | 0          | 1          | 2          | 3          | 2          | 3          | 2          | 3          | 6          | 3          |
| 家族                | 3          | 2          | 3          | 4          | 5          | 2          | 3          | 3          | 8          | 3          |
| 裁判所               | 1          | 0          | 2          | 4          | 1          | 2          | 7          | 0          | 4          | 3          |
| 弁護士               | 0          | 1          | 3          | 2          | 2          | 5          | 7          | 3          | 2          | 4          |
| 労働基準監督署           | 0          | 1          | 0          | 1          | 2          | 1          | 2          | 1          | 6          | 2          |
| 保険会社              | 1          | 0          | 1          | 1          | 0          | 1          | 0          | 4          | 0          | 2          |
| 警察署               | 0          | 0          | 1          | 0          | 1          | 1          | 4          | 5          | 3          | 2          |
| その他※本部提出・<br>院外持出 | 0          | 0          | 1          | 0          | 0          | 3          | 0          | 3          | 8          | 5          |
| 計                 | 5          | 5          | 13         | 15         | 13         | 18         | 25         | 22         | 37         | 24         |

## 院内がん登録 / 全国がん登録

|          | 2015<br>年度 | 2016<br>年度 | 2017<br>年度 | 2018<br>年度 | 2019<br>年度 | 2020<br>年度 | 2021<br>年度 | 2022<br>年度 | 2023<br>年度 | 2024<br>年度 |
|----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 全国がん登録件数 | 72         | 104        | 91         | 153        | 152        | 112        | 221        | 280        | 366        | 371        |

当部署は院内の電子カルテシステム、部門システム、サーバー、院内ネットワークの管理と保守を担当しています。

具体的にまとめると以下のような業務内容になります。

### ①電子カルテシステムの設定、保守

システムが正常に利用できるように日々の動作確認を行っております。

トラブルや障害が発生した場合には迅速に対応、スムーズにシステムが利用できる環境を整えることを目指しております。

また電子カルテ環境、部門システム等がより使いやすくなるように各種マスタの整備、設定の変更作業、プログラムの入れ替え作業を行っております。

### ②病院内のネットワークと通信機器の管理

ルータ、ファイアウォールなどの構築、保守を担当し、ネットワークの安定、セキュリティの確保に努めております。

職員のセキュリティ向上のため、動画の研修やグループワークなどでセキュリティに対する知識を深めてもらうようにしております。

今年度も院内の業務が滞りなく遂行できるためにも、安全かつスピーディに行動を心掛け、ネットワークの安定と電子カルテの正常な運用に向けて邁進して参ります。

### ③サーバーの管理

電子カルテ、部門システムを含むサーバーを情報システム管理サーバー室では日々、サーバー監視を行っており障害発生時に迅速に復旧出来るように心がけております。

### 【人員配置】

システムエンジニア 3 名配置

### 【業務内容】

1. 電子カルテシステム、部門システムの管理と運用
2. ネットワーク監視、管理
3. 電子カルテサーバー、部門システムサーバーの監視、管理
4. ユーザーサポート
5. セキュリティ管理
6. システム導入・サーバリプレイス等のプロジェクト管理
7. 電子カルテマスタ、部門システムマスタ変更、管理
8. 院内電子カルテ端末、インターネット端末管理

### 【勤務実績】

1. セキュリティ研修の実施
2. 中途入職者への電子カルテシステムやセキュリティ講習実施
3. 電子カルテサーバー更新作業
4. 透析サーバー更新作業
5. 薬局サーバー更新作業
6. 感染管理アプリ導入作業
7. PACS システム更新作業
8. オンライン予約システム導入作業
9. 手術室増設に伴う麻酔器連携作業

地域医療連携室は、患者様にシームレスかつ円滑な医療を提供できるよう、地域の医療機関、各種施設・機関など、患者様とこれらをつなぐ役割を担っています。

## 2024 年度の人員体制

- 事務員 2 名

## 主な業務

- 医師会および他の医療機関との連携（受診及び入院相談 / 転院 / 診療情報提供依頼など）
- 紹介患者に関する事務全般（紹介状管理 / 返書郵送など）
- 患者相談窓口
- 地域の医療機関・介護施設などへの訪問
- 医療講演を含む地域とのかかわり（行政 / 自治会など）
- その他

## ■患者様の紹介受入・逆紹介

地域の医療機関・介護施設からのお問い合わせ・相談・ご連絡の窓口として対応しています。

2024 年度

紹介総件数：6,949 件

逆紹介総件数：5,040 件

## ■患者相談窓口

相談の受付窓口を地域医療連携室で対応し、相談内容によって該当部署・担当者が対応を行っています。

対応時間

月～金曜日 9：00～17：00

土曜日 9：00～12：00

※日・祝は休み

## 相談内容および担当者

- 退院後の生活、医療費の助成、施設入所、療養に関すること ⇒ 医療相談室
- 支払い、個人情報に関すること ⇒ 医事課
- カルテ開示等に関すること ⇒ 診療情報管理室
- 他の医療機関（新規）の紹介、受診相談等に関すること ⇒ 地域医療連携室
- 外来に関すること ⇒ 外来管理責任者
- 入院に関すること ⇒ 各病棟管理責任者
- 医療安全に関すること ⇒ 医療安全管理室
- 感染対策に関すること ⇒ 感染管理室

## ■公開医療講座

当院では、医療に対する正しい知識と理解を深めて頂くため、地域の皆様を対象とした公開医療講座を行なっています。

- 2024 年度は、23 講座実施
- 2024 年度の地域団体・企業からの依頼による出張医療講座：17 件

## ■南部地域ネットワーク

地域住民とのかかわりとして2ヶ月に1回交流会に参加しています。

情報交換やイベントの共有をおこなっています。

## ■地域への訪問

地域とのネットワークを構築するために各所へ訪問をおこなっています。

- 医療機関 714 件
- 消防署 38 件
- 企業団体 24 件

医療相談室は、お困り事のある患者さんやご家族等のご相談をお受けします。その上で、問題や課題を整理し、適切な社会資源の活用につながるお手伝いをしています。

## 2024 年度の人員体制

- 医療ソーシャルワーカー 5 名
- 退院支援看護師 1 名

## 主な業務

- 医療ソーシャルワーカー介入による入退院調整・支援および受診相談
- 入院中の患者様に関する他の医療機関との連携（受診予約／転院／診療情報提供依頼など）
- 患者相談窓口（地域医療連携室と連携）

## ■退院調整・支援

介護負担、医療的ケア、経済的問題、家族背景…等々、様々な課題を抱えた患者様・ご家族へ、医療ソーシャルワーカーが介入し、医療・ケア・福祉の視点を用いて、安心して地域生活へ戻る支援をおこなっています。

## ■西東京市医師会・西東京市在宅療養後方支援病床確保事業への参画

この事業は、かかりつけ医を通じて「ご本人の体調が変化したとき」「お世話をしてくれるご家族の急な用事」などのいざというときに、市内の受け入れ病院（後方支援病院）に確保してあるベッドに速やかに入院できるものです（文：西東京市ホームページより抜粋）。当院では、2016 年 10 月よりこの事業に参画しています。

2024 年度受入件数：5 件

## ■西東京市地域包括ケアシステム推進協議会病院・在宅連携部会への参画

西東京市からの委託を受け、この事業の部会員として医療ソーシャルワーカーが参画しています。

## ■西東京市地域包括ケアシステム推進協議会連携のしくみづくり部会による『病院・在宅研修』への協力

西東京市からの依頼を受け、『病院・在宅研修』およびその報告会を協働で開催しました。この研修は、`病院側は利用者の生活を知る、`在宅側は病院のしくみを知る、ことを目的としたもので、病院・在宅間の相互研修およびその報告会を、毎年西東京市内の各病院が輪番で開催しています。研修開催における企画や調整をソーシャルワーカーがおこないました。

## ■実習生の受け入れ

社会福祉士の受験資格に必要な『ソーシャルワーク実習』の実習生（社会福祉系大学 3 年生）を 1 名受け入れました。

## ■患者相談

相談の受付は地域医療連携室が窓口となり、相談内容によって医療相談室も対応しています。

## ■基本理念

人間ドック・健康診断により疾病を早期に発見し、生活習慣病の予防、健康維持・増進を図ることを目的としている。

## ■業務内容

人間ドック、健康診断（特定健診含む）巡回健診、西東京市健康事業、各種企業健診・ドック、出張インフルエンザワクチン接種、コロナワクチン接種、医師による結果説明、保健師による特定保健指導、管理栄養士による栄養相談等。

## ■特徴

- 受診者の健康維持・管理の啓発と予防医療の推進を目指し、健診業務を実施している。
- 巡回健診や西東京市健康事業を通して、地域の健康管理のサポートを行っている。
- 病院併設型の健診センターである利点を生かし、外来・放射線科・検査科等との連携を図っている。これによりスムーズな医療の提供へと結びつけることができる。
- オプション検査も豊富なため、目的に応じて自由に選択可能である。

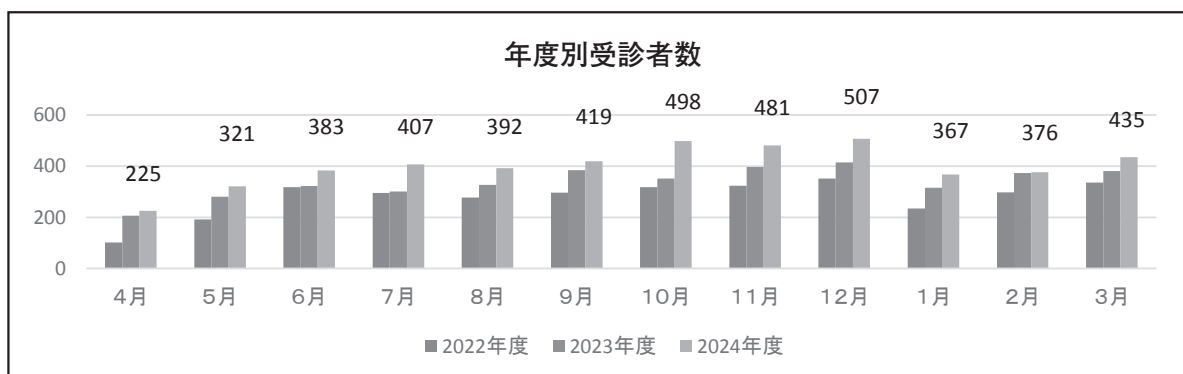
## ■年間事業

|        |                                  |
|--------|----------------------------------|
| 4～3月   | 人間ドック・健康診断・特定健康診査・保健指導・コロナワクチン接種 |
| 6～2月   | 西東京市健康事業 子宮がん検診                  |
| 6～3月   | 西東京市健康事業 乳がん検診                   |
| 7～12月  | 西東京市健康事業 特定健康診査・後期高齢者健康診査        |
| 10～12月 | 出張インフルエンザワクチン予防接種                |

## ■業務実績人間／ドック受診者比較（2024年度）

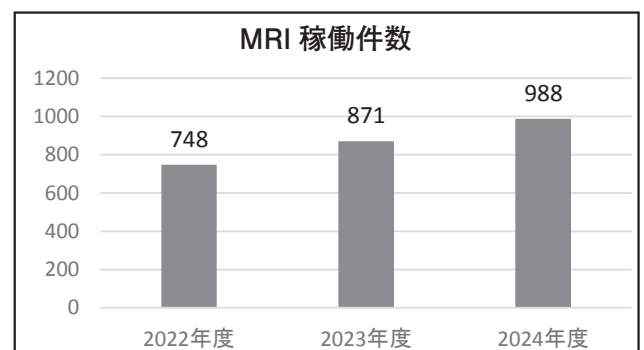
今年度の人間ドック受診者数は4,811人。2023年度の4,054人から比較し、118.7%と増加

している。閑散期の4月の人間ドック受診者数も2023年度と比較して109.2%と増加している。



## ■MRI稼働件数

MRI稼働件数は2022年度748件、2023年度871件、2024年度988件と増加している。脳検査の需要の高まりを反映していると考えられる。当センターでも2025年度より、新たな認知機能検査を導入予定としている。地域の健康増進に役立てる健康管理センターを目指し、需要に応じた新検査の導入を行っていく。



人 員：2 名

**概 要：**当資材課は、院内で使用するあらゆる物品の流通に関わる位置にあり、各部署への物品の安定供給及びコスト削減・使用物品の標準化を目標に日々業務を行っています。また医療機器の購入、保守契約、委託業者契約などの業務も行っています。

業者との取引額は年間 8 億円を超えており、日々、コスト削減を意識しながら仕事に取り組んでおります。

#### 1. 物流管理

医療材料（約 15000 品目）、発注から払い出し業務全般。診療科別消費実績、各部署単位での消費実績、定数管理での運用、購入実績からの薬剤集計、消費実績からの薬剤集計、滅菌期限管理業務。棚卸後の定数見直しや変更業務。これらは主に材料管理システム ZAITIS で管理しています。

#### 2. 一般消耗品の発注管理

一般消耗品の発注、払い出し全般、価格交渉

#### 3. CAG 室、内視鏡室にて使用する高額医療材料の委託管理。持ち込み材料の使用確認。

#### 4. 医療機器の購入

新規プロジェクトや新しい医師及び診療科に特化した医療機器の選定・購入・保守契約。現在医療備品は院内に 3000 品以上あり、これらを固定資産管理システム CONVI BASE で管理しています。

#### 5. その他

医療廃棄物・産業廃棄物・一般廃棄物の管理、医療酸素管理、院内電話（外線、PHS）の管理などを行っています。

#### 今年度の取り組み・実績

1. 徳洲会本部が推奨する医療材料への切り替え
2. 一般消耗品、医療材料の価格交渉
3. 各部署の在庫削減
4. 長期医療在庫の見直し
5. 委託業者の契約単価の見直し
6. 新設部署、病床追加における資材課としての迅速な対応

**業務体制**

- 職員 2 名 他 委託業者 11 名

**概要**

施設管理課では患者様が快適な環境の中で心地よく診察が受けられること。また医師、看護師、すべてのスタッフがスムーズに仕事ができるよう、安心安全な設備の安定供給に努めています。

当防災センターには、防災センター要員の研修を受けた警備員を 365 日 24 時間配置するとともに、院内設備の修理・修繕を担当する設備員も常時勤務しています。

**業務内容**

- 医療ガス設備、電気設備、空調設備、給排水設備、ボイラー施設等の維持管理
- 建物の修繕、各病棟備品の修繕
- 各設備の法令に基づいた点検設備、日常点検

**点検・整備内容**

- 受水槽清掃（年 1 回）
- 専用水道検査（年 1 回）
- 雑用水槽清掃（年 1 回）
- 汚水・雑排水層清掃（年 3 回）
- 医療ガス定期点検（CE 年 1 回、アウトレット 年 2 回）
- 第一種圧力容器性能検査（年 1 回）
- 冷却塔レジオネラ属菌検査（年 2 回）
- ばい煙測定（年 2 回）
- クリーンルーム洗浄度測定（年 1 回）
- 空気環境測定（年 1 回）
- フロンガス漏洩測定（3 年／1 回）
- 防火対象物点検（年 1 回）
- 防災管理点検（年 1 回）
- 特定建築物定期点検（3 年／1 回）
- 建築設備定期点検（年 1 回）
- 防火設備定期点検（年 1 回）

**保守管理**

- 電気設備保守管理
- エレベーター保守管理
- 消防設備保守点検
- ボイラー保守管理
- 冷温水機保守管理
- 給排水処理設備保守管理
- 自動ドア保守管理
- 非常用発電機保守管理
- CGS 保守管理

**目標**

1. 水道、光熱費の削減
2. 患者様、スタッフの環境整備
3. 災害時の危機管理のノウハウの構築

**2024 年の取り組み・実績**

- 院内の電気・ガス・水道のライフラインの安定供給
- スタッフの事故や怪我ゼロの継続

1. 概要

- 2018 年 12 月

武蔵野徳洲会訪問看護ステーション開設  
訪問看護ステーションの指定取得  
24 時間対応体制加算  
特別管理加算  
精神科訪問看護基本療養費
- 2020 年 1 月

介護保険加算取得  
定期巡回・随時対応型サービス連携
- 2021 年 8 月

医療保険加算取得  
精神科重症患者支援管理連携加算  
精神科複数回訪問加算
- 2023 年 5 月

介護保険加算取得  
看護体制強化加算、サービス提供体制強化加算

病気や障害があり、在宅で療養されている方々が住み慣れた地域やご家庭で、その人らしく療養生活が送れるように、かかりつけの医師の指示のもと他職種と連携をとり、看護師等がご自宅へ訪問し、健康管理から療養上のお世話や診療の補助を行います。またご家族の介護相談や支援も行います。

2. サービス内容

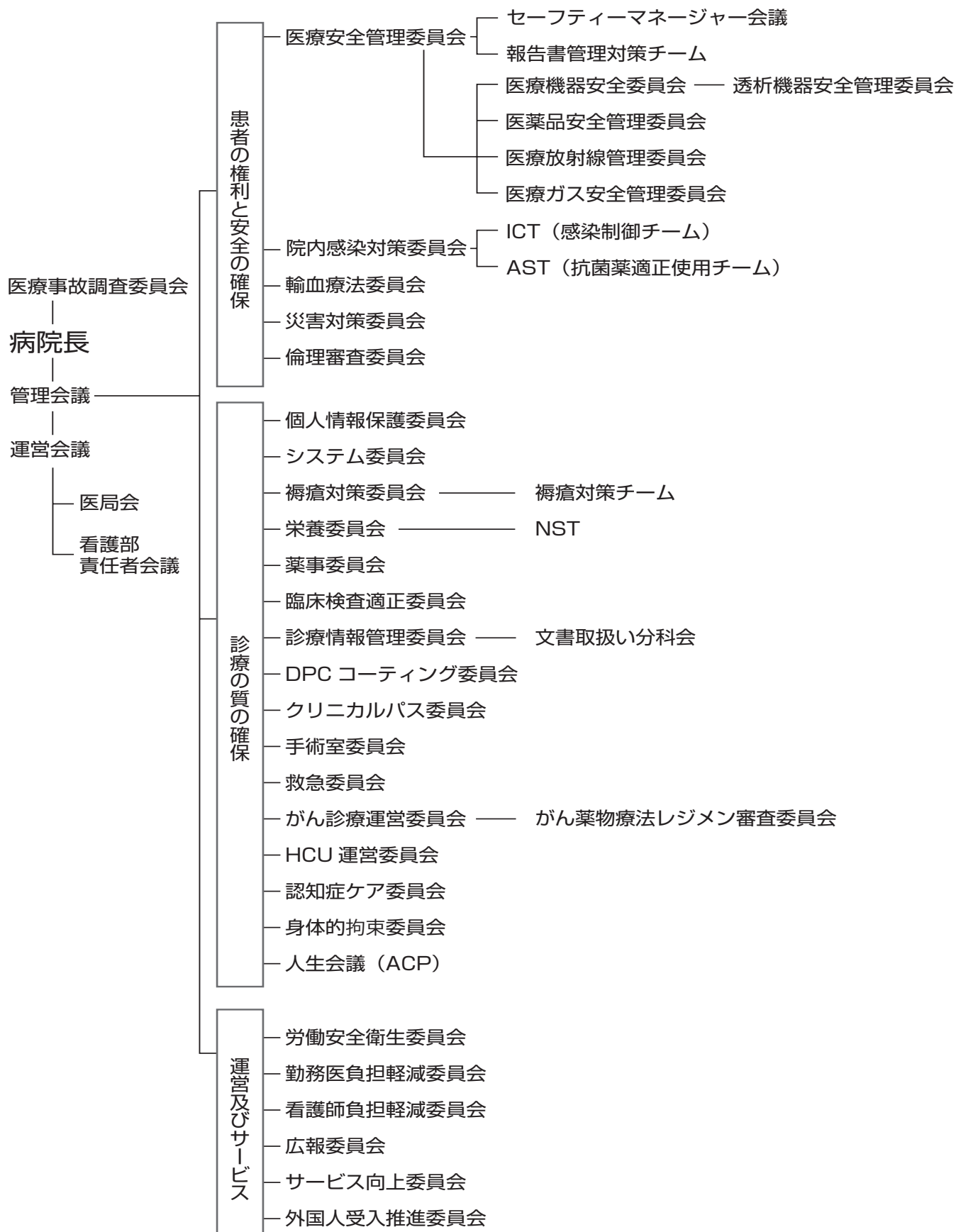
- ・療養上のお世話
 ・病状の観察
 ・医師の指示による医療処置
 ・医療機器の管理や指導
- ・介護予防
 ・リハビリテーション（看護師、言語聴覚士による）
 ・ご家族への介護支援
- ・認知症の看護や精神・心理的看護
 ・ターミナルケア

3. サービス提供地域

西東京市全域・武蔵野市の一部（関前・桜堤・境・境南町）、三鷹市の一部（井口）、小金井市の一部（関野町・梶野町・緑町・桜町）、小平市の一部（花小金井・花小金井南町・鈴木町）とする。

利用者推移

| 2024年度(令和6年度) |         | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
|---------------|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 登録者数          |         | 61 | 60 | 62 | 61 | 60 | 59 | 60  | 60  | 62  | 58 | 56 | 58 |     |
| 新規登録          |         | 4  | 1  | 3  | 0  | 2  | 0  | 2   | 4   | 2   | 1  | 2  | 2  | 23  |
| 在宅看取り         | 医療      | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 1   |
|               | 医療(在がん) | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 2   | 0   | 1   | 0  | 0  | 0  | 3   |
|               | 介護      | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 1   |
|               | 合計      | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 3   | 0   | 1   | 0  | 0  | 0  | 5   |
| 終了            |         | 5  | 2  | 1  | 1  | 3  | 1  | 4   | 0   | 0   | 5  | 4  | 0  | 26  |
| 介護保険          |         | 46 | 47 | 47 | 46 | 47 | 46 | 47  | 47  | 49  | 49 | 50 | 50 | 571 |
| 医療保険          |         | 11 | 12 | 14 | 12 | 13 | 13 | 13  | 13  | 12  | 9  | 8  | 10 | 140 |



編 集 年報編集委員会

発 行 2025年7月  
医療法人徳洲会 武蔵野徳洲会病院  
〒188-0013  
東京都西東京市向台町3丁目5番48号  
☎042-465-0700